

2024 ~

検査案内

— Inspection Guide —



一般財団法人
下越総合健康開発センター

一般社団法人 新発田北蒲原医師会

衛生検査所登録証明書

名称 一般財団法人 下越総合健康開発センター
所在地 新潟県新潟市本町4丁目16番83号

臨床検査技師等に関する法律第20条の4第1項の規定により、
下記のとおり登録したことを証明する。

記

衛生検査所の名称 一般財団法人 下越総合健康開発センター
衛生検査所の所在地 新潟県新潟市本町4丁目16番83号
検査業務の内容 微生物学的検査 (細菌培養同定検査)
免疫学的検査 (免疫血清学検査、
免疫血液学検査)
血液学的検査 (血球算定・血液細胞形態検査、
血栓・止血関連検査)
病理学的検査 (細胞検査)
生化学的検査 (生化学検査、免疫化学検査)
尿・糞便等一般検査 (尿・糞便等検査)

登録番号 第31号
登録年月日 昭和57年4月10日

令和5年3月15日
新潟県知事 花角 英世



プライバシーマーク
登録証



■登録番号 第14200118(03)号

■事業所の名称及び所在地
一般財団法人下越総合健康開発センター
新潟県新潟市本町4丁目16番83号

■プライバシーマーク付与の有効期間
2022年6月12日～2024年6月11日

■プライバシーマーク付与の目的
プライバシーマーク付与の目的は、個人情報の保護と信頼の向上にあり、
一般財団法人医療情報システム開発センター

一般財団法人日本情報経済社会推進協会



JIPDEC



14200118(03)

様

受領場所

検体受領に関する
取り決め事項

平均搬送時間

約

時間

■ 検査のご依頼にあたって	2
■ 索引	6
■ 生化学的検査	12
酵素活性検査	含窒素成分検査
アイソザイム検査	電解質・金属検査
生体色素検査	糖代謝・有機酸検査
蛋白検査	ビタミン検査
膠質反応検査	その他
脂質検査	
■ 内分泌学的検査	19
下垂体機能検査	副腎皮質機能検査
甲状腺・副甲状腺関連検査	性腺機能検査
膵臓・消化管機能検査	胎盤機能検査
副腎髄質機能検査	
■ 免疫血清学的検査	24
感染症血清検査	自己免疫血清検査
梅毒血清反応検査	血清蛋白成分検査
肝炎ウイルス検査	アレルギー関連検査
■ ウイルス学的検査	32
ウイルス血清反応（抗体価）	HIV検査
HTLV-I 検査	抗原・分離同定検査
■ 薬物分析検査	36
■ 腫瘍マーカー検査	39
■ その他	41
■ 血液学的検査	42
血液一般・形態学検査	凝固系検査
血液型検査	
■ 一般検査（尿・糞便）	44
尿検査	髄液検査
糞便検査	穿刺液検査
■ 微生物学的検査	46
一般細菌検査	その他
抗酸菌検査	
■ 病理学的検査	52
■ 産業医学関連検査	53
有機溶剤健診関連検査	鉛健診関連検査
■ X線関係検査	55
一般撮影	骨密度測定検査
消化管撮影	乳房撮影（マンモグラフィ＋乳腺エコー）
CT	X線室漏洩線量測定
■ 専用容器の取扱い方法	56
■ 検査法参考文献	66

検査のご依頼にあたって

A. 臨床検査のご依頼について

センター専用の依頼書及び検体容器をご使用していただきます。

1 依頼書・検体ラベルについて

それぞれの依頼項目に適合した依頼書をご使用ください。

また、依頼書のラベルは依頼書と同一番号にて一対になっております。他の検体にはご使用にならないでください。

依頼書（ラベル付）	（婦人科）細胞診検査依頼書
同一項目依頼書	（一 般）細胞診検査依頼書
交差適合試験依頼書	病理組織検査依頼書
細菌・抗酸菌検査依頼書	

2 依頼書記入要領

- ◆ 依頼書は複写になっていますので、ボールペンにて強めに記入下さい。また、依頼書はコンピュータ処理を行いますので折り曲げたりしないようにお願いします。
- ◆ 依頼書に掲載されていない項目をご依頼の場合は、お手数ですが依頼書 I 右上の備考欄に項目をご記入ください。
- ◆ 依頼書の1枚目は依頼書控となっていますので、院内伝票としてご利用ください。

（記入例）

カルテNo.ご記入の場合、報告書に打ち出されます。
また、システムに登録されますので、時系列データ等の呼び出し・出力が可能になります。

ご依頼項目は番号を○で囲んでください。

至急検査・至急報告をご希望される場合ご指示ください。

備考欄です。掲載外項目、コメント等をご記入ください。

医院セット検査の依頼記号です。ご依頼はA~Iを○で囲んでください。

両方ご記入ください。

1355165

採年月日 6年6月 / 日
依頼年月日 年 月 日

備考 院長様宛願展希望

1355165
採年月日 6月 / 日
氏名 健康太郎 様
コード 999
T H R 57年5月29日生

1355165
採年月日 6月 / 日
氏名 健康太郎 様
コード 999
T H R 57年5月29日生

1355165
採年月日 6月 / 日
氏名 健康太郎 様
コード 999
T H R 57年5月29日生

検査依頼書 I (医院控)

記入上の注意
1.汚し折り曲げたりしないで下さい。
2.項目Noをはっきり○で囲んで下さい。
3.その他の必要な項目はコメント欄にご記入ください。

生化学検査
101 AST(GOT)
102 ALT(GPT)
103 ALP IFCC
104 LAP
105 LD(LDH) IFCC
GT(y-GTP)

血清学検査
201 CRP定量
239 RF定量
205 ASO
206 寒冷凝集反応
コブズマ抗体

301 RPR法
302 TPHA法[定性]
303 TPHA法[定量]
304 FTA-ABS法
311 HBs抗原定性
抗原(CLIA)

血液学検査
501 血液一般 B-3
412 血液一般+血液像 B-3
503 血液像(白血球分類) B-3
504 網赤血球数 B-3
505 ABO式血液型 B-3
(D因子)血液型

ウイルス検査
1329 HIV抗原-抗体 B-12
1356 風疹(HI)
1393 風疹 IgG(EIA)
1394 風疹 IgM(EIA)

院内セット
A
B
C
D
E
F

至急検査・至急報告をご希望される場合ご指示ください。

備考欄です。掲載外項目、コメント等をご記入ください。

医院セット検査の依頼記号です。ご依頼はA~Iを○で囲んでください。

依頼書とラベルが同一番号にて一対となっています。

3 検体容器

検体容器については、56~64ページの「専用容器及び器具の取り扱いと採取方法」をご参照ください。「連絡票」または電話によりご依頼ください。

4 検体の保管

お預かりいたしました検体は、検査日より10日間センターにて保管し、再検査や追加検査に対応いたします。なお、検査項目により追加検査ができない場合もありますので予めご了承ください。

検査案内の記載内容

1 検体の採取

血液材料の場合は基本的に早朝・安静・空腹時に溶血しないように採取してください。
備考欄に注意事項が記載されている場合は、指示に従って採血してください。

※溶血の防止

真空採血管をご使用で、採取血液量が規定量に満たない場合は、陰圧による溶血を防止するため、開栓し空気を入れ、再びしっかりと栓をしてご提出ください。

2 検体量

- ・多項目を同時にご依頼の場合
検体必要量は合計のおよそ8割を目安にしてください。
- ・単項目ご依頼の場合
検査案内記載の検体量が1.0mL以下の場合は、検体に必要な血清量を考慮し、1.0mL以上の採血量をお願い致します。

蓄尿の場合

冷暗所にて24時間蓄尿し、よく混和した後必要量をご提出ください。

3 採取容器

項目により専用容器を必要とします。容器欄の指示によりご使用ください。

4 検体の保存・提出

血清・血漿を試料とする検査項目は基本的に遠心分離後、ご提出ください。
注意が必要な項目につきましては、備考欄の指定により保存し、ご提出ください。
(ご施設にて遠心分離が困難な場合は、検体採取後の速やかなご提出をお願いいたします。)

5 所要日数

検体をお預かりした当日を起算日とし、成績をお届けするまでの日数です。
お預かりした翌日が1日となります。

6 検査方法の略称

CF	Complement fixation	: 補体結合反応
CLIA	Chemiluminescent immunoassay	: 化学発光免疫測定法
CPBA	Competitive protein binding analysis	: 競合性蛋白結合分析法
CLEIA	Chemiluminescent enzyme immunoassay	: 化学発光酵素免疫測定法
EIA	Enzyme immunoassay	: 酵素免疫測定法
ELISA	Enzyme-Linked immuno sorbent assay	: 酵素免疫測定法
FA	Fluorescent antibody method	: 蛍光抗体法
FPIA	Fluorescence polarization immunoassay	: 蛍光偏光免疫測定法
IRMA	Immuno radio metric assay	: 免疫放射定量法
HA	Hemagglutination	: 赤血球凝集反応
HI	Hemagglutination inhibition	: 赤血球凝集抑制反応
HPLC	High performance liquid chromatography	: 高速液体クロマトグラフィー
LPIA	Latex photometric immunoassay	: ラテックス近赤外免疫比濁法
PA	Particle agglutination	: ゼラチン粒子凝集反応
PCR	Polymerase chain reaction	: ポリメラーゼ連鎖反応
PHA	Passive hemagglutination	: 受身赤血球凝集反応
RIA	Radio immunoassay	: 放射性免疫測定法
TIA	Turbidimetric immunoassay	: 免疫比濁法
UV	Ultraviolet absorption spectrophotometry	: 紫外外部吸光光度分析

検査のご依頼にあたって

7 緊急報告検査項目

下記の項目については緊急報告範囲が設定されております。範囲を超えると当センターより緊急連絡させていただきます。

検査項目	基準値	緊急報告範囲		備考
		低値	高値	
AST (GOT)	M 12~34 F 11~24 U/L		1000以上	
ALT (GPT)	M 8~39 F 6~22 U/L		1000以上	
γ-GT (γ-GTP)	M 67以下 F 36以下 U/L		1000以上	
血清アミラーゼ	37~125 U/L		1000以上	
総ビリルビン	0.2~1.2 mg/dL		ベビー 12.0以上	
ナトリウム	135~150 mEq/L	110以下	170以上	
カリウム	3.5~5.0 mEq/L	2.5以下	5.5以上	
尿素窒素 (BUN)	7.6~20.0 mg/dL		80以上	透析検体を除く
血糖	70~109 mg/dL	50以下	500以上	
白血球数	3500~8500 /μL	1000以下	25000以上	
血色素量	M 13.0~17.0 F 11.5~15.0 g/dL	5.0以下		
血小板数	15.5~34.0×10 ⁴ /μL	3.0以下	100.0以上	
血液像		芽球出現時		
プロトロンビン時間	9.5~13.0 秒	INR：4.00以上		
直接クームス試験	陰性	ベビー 陽性		
細菌		血液培養にて菌検出。 感染症二類・三類の原因菌の検出		

8 備考欄の記号

検体の保存等を備考欄に表示します。

- ❄️：必ず凍結保存しなければならない検体です。 🏠：必ず室温で保存しなければならない検体です。
 📞：緊急報告検査項目。 🩸：溶血の影響を受ける検査です。
 🚽：蓄尿を必要とします。

9 その他

実施料については、検体検査実施料（保険点数）を記載しています。

区分は検体検査判断料および病理判断料における区分です。

尿・糞	： 尿・糞便等検査判断料	34点
遺・染	： 遺伝子関連・染色体検査判断料	100点
血液	： 血液学的検査判断料	125点
生 (I)	： 生化学的検査 (I) 判断料	144点
生 (II)	： 生化学的検査 (II) 判断料	144点
免疫	： 免疫学的検査判断料	144点
微生物	： 微生物学的検査判断料	150点
病理	： 病理判断料	130点

備考欄で番号記載の項目については、当センターより下記へ委託外注しています。

- 株式会社 エスアールエル 八王子ラボラトリー
〒192-8535 東京都八王子市小宮町51 TEL 042-646-5911
- 株式会社 ビー・エム・エル BML総合研究所
〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1 TEL 049-232-3131
- 株式会社 LSIメディエンス 中央総合ラボラトリー
〒174-8555 東京都板橋区志村三丁目30番1号 TEL 03-5994-2452
- 株式会社 江東微生物研究所 新潟支所
〒950-0951 新潟県新潟市中央区鳥屋野463-2 TEL 025-284-8874

検査のご依頼にあたって

ご依頼にあたって

B. 検査料金請求と支払方法

1ヶ月まとめて翌月にご請求申し上げます。お支払につきましては、請求書をご確認の上、振込依頼書を添えて当センター又は最寄りの金融機関にお支払いいただきます。
また、ご希望により第四北越銀行、大光銀行に限り預金口座から自動引き落としのお支払いもできます。

C. X線検査のご依頼について

1 予約について

各種装置の準備の為、下記の検査については予約をお願いいたします。

予約は☎0254-28-1883（直）放射線課までお願いいたします。

- 一般撮影
- 乳房撮影（マンモグラフィ、マンモグラフィ+乳腺超音波検査）
- 消化管撮影
- 骨密度測定検査
- CT
- X線室漏洩線量測定

2 依頼用紙について

センター専用の依頼用紙（X線照射録）をご使用ください。用紙は3枚複写になっていますので、必要事項を記入し、検査を受けられるときに放射線課受付にご提出ください。

(下越総合健康開発センター)

①

〔X線照射録兼依頼伝票〕 No. _____


平成 年 月 日 撮影

住所 _____

氏名 _____ 男 女 M.T.S.H 年 月 日生 才

依頼医師 _____

・骨密度測定



撮影条件 フィルム

KV	大角	枚
mA	大四	枚
Sec	四切	枚
FFD	240×300	枚

担当技師 _____

13.5 50×3×50

胸部・腹部CT撮影依頼伝票

下越総合健康開発センター 放射線課

受付番号 _____ 平成 年 月 日 撮影

フロッピー

患者氏名 _____ 種 性別 男・女

住 所 _____

生年月日 明・大・昭・平 年 月 日 () 歳

医療機関名 _____
依頼医氏名 _____


フィルム枚数 半切 枚 2024 (フィルム)

撮影条件 10kVp 10mA 0.75sec

項目No. 2019 (標準分) 2021 (標準分)

担当技師名 _____

検査目的・臨床所見等



CT診断結果

判定医師名 _____

乳房撮影依頼伝票兼報告書 (医療機関からの紹介)

紹介人 下越総合健康開発センター 放射線課

受付No. _____ 平成 年 月 日 撮影

フリガナ _____ 種

患者氏名 _____

大・昭・平 年 月 日生 () 歳 医療機関名 _____

住 所 _____ 依頼医師 _____

フィルム枚数 大角四切 (デジタル用) _____ 枚 2093 (フィルム)

項目No. 2091 (標準あり) 2092 (標準なし) 担当技師 _____


1. 乳房撮影の理由

2. 主訴

3. 既往歴

4. ペースメーカーの設置 あり 無し
5. 最新検査 あり 無し

指 診 診 断 所 見



・腫瘍
・萎縮
・乳房の萎縮
・乳房の硬化
・乳頭異常分泌 (血性、その他)
・腋窩リンパ節 (右、左)

・腫瘍のコメント

指 診 区 分

1. 腫瘍不顕
2. 要腫瘍

乳 房 撮 影 所 見

検査方法	フィルム評価	撮影時間	照射条件	その他	評価	備考
M.U.	フィルムNo.		パイルリスク	条件不適合	その他	
1. 異常なし	1. 異常なし	R	L	2. 異常なし	1. 異常なし	
2. 陰性	2. 腫瘍陰影			3. 腫瘍陰影	2. 陰性	
3. 陰性、しかし、要件を指定できず	3. 石灰化			3. 石灰化	3. 陰性、しかし、要件を指定できず	
4. 腫瘍の疑い	4. 腫瘍の塊			4. 腫瘍の塊	4. 腫瘍の疑い	
5. 腫性	5. リンパ節			5. リンパ節	5. 腫性	
	6. 腋窩所見			6. 腋窩所見		
	7. その他			7. その他		

一次読影医師名 (O) _____ 読影医からのコメント

二次読影医師名 (L) _____

総合判定区分 1. 腫瘍不顕 2. 要腫瘍

検査項目、検査結果、追加検査、その他検査に関する事でご不明なことは、

☎0254-23-8351 臨床検査課へお問い合わせください。

また、お問い合わせ専用ダイヤル ☎0120-20-8996 もご利用ください。

索引

ア

亜鉛 (Zn)	16
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	12
アセトン体	44
アデノウイルス	32
アデノシンデアミナーゼ (ADA)	12
アトピー鑑別試験 (ファディアトープ)	30
アプリンジン	36
アポリポ蛋白 (A-I・A-II・B・C-II・C-III・E)	14
アミカシン	37
アミラーゼ	12
アミラーゼアイソザイム	13
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	12
アルカリホスファターゼ (ALP) IFCC	12
アルカリホスファターゼ (ALP) アイソザイムIFCC	13
アルドステロン	22
アルブミン	13・29
アルベカシン	37
アルミニウム (Al)	16
アンギオテンシン I 転換酵素 (ACE)	12
アンチトロンビン III (ATIII)	43
アンモニア (NH ₃)	15

イ

胃がんリスク層別化検査 (ABC分類) [LA]	25
胃がんリスク層別化検査 (ABC分類) 除菌あり [LA]	25
一般細菌塗抹鏡検	46
一般細菌好気性菌培養・同定	46
インスリン (IRI)	21
インスリン抗体	21
インタクト-PTH (副甲状腺ホルモンインタクト)	20
インフルエンザウイルス	32

ウ

ウロビリノゲン	44
---------	----

エ

エコーウイルス	32
エストラジオール (E ₂)	22
エトスクシミド	36
エラスターゼ I	21・39
エリスロポエチン	41
塩基性フェトプロテイン (BFP)	40

オ

オーム病クラミドフィラ (クラミジアシタシ)	24
黄体形成ホルモン (LH)	19

カ

ガストリン放出ペプチド前駆体 (ProGRP)	40
活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)	43
カテコールアミン3分画	21
カテコールアミン総	21
可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	40
カリウム (K)	16
カルシウム (Ca)	16
カルシトニン	20
カルバマゼピン	36
間接クームス試験	27
寒冷凝集反応	24

キ

キニジン	37
------	----

ク

クラミジアシタシ (オーム病クラミドフィラ)	24
クラミジアトラコマティスIgG	24
クラミジアトラコマティスIgA	24
クラミドフィラ (クラミジア) シタシIgG	24
クラミドフィラ (クラミジア) シタシIgM	24
グリコアルブミン	17
グリコヘモグロビン (HbA _{1c})	17
グルコース (血糖)	17
クレアチニン (CRE)	15
クレアチンホスホキナーゼ (CK・CPK)	12
クレアチンホスホキナーゼアイソザイム	13
クロール (Cl)	16
クロール (髄液)	45
クロスマッチ (血液交差適合試験)	28
クロナゼパム	36

ケ

血液一般検査	42
血液型	42
血液交差適合試験 (クロスマッチ)	28
血液像	42
結核菌群核酸同定 (リアルタイムPCR)	47
結核菌群抗原検査	47
結核菌IFN- γ 測定 (T-SPOT.TB)	47
血小板関連IgG (PAIgG)	28

血清アルブミン	13・29
血清蛋白分画	13
血清鉄 (Fe)	16
血清補体価 (CH ₅₀)	28
結石分析 (成分比率)	18
血中HCG (絨毛性ゴナドトロピン)	22
血中 α 1-マイクログロブリン (血中 α 1-MG)	29
血中 β 2-マイクログロブリン (血中 β 2-MG)	29
血中カテコールアミン3分画	21
血中鉛	16・54
血糖 (グルコース)	17
嫌気性菌培養・同定	46
ゲンタマイシン	37

コ

抗核抗体 (ANA)	27
抗カルジオリピンIgG抗体	28
抗カルジオリピンIgM抗体	28
抗血小板抗体	28
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体) [CLEIA]	20
抗サイログロブリン抗体 [CLEIA]	20
抗酸菌同定 (質量分析法)	47
抗酸菌塗抹鏡検 (蛍光法)	47
抗酸菌分離培養	47
甲状腺刺激ホルモン (TSH)	19・20
抗ストレプトリジン-O抗体 (ASO)	24
抗ヘリコバクターピロリ抗体 [LA]	21・25
抗ミトコンドリアM2抗体	28
抗ミトコンドリア抗体	28
コクサッキーウイルス	33
コリンエステラーゼ (ChE)	12
コルチゾール	22
コレステロール	14
抗DNA抗体	27
抗ds-DNA IgG抗体	27
抗ds-DNA IgM抗体	27
抗GAD抗体	21
抗RNP抗体	28
抗Sm抗体	28
抗SS-A/Ro抗体	28
抗SS-B/La抗体	28
抗ss-DNA IgG抗体	27
抗ss-DNA IgM抗体	27
抗TPO抗体 (抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体)	20

サ

細菌検査	46
サイトケラチン19フラグメント (シフラ,CYFRA)	40
サイトメガロウイルス	33
細胞種類 (髄液)	45
細胞数 (髄液・穿刺液)	45
細胞診検査	52
サイロキシン (T ₄)	20
サイログロブリン [CLEIA]	20
サリチル酸	37

シ

ジアゼパム	36
シアリルLe ^x -i抗原 (SLX)	39
シアリルTn抗原 (STN)	40
シクロスボリン	38
ジゴキシン	36
シスタチンC	18
ジソピラミド	36
シフラ,CYFRA (サイトケラチン19フラグメント)	40
シベンゾリン	37
浸透圧	18
絨毛性ゴナドトロピン (血中・尿中HCG)	22
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2抗体)	33
心筋トロポニンT	41
神経特異エノラーゼ (NSE)	40

ス

髄液検査	45
水痘・帯状疱疹ウイルス	33
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原	35
スチレン代謝物	53

セ

赤血球遊離プロトポルフィリン	54
セルロプラスミン	29
潜血反応	44
成長ホルモン (GH)	19
穿刺液検査	45
前立腺特異抗原 (PSA)	39

ソ

総コレステロール	14
総ビリルビン	13
総胆汁酸	13
総蛋白 (TP)	13
総鉄結合能 (TIBC)	16
ゾニサミド	36

タ

蛋白定性・定量	44
蛋白定量 (髄液・穿刺液)	45
単純ヘルペスウイルス	33
単純ヘルペスウイルス特異抗原	35
蛋白分画	13

チ

沈渣	44
虫卵 (集卵)	44

虫卵 (塗抹)	44
中性脂肪 (TG、トリグリセライド)	14
直接クームス試験	27
直接ビリルビン	13

ツ

ツツガムシカーブ IgG	25
ツツガムシカーブ IgM	25
ツツガムシカトー IgG	25
ツツガムシカトー IgM	25
ツツガムシギリアム IgG	25
ツツガムシギリアム IgM	25

テ

テオフィリン	37
テストステロン	22
鉄 (Fe)	16
鉄結合能 (TIBC)	16

ト

糖定性・定量	44
糖定量 (髄液・穿刺液)	45
トキソプラズマ抗体	24
トキソプラズマ抗体 IgG	24
トキソプラズマ抗体 IgM	24
特異的 IgE (CAPシングルアレルゲン)	30
特異的 IgE (CAPマルチアレルゲン)	30
トブラマイシン	37
トランスフェリン	29
トリグリセライド (中性脂肪、TG)	14
トリヨードサイロニン (T3)	20
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT)	43
銅 (Cu)	16

ナ

ナトリウム (Na)	16
鉛 (Pb)	16・54

ニ

ニトラゼパム	36
日本脳炎ウイルス	33
乳酸	17
乳酸脱水素酵素 (LD)	12
乳酸脱水素酵素 (LD) アイソザイム	13
ニューロン特異エノラーゼ (神経特異エノラーゼ)	40
尿PH	44
尿アセトン体	44

尿一般 (定性・半定量) A、B、C	44
尿潜血反応	44
尿蛋白定性・定量	44
尿中2,5-ヘキササジオン	53
尿中FDP	43・44
尿中N-メチルホルムアミド	53
尿中馬尿酸	53
尿中総三塩化物	53
尿中トリクロル酢酸	53
尿中ミオグロビン [CLEIA]	41
尿中メチル馬尿酸	53
尿沈渣	44
尿糖定性・定量	44
尿比重	44
尿ビリルビン	44
尿酸 (UA)	15
尿素呼気試験	48
尿素窒素 (UN)	15
尿中NAG (N-アセチルグルコサミニダーゼ)	12・18
尿中VMA定性	44
尿中VMA定量	21
尿中α1-マイクログロブリン (尿中α1-MG)	29
尿中β2-マイクログロブリン (尿中β2-MG)	29
尿中アルブミン (クレアチニン換算値)	13・18・29
尿中カテコールアミン3分画	21
尿中カテコールアミン総	21
尿中クレアチニン (CRE)	15
尿中メタネフリン2分画	21
尿中メタネフリン総	21
尿中尿酸 (UA)	15
尿中尿素窒素 (UN)	15
尿中免疫電気泳動 (尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	29

ノ

ノロウイルスRNAマルチ	35
ノロウイルス抗原	35

ハ

梅毒定量TP抗体	25
ハプトグロビン	29
パラインフルエンザウイルス	32
パルプロ酸	36
ハロペリドール	36
バンコマイシン	37

ヒ

ヒアルロン酸	41
比重 (髄液・穿刺液)	45
比重	44
鼻汁中好酸球数	42

索引

ビタミンB1	17
ビタミンB2	17
ビタミンB12	17
ビタミンC (アスコルビン酸)	17
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (HANP)	41
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)	41
ヒトヘモグロビン (便中)	44
ビリルビン (血中)	13
ビリルビン (尿)	44
ピルシカイニド	37
非特異的IgE定量	30
百日咳抗体	24
病理・組織検査	52

フ

フィブリノゲン	43
フェノバルビタール	36
フェニトイン	36
フェリチン	29
不規則抗体 (同種抗体)	27
プラスミノゲン	43
フリーPSA/トータルPSA比 (PSA F/T比)	39
プリミドン (マイソリン、プリムロン)	36
フレカイニド	37
プロカインアミド	37
プロゲステロン	22
プロトロンビン時間 (PT)	43
プロムペリドール	36
プロラクチン (PRL)	19
不飽和鉄結合能 (UIBC)	16
風疹ウイルス	32
副甲状腺ホルモンインタクト (PTH-インタクト)	20
副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	19

へ

ペプシノゲン	21
ヘモグロビンA1c (HbA1c)	17
ヘリコバクターピロリ抗体	21・25
ベンスジョーンズ蛋白の同定 (尿中免疫電気泳動)	29
便中ヒトヘモグロビン	44

ホ

飽和食塩浮遊法 (虫卵検出)	44
----------------	----

マ

末梢血液一般検査	42
マイコバクテリウムアビウム	

イントラセルラー核酸同定 (リアルタイムPCR)	47
マイコプラズマ抗体	24
マグネシウム (Mg)	16
麻疹ウイルス	32
マトリックスメタロプロテイナーゼ-3 (MMP-3)	27

ミ

ミオグロビン	41
--------	----

ム

ムンプスウイルス	32
無機リン (P)	16

メ

メトトレキサート	37
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	21
免疫電気泳動 (尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	29
免疫複合体 (モノクローナルRF)	28

モ

網赤血球数	42
-------	----

ヤ

薬剤感受性試験 (一般細菌)	46
薬剤感受性試験 (抗酸菌)	47
薬剤によるリンパ球刺激試験 (DLST)	37

ユ

遊離サイロキシシン (FreeT4)	20
遊離トリヨードサイロニン (FreeT3)	20

ヨ

IV型コラーゲン・7S	41
葉酸	17

ラ

卵胞刺激ホルモン (FSH)	19
----------------	----

リ

リウマチ因子 IgG型	27
リウマチ因子 (RF) 定量	27
リチウム (Li)	36
リドカイン	37
リパーゼ	12
リバルタ反応	45
リポ蛋白 (a) (LP (a))	14
リポ蛋白分画	14

レ

レニン活性 (PRA)	41
レニン定量 (活性型)	41

ロ

ロイシンアミノペプチダーゼ (LAP)	12
ロタウイルス抗原	35

A

ABC分類	21・25
ABO式血液型	42
ACE (アンギオテンシン I 転換酵素)	12
ACTH (副腎皮質刺激ホルモン)	19
ADA (アデノシンデアミナーゼ)	12
AFP (α -フェトプロテイン)	39
AFPレクチン分画	39
Al (アルミニウム)	16
ALP (アルカリホスファターゼ) IFCC	12
ALPアイソザイム (IFCC)	13
ALT (GPT)	12
ANA (抗核抗体)	27
APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間)	43
ASO (抗ストレプトリジン-O抗体)	24
AST (GOT)	12
ATIII (アンチトロンビンIII)	43
ATLV抗体 (HTLV-I)	34

B

BFP (塩基性フェトプロテイン)	40
BNP (ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)	41
BUN (尿素窒素)	15

C

Cu (銅)	16
C3・C4	29
CA125	40
CA15-3	39
CA19-9	39
CA546 (CA54/61)	40
CA72-4	40
Ca (カルシウム)	16
CA54/61 (CA546)	40
CEA (癌胎児性抗原)	39
ChE	12
CH 50 (血清補体価)	28
CK (CPK)	12
CK (CPK) アイソザイム	13
Cl (クロール)	16
CRE (クレアチニン)	15
C反応性蛋白 (CRP)	24
C-ペプチド (CPR)	21

D

Dダイマー	43
DLST (薬剤によるリンパ球刺激試験)	37
DUPAN-2	39

E

E ₂ (エストラジオール)	22
EBウイルス	34

F

FDP定量	43・44
Fe (血清鉄)	16
FreeT3 (遊離トリヨードサイロニン)	20
FreeT4 (遊離サイロキシン)	20
FSH (卵胞刺激ホルモン)	19
FTA-ABS	25

G

GGT (γ -GT, γ -GTP)	12
GH (成長ホルモン)	19
GOT (AST)	12
GPT (ALT)	12

H

HANP (ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド)	41
HA抗体-IgG	26
HA抗体-IgM	26
HbA1c	17
HBc抗体	26
HBc抗体IgM	26
HBe抗原	26
HBe抗体	26
HBs抗原	26
HBs抗原 (CLIA)	26
HBs抗体 (CLIA)	26
HBV-DNA定量/リアルタイムPCR法	26
HCG (絨毛性ゴナドトロピン)	22
HCV-RNA定量/リアルタイムPCR法 (HCV核酸定量)	26
HCVコア蛋白-HS	26
HCV抗体-I	26
HCV抗体-III	26
HDL-コレステロール	14
HIV抗原・抗体	34
HIV-1/2特異抗体	34
HPV-DNA同定	52
HPV-DNA簡易判定	52
HPV簡易判定 (9種判別)	52
HPV-ジェノタイプ判定	52
HTLV-I (ATLV抗体)	34
HTLV-1抗体 (ラインプロット法)	34

I

IgA	29
IgE定量 (非特異的IgE)	30
IgG	29
IgG型リウマチ因子	27
IgM	29
IgM-HBc抗体	26
I-P (無機リン)	16
IRI (インスリン)	21

K

K (カリウム)	16
KL-6	41

L

LAP	12
LD (LDH) IFCC	12
LD (LDH) アイソザイム	13
LDL-コレステロール	14
LH (黄体形成ホルモン)	19
Li (リチウム)	36
LP (a) (リポ蛋白 (a))	14

M

MAST36	30
Mg (マグネシウム)	16
MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	27
MRSA (鼻腔)	46

N

Na (ナトリウム)	16
Na・Cl定量 (髄液)	45
N-アセチルグルコサミニダーゼ (NAG)	12・18
N-アセチルプロカインアミド	37
NCC-ST-439	39
NH ₃ (アンモニア)	15
NSE (神経特異エノラーゼ)	40
NTx	41

索引

P

P (無機リン)	16
PAIgG (血小板関連IgG)	28
PH	44
PICテスト (α_2 プラスミンインヒビター・プラスミン複合体)	43
PIVKA-II	39
PRA (レニン活性)	41
PRL (プロラクチン)	19
PSA (前立腺特異抗原)	39
PSA F/T比 (フリーPSA/トータルPSA比)	39
PT (プロトロンビン時間)	43
PTH-インタクト (副甲状腺ホルモンインタクト)	20
PTH高感度 (副甲状腺ホルモン高感度)	20
Pb (鉛)	16・54
ProGRP (ガストリン放出ペプチド前駆体)	40

R

RF定量 (リウマチ因子)	27
Rh血液型 (D因子)	42
(その他の因子)	42
RPR (定性)	25
RSウイルス	33

S

SARS-CoV-2抗体 (新型コロナウイルス)	33
SCC抗原	40
sIL-2R (可溶性IL-2レセプター)	40
SLX (シアリルLe ^x -i抗原)	39
SPan-1	39
STN (シアリルTn抗原)	40

T

T3 (トリヨードサイロニン)	20
T4 (サイロキシン)	20
TARC (Th2ケモカイン)	41
TAT (トロンビン・アンチトロンビンIII複合体)	43
TBG定量	20
TG (中性脂肪、トリグリセライド)	14
TIBC (鉄結合能)	16
TPHA (定性・定量)	25
TSH (甲状腺刺激ホルモン)	19・20
TSHレセプター抗体 (定量)	20
TSHレセプター抗体 [CLEIA] (第3世代)	20
T-SPOT.TB (結核菌IFN- γ 測定)	47

U

UA (尿酸)	15
UIBC (不飽和鉄結合能)	16
UN (尿素窒素)	15

V

VC (ビタミンC)	17
Viewアレルギー39	30
VMA定性	44
VMA定量	21

Z

Zn (亜鉛)	16
---------	----

α

α_1 -ミクログロブリン (α_1 -MG)	29
α_2 プラスミンインヒビター・ プラスミン複合体 (PICテスト)	43
α_2 -マクログロブリン	29
α -フェトプロテイン (AFP)	39

β

β_2 -ミクログロブリン (β_2 -MG)	29
β -トロンボグロブリン (β -TG)	43
β -リポ蛋白	14

γ

γ -GT (γ -GTP)	12
γ -グルタミールトランスペプチターゼ (γ -GT)	12

δ

δ -アミノレブリン酸	54
--------------------	----

数字

1,5-アンヒドロ-D-グルシトール (1,5-AG)	17
IV型コラーゲン・7S	41

生化学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

酵素活性検査

101	AST (GOT)	0.6	0.2	B-1	JSCC標準化対応法	M 12~34 F 11~24 U/L	当日~1	⑰ 生I	☎ 1000以上	
102	ALT (GPT)	0.6	0.2	B-1	JSCC標準化対応法	M 8~39 F 6~22 U/L	当日~1	⑰ 生I	☎ 1000以上	
103	アルカリホスファターゼ (ALP) IFCC	0.6	0.2	B-1	IFCC標準化対応法	成人38~113 U/L	当日~1	⑪ 生I		
104	LAP	0.6	0.2	B-1	PNA Rate法	M 39~72 F 35~67 U/L	当日~1	⑪ 生I		
105	LD (LDH) IFCC	0.6	0.2	B-1	IFCC標準化対応法	124~222 U/L	当日~1	⑪ 生I	採血後は室温に静置し、2~3時間以内に血清分離してください。全血での冷蔵はさけてください。 ☒ 溶血の場合は高値となります。	
106	γ-GT (γ-GTP)	0.6	0.2	B-1	JSCC標準化対応法	M 67以下 F 36以下 U/L	当日~1	⑪ 生I	☎ 1000以上	
107	コリンエステラーゼ (ChE)	0.6	0.2	B-1	JSCC標準化対応法	230~500 U/L	当日~1	⑪ 生I		
108	アミラーゼ	血清	0.6	0.2	B-1	JSCC標準化対応法	37~125 U/L	当日~1	⑪ 生I	☎ 1000以上
771		尿	尿5.0	U-1	87~665 U/L		当日~1	⑪ 生I		
189	リパーゼ	1.2	0.5	B-1	合成基質比色法	13~55 U/L	2~4	⑳ 生I	1	
109	CK (CPK)	0.6	0.2	B-1	JSCC標準化対応法	36~240 U/L	当日~1	⑪ 生I	※ 血清 必ず凍結保存。採血日に提出できない場合は必ず血清分離し凍結保存してください。	
147	アデノシンデアミナーゼ (ADA)	1.5	0.6	B-1	酵素法	5.0~20.0 U/L	2~4	32 生I	1	
191	アンギオテンシンI転換酵素 (ACE)	1.8	0.7	B-1	笠原法	8.3~21.4 U/L	2~4	136 生I	1	
611	N-アセチルグルコサミニダーゼ (NAG)	部分尿1.0		U-1	比色法	0.7~11.2 IU/L	2~4	41 尿・糞	1	

保険点数解釈

患者から1回に採取した血液を用いて実施料 印 (血液化学検査) の項目を5項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査項目数に応じて次の所定点数となります。

5項目以上7項目以下	93点
8項目又は9項目	99点
10項目以上	103点

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

アイソザイム検査

173	LD (LDH) アイソザイム	0.8	0.3	B-1	アガロースゲル 電気泳動法	LDH1 21~31 LDH2 28~35 LDH3 21~26 LDH4 7~14 LDH5 5~13 %	2~4	48 生 I	④ 血清は (室温保存) し てください。 ⑤ 溶血の場合はLDH1、2、3の上昇 が考えられます。LDH5が多く含ま れる検体では、IFCC法に基づく分 画値と乖離する場合があります。	
171	ALPアイソザイム (IFCC)	0.8	0.3	B-1	アガロースゲル 電気泳動法	ALP1 0.0~5.3 ALP2 36.6~69.2 ALP3 25.2~54.2 ALP5 0.0~18.1 %	2~4	48 生 I	血液型BまたはO型で Lewis分泌型の人では、 ALP総活性値およびALP5 の出現率が高くなること があります。	
175	アミラーゼ アイソザイム	血清	0.8	0.3	B-1	アガロースゲル 電気泳動法	Total-S 36.0~84.3 Total-P 15.7~64.0 %	2~4	48 生 I	
176		尿	尿	1.0	U-1		Total-S 17.7~61.3 Total-P 38.7~82.3 %	2~4	48 生 I	
177	CK (CPK) アイソザイム	0.8	0.3	B-1	アガロースゲル 電気泳動法	BB 2以下 MB 6以下 MM 93~99 %	2~4	55 生 I	❄️ 血清 必ず凍結保存。 採血後、すみやかに血清 分離してください。	

生体色素検査

113	総ビリルビン	0.8	0.3	B-1	酵素法	0.2~1.2 mg/dL	当日~1	⑪ 生 I	☎️ 新生児12.0以上
114	直接ビリルビン	0.8	0.3	B-1	酵素法	0.1~0.5 mg/dL	当日~1	⑪ 生 I	
112	総胆汁酸	1.2	0.5	B-1	酵素法	10.0以下 μmol/L	2~4	47 生 I	

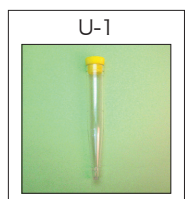
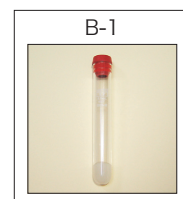
蛋白検査

115	総蛋白 (TP)	0.6	0.2	B-1	Biuret法	M 6.6~8.1 F 6.7~8.2 g/dL	当日~1	⑪ 生 I	
168	血清アルブミン	0.6	0.2	B-1	BCP改良法	4.0~5.0 g/dL	当日~1	⑪ 生 I	
609	尿中アルブミン (クレアチニン換算値)	部分尿	1.0	U-1	免疫比濁法	尿中アルブミン換算値 10.0以下 mg/g-CRE	2~4	99 尿・糞	
116	蛋白分画	0.8	0.3	B-1	セルロースアセテート膜 電気泳動法	下記参照	1~2	⑱ 生 I	⑤ 溶血検体は避けてく ださい。

血清蛋白
分画
基準値

A/G比	1.55~2.55
Alb	60.8~71.8
α ₁	1.7~2.9
α ₂	5.7~9.5
β	7.2~11.1
γ	10.2~20.4

(単位: %)



生化学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

脂質検査

119	総コレステロール	0.6	0.2	B-1	酵素法	220未満 mg/dL	当日~1	⑰ 生 I	
120	HDL-コレステロール	0.6	0.2	B-1	直接法	40以上 mg/dL	当日~1	⑰ 生 I	
121	中性脂肪 (TG、トリグリセライド)	0.6	0.2	B-1	酵素法	150未満 mg/dL	当日~1	⑪ 生 I	
170	LDL-コレステロール	0.8	0.3	B-1	直接法	140未満 mg/dL	当日~1	⑱ 生 I	
123	リポ蛋白分画	0.6	0.2	B-1	アガロースゲル 電気泳動法	α M 26.9~50.5 F 32.6~52.5 PREβ M 7.9~23.8 F 6.6~20.8 β M 35.3~55.5 F 33.6~52.0 %	2~4	49 生 I	凍結は避けてください。 1
802 803 804 805 806 807	アポリポ蛋白 A-I A-II B C-II C-III E	各 0.8	各 0.3	B-1	免疫比濁法	下記参照	2~4	1項目の場合 31点 2項目の場合 62点 3項目以上の 場合94点 生 I	凍結は避けてください。 1
122	β-リポ蛋白	1.2	0.5	B-1	免疫比濁法	220~650 mg/dL	2~4		1
801	リポ蛋白(a) (LP(a))	1.2	0.5	B-1	TIA	40.0以下 mg/dL	2~3	107 生 I	2

アポリポ蛋白基準値

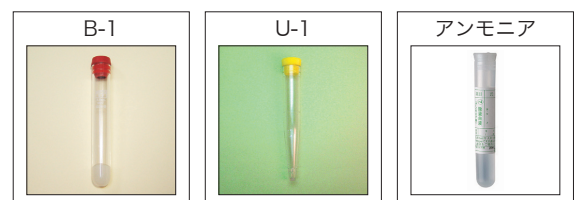
mg/dL

A-I	M	119~155
	F	126~165
A-II	M	25.9~35.7
	F	24.6~33.3
B	M	73~109
	F	66~101
C-II	M	1.8~4.6
	F	1.5~3.8
C-III	M	5.8~10.0
	F	5.4~9.0
E	M	2.7~4.3
	F	2.8~4.6

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

含窒素成分検査

127	尿素窒素 (UN)	血清	0.6	0.2	B-1	酵素法	7.6~20.0 mg/dL	当日~1	(11) 生 I	☞80以上 (透析検体は除きます。)
780		尿	尿5		U-1					
128	クレアチニン (CRE)	血清	0.6	0.2	B-1	酵素法	M 0.60~1.10 F 0.40~0.80 mg/dL	当日~1	(11) 生 I	
772		尿	尿5		U-1					
129	尿酸 (UA)	血清	0.6	0.2	B-1	酵素法	7.0以下 mg/dL	当日~1	(11) 生 I	
781		尿	尿5		U-1					
158	アンモニア		上清液3.0		除蛋白 液入り 専用 試験管 (冷蔵保存)	藤井・奥田法 変法	30~80 μg/dL	2~4	50 生 I	❄ 上清液 必ず凍結保存。 採血後、直ちに正確に血液1.0mL を専用容器に加え、十分攪拌後 3000rpm5分間遠心分離し、そ の上清液をご提出ください。



生化学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

電解質・金属検査

130	ナトリウム (Na) クロール (Cl)	血清	0.6	0.2	B-1	電極法	Na 135~150 Cl 96~107 mEq/L	当日~1	⑪ 生 I	☎ Na 110以下・170以上 K 2.5以下・5.5以上 採血後は室温に静置し、2~3時間以内に血清分離してください。
774		尿	尿5		U-1					
132	カリウム (K)	血清	0.6	0.2	B-1	電極法	3.5~5.0 mEq/L	当日~1	⑪ 生 I	☹ 溶血又は血清分離までの時間が長い場合には高値となります。
777		尿	尿5		U-1					
134	カルシウム (Ca)		0.6	0.2	B-1	アルセナゾⅢ法	8.6~10.8 mg/dL	当日~1	⑪ 生 I	
135	無機リン (P)		0.6	0.2	B-1	酵素法	成人 3.0~4.5 小児 3.0~7.0 mg/dL	当日~1	⑰ 生 I	
136	マグネシウム (Mg)		1.0	0.5	B-1	比色法	1.7~2.6 mg/dL	1~2	⑪ 生 I	2
137	鉄 (Fe)		0.8	0.3	B-1	Nitroso-PSAP法 (直接比色法)	M 75~150 F 70~140 μg/dL	当日~1	⑪ 生 I	
138	不飽和鉄結合能 (UIBC)		0.8	0.3	B-1	Nitroso-PSAP法 (直接比色法)	M 165~250 F 160~260 μg/dL	当日~1	⑪ 生 I	
	総鉄結合能 (TIBC)		0.8	0.3	B-1		M 280~360 F 290~360 μg/dL	当日~1		血清鉄とUIBCより算出します。
139	銅 (Cu)	血清	1.0	0.5	B-1	比色法	68~128 μg/dL	2~4	⑳ 生 I	☹ 尿は冷暗所にて24時間蓄尿し、よく混和後必要量を提出してください。全尿量を明記してください。
		尿	蓄尿5		U-1	原子吸光分析法	M 4.2~33.0 F 2.5~20.0 μg/day	2~5	⑳ 生 I	
153	亜鉛 (Zn)	血清	1.2	0.5	B-1	比色法	80~130 μg/dL	2~4	132 生 I	採血後は速やかに血清分離してください。 ☹ 溶血検体は避けてください。
782		尿	蓄尿5		U-1	原子吸光分析法	M 260~1000 F 160~620 μg/day	2~8	132 生 I	☹ 尿は冷暗所にて24時間蓄尿し、よく混和後必要量を提出してください。全尿量を明記してください。
152	鉛 (Pb)	血液	全血3.0 (ヘパリン)		B-7 [Ⓢ]	原子吸光分析法	54ページ参照	3~5		
160	アルミニウム (Al)		1.2	0.6	B-14	原子吸光分析法	10以下 μg/L	3~5	109 生 I	凍結は避けてください。

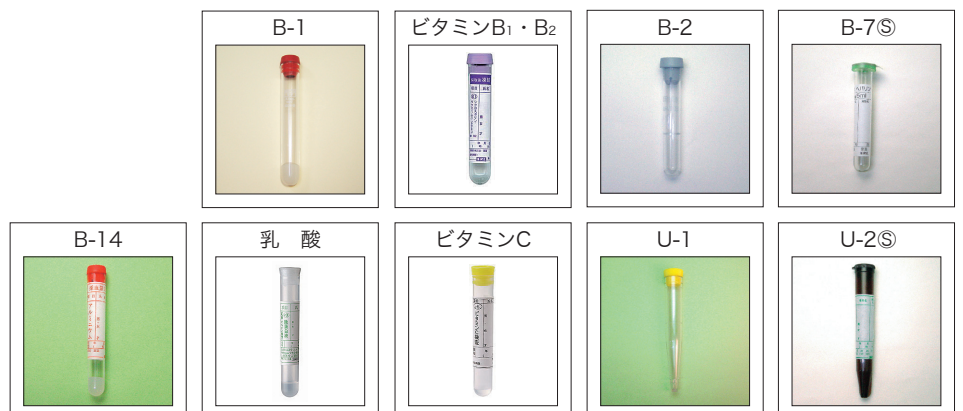
項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

糖代謝・有機酸検査

142	グルコース	全血2.0		B-2	GOD電極法	70~109(空腹時静脈血・血漿) mg/dL	当日~1	(11) 生 I	☎50以下・500以上採取後、転倒混和を充分におこなってください。
143	HbA1c	全血2.0			HPLC	4.6~6.2 %	当日~1	49 血液	採取後、転倒混和を充分におこなってください。
145	1,5-アンヒドロ-D-グルシトール (1,5-AG)	1.2	0.5	B-1	酵素法	M 14.9~44.7 F 12.4~28.8 μg/mL	2~4	80 生 I	☒溶血検体は避けてください。
195	グリコアルブミン	1.2	0.5	B-1	酵素法	12.4~16.3 %	2~4	55 生 I	
290	乳酸	上清液0.4		専用容器	乳酸オキシダーゼによる酵素法	30~17.0(全血中) mg/dL	2~4	47 生 I	専用試薬 採血後、直ちに正確に血液1.0mLを専用容器に加え、十分攪拌後3000rpm5分間遠心分離し、その上清液をご提出ください。

ビタミン検査

283	ビタミンB1	全血0.5 (EDTA-2K入)		専用容器	LC/MS/MS	24~66 ng/mL	3~5	239 生 I	専用容器に採血し、よく転倒混和し、管底の抗凝固剤を均一にしてください。
284	ビタミンB2	全血0.5 (EDTA-2K入)		専用容器 ↓ U-2 [Ⓢ]	HPLC	66.1~111.4 ng/mL	3~5	235 生 I	専用容器に採血し、よく転倒混和し、管底の抗凝固剤を均一にしてください。検体採取方法につきましては、センターへお問い合わせください。
281	ビタミンB12	1.4	0.6	B-1	CLEIA	180~914 pg/mL	2~4	136 生 I	血清材料以外でのご依頼は避けてください。(特にEDTA血漿はデータ上昇傾向がみられます)
282	葉酸	1.4	0.6	B-1	CLEIA	4.0以上 ng/mL	2~4	146 生 I	☒溶血検体は避けてください。
299	ビタミンC (アスコルビン酸)	(血清中) 除蛋白上清 0.5		専用容器	HPLC	5.5~16.8 (血清中) μg/mL	3~5	296 生 I	検体採取方法につきましては、センターへお問い合わせください。



生化学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

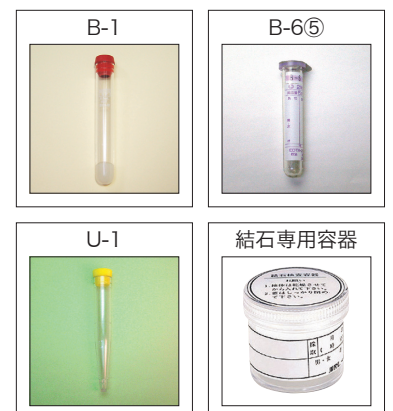
その他の

447	シスタチンC	1.2	0.5	B-1	金コロイド凝集法	M 0.63~0.95 F 0.56~0.87 mg/L	2~4	112 生 I	1
611	N-アセチルグルコサミナーゼ (NAG)	部分尿1.0		U-1	比色法	0.7~11.2 IU/L	2~4	41 尿・糞	1
609	尿中アルブミン (クレアチニン換算値)	部分尿1.0		U-1	免疫比濁法	尿中アルブミン換算値 10.0以下 mg/g-CRE	2~4	99 尿・糞	1
156	血清	2.0	0.7	B-1		276~292 mOsm/Kg-H ₂ O	2~4	15 血液	1
157	浸透圧 尿	部分尿1.0		U-1	氷点降下法	濃縮時850以上 希釈時40~85 (Fishberg 試験時) mOsm/Kg-H ₂ O	2~4	16 尿・糞	1 冷蔵保存してください。
641	結石分析 (成分比率)	結石 10mg		専用 容器	赤外線吸収 スペクトロ フォトメトリー	%	4~6	117 生 II	1 サンプルは乾燥させ、結石専用容器にてご提出ください。血液などの付いたサンプルは蒸留水で洗浄後、乾燥させてご提出ください。

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

下垂体機能検査

456	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	1.2	0.5	B-1	CLIA	0.35~4.94 μIU/mL	1~2	98 生II	
451	成長ホルモン (GH) 血清	1.2	0.5	B-1	ECLIA	M 2.47以下 F 0.13~9.88 ng/mL	2~4	105 生II	1
454	黄体形成ホルモン (LH)	1.2	0.5	B-1	CLIA	F 卵泡期 1.76~10.24 排卵期 2.19~88.33 黄体期 1.13~14.22 閉経期 5.72~64.31 M 0.79~5.72 mIU/mL	2~4	105 生II	性別を明記してください。 1
455	卵泡刺激ホルモン (FSH)	1.2	0.5	B-1	CLIA	F 卵泡期 3.01~14.72 排卵期 3.21~16.60 黄体期 1.47~ 8.49 閉経期 157.79以下 M 2.00~8.30 mIU/mL	2~4	105 生II	性別を明記してください。 1
453	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	全血 2.0	血漿 0.5	B-6 ⑤	ECLIA	午前7時~10時 7.2~63.3 pg/mL	2~4	184 生II	*血漿 必ず凍結保存。 ☒ 早朝安静時に指定の 容器に採血し速やかによく 混和させてください。 ACTHはEDTA濃度増加 により測定値が低下する ため、容器の指定容量を 採取してください。 採血後、速やかに血漿分 離してください。 1
452	プロラクチン	1.2	0.4	B-1	ECLIA	M 4.29~13.69 F 閉経前 4.91~29.32 閉経後 3.12~15.39 ng/mL	2~4	98 生II	1



内分泌学的検査

項目No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

甲状腺・副甲状腺関連検査

456	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	1.2	0.5	B-1	CLIA	0.35~4.94 μIU/mL	1~2	98 生II	
462	遊離トリヨードサイロニン (FreeT3)	0.8	0.3	B-1	CLIA	1.88~3.18 pg/mL	1~2	121 生II	
465	遊離サイロキシン (FreeT4)	0.8	0.3	B-1	CLIA	0.70~1.48 ng/dL	1~2	121 生II	
461	トリヨードサイロニン (T3)	1.2	0.5	B-1	CLEIA	0.62~1.16 ng/mL	2~4	99 生II	1
464	サイロキシン (T4)	1.2	0.5	B-1	CLEIA	4.53~8.38 μg/dL	2~4	105 生II	1
445	TSHレセプター抗体 (定量)	1.0	0.4	B-1	RRA	1.0未満 IU/L	2~5	214 免疫	1 ヒト型レセプターを使用しています。固相法の第2世代TRAbです。(基準値について)少数の健常人において、1.0IU/Lを超える結果を示すことがあるため、欧米では、1.0~1.5IU/Lをグレーゾーンとして設定することを推奨しています。
460	TSHレセプター抗体 [CLEIA] (第3世代)	1.8	0.8	B-1	CLEIA	2.0未満 IU/L	2~4	214 免疫	1 TSHレセプターのTSH結合部位を認識するM22抗体(抗TSHレセプターモノクローナル抗体(ヒト))を用いた第3世代TRAbです。
466	サイログロブリン [CLEIA]	1.2	0.5	B-1	CLEIA	35.1以下 ng/mL	2~4	128 生II	1
467	抗サイログロブリン抗体 [CLEIA]	1.2	0.5	B-1	CLEIA	19.3未満 IU/mL	2~4	136 免疫	1
469	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体) [CLEIA]	1.2	0.5	B-1	CLEIA	3.3未満 IU/mL	2~4	138 免疫	1
468	TBG定量	1.2	0.5	B-1	CLEIA	14~31 μg/mL	2~4	130 生II	1
472	副甲状腺ホルモンインタクト (PTH-インタクト)	1.2	0.5	B-1	ECLIA	10~65 pg/mL	2~4	161 生II	1
473	カルシトニン	1.2	0.5	B-1	ECLIA	男性9.52以下 女性6.40以下 pg/mL	2~4	130 生II	1 速やかに血清分離後、凍結保存してください。

保険点数解釈

患者から1回に採取した血液を用いて実施料印(内分泌学的検査)の項目を3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査項目数に応じて次の所定点数となります。

3項目以上5項目以下	410点
6項目又は7項目	623点
8項目以上	900点

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

膵臓・消化管機能検査

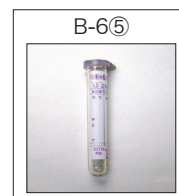
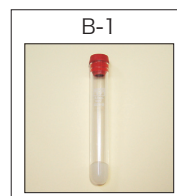
421	インスリン (IRI)	1.2	0.5	B-1	CLIA	5~10 μU/mL	1~2	100 生II		
422	C-ペプチド (CPR)	血清	1.0	0.4	B-1	CLEIA	負荷前0.61~209 ng/mL	2~4	105 生II	蓄尿は冷所にて行うか、あらかじめ専用保存剤を蓄尿容器に1袋全量(10g/袋最終濃度0.5%)を入れて行ってください。他項目との重複依頼は避けてください。
423			尿	蓄尿1	U-2⑤		蓄尿29.2~167 μg/day			
262	抗GAD抗体	0.8	0.3	B-1	ELISA	5.0未満 U/mL	2~4	134 生II		
261	インスリン抗体	0.8	0.3	B-1	RIA	0.4未満 U/mL	3~7	107 免疫		
354	エラスターゼ1	1.2	0.5	B-1	ラテックス凝集免疫法	300以下 ng/dL	2~3	120 生II		
373	ペプシノゲン	1.2	0.5	B-1	CLEIA	下記参照	2~4			
1484	抗ヘリコバクターピロリ抗体 [LA]	1.2	0.5	B-1	ラテックス凝集比濁法	10未満 U/mL	2~4	80 免疫		
1861	胃がんリスク層別化検査 (ABC分類) [LA]	3.0	1.0	B-1	ラテックス凝集比濁法 (ピロリ抗体) CLEIA (ペプシノゲン)	判定基準については、25ページをご参照下さい。	2~4		(ピロリ菌の除菌治療前) ペプシノゲンとヘリコバクターピロリ抗体を実施し、それぞれの検査結果とABC分類をご報告いたします。	
1891	胃がんリスク層別化検査 (ABC分類) 除菌あり [LA]								(ピロリ菌の除菌治療後) ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC分類の判定対象にはなりません。除菌判定の結果に関わらず、E群 (除菌群) としてご報告いたします。	

副腎髄質機能検査

493	カテコールアミン3分画 (A : アドレナリン NA : ノルアドレナリン DA : ドーパミン)	血漿	全血	血漿	B-6 ⑤	HPLC	A 100以下 NA 100~450 DA 20以下 pg/mL	3~5	161 生II	所定容量の専用蓄尿添加剤を入れた蓄尿瓶に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響がみられますので、必ず専用蓄尿添加剤を入れてください。
494			尿	酸性蓄尿2			U-2⑤			
491	カテコールアミン総	酸性蓄尿2	U-2⑤	HPLC	蓄尿52.0~195.3 μg/day	3~5	184 生II			
625	尿中VMA定量	酸性蓄尿2	U-2⑤	HPLC	1.5~4.3 mg/day	3~5	90 生II			
496	メタネフリン・ノルメタネフリン分画	酸性蓄尿2	U-2⑤	LC/MS/MS	メタネフリン 0.04~0.19 ノルメタネフリン 0.09~0.33 mg/day	3~5	220 生II			

ペプシノゲン判定基準

	ペプシノゲン1	ペプシノゲン1/2比
強陽性	3+	30ng/mL以下 かつ 2.0以下
中程度陽性	2+	50ng/mL以下 かつ 3.0以下
陽性	+	70ng/mL以下 かつ 3.0以下
陰性	-	上記条件以外



内分泌学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

副腎皮質機能検査

482	コルチゾール	血清	1.2	0.5	B-1	ECLIA	午前6時～10時 7.07～19.6 μg/dL	2～4	(121) 生II	※血清 必ず凍結保存。	1
489		尿	蓄尿5		U-2	CLIA	4.3～176 μg/day	2～6	(121) 生II	非抱合型コルチゾールの測定となります。 ☑尿は冷暗所にて24時間蓄尿し、よく混和後必要量を提出してください。	1
486	アルドステロン	血漿	5.0	血漿 0.5	B-6	CLEIA	4.0～82.1 pg/ml	2～4	(122) 生II	※血清 必ず凍結保存。	1
487		尿	蓄尿1.5		U-2		1.0～19.3 μg/day	5～7	(122) 生II	☑尿は冷暗所にて24時間蓄尿し、よく混和後必要量を提出してください。	1

性腺機能検査

404	エストラジオール (E2)	血清	1.2	0.5	B-1	ECLIA	23ページ参照	2～4	(167) 生II	性別を明記してください。 また妊婦の場合は妊娠週数を明記してください。	1
408	プロゲステロン		1.2	0.5	B-1	ECLIA	23ページ参照	2～4	(143) 生II	性別を明記してください。 また妊婦の場合は妊娠週数を明記してください。	1
410	テストステロン		1.0	0.4	B-1	ECLIA	M 1.31～8.71 F 0.11～0.47 ng/mL	2～4	(119) 生II	性別を明記してください。	1

胎盤機能検査

411	絨毛性 ゴナドトロピン (HCG)	血清	1.2	0.5	B-1	CLEIA	2.7以下 mIU/mL	2～4	(130) 生II	トータルのHCGを測定しています。抗体はHCG-βを認識しています。絨毛性疾患の診断、予後管理に有用です。絨毛性疾患取り扱い規約第3版における推奨方法で、測定感度は1.0mIU/mLです。	1
414		尿	尿5		U-1	CLEIA					

エストラジオール (E₂) 基準値 (血中)

(単位：pg/mL)

非妊婦	女性	卵胞期	28.8~196.8
		排卵期	36.4~525.9
		黄体期	44.1~491.9
		閉経後	47.0以下
男性			14.6~48.8
妊婦		妊娠初期	208.5~4289
		妊娠中期	2808~28700
		妊娠後期	9875~31800

プロゲステロン基準値

(単位：ng/mL)

非妊婦	女性	卵胞期	0.28以下
		排卵期	5.69以下
		黄体期	2.05~24.2
		閉経後	0.33以下
男性			0.22以下
妊婦		妊娠初期 (4~13週)	13.0~51.8
		妊娠中期 (14~27週)	24.3~82.0
		妊娠後期 (28~38週)	63.5~174

B-1



U-1



U-2[®]



免疫血清学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

感染症血清検査

201	C反応性蛋白(CRP)	0.8	0.3	B-1	ラテックス免疫比濁法	0.3以下 mg/dL	当日~1	16 免疫		
205	抗streptolysin-O抗体(ASO)	1.4	0.6	B-1	ラテックス凝集免疫法	239以下 IU/mL	2~4	15 免疫	1	
206	寒冷凝集反応	1.2	0.5	B-1	HA	32倍以下	1~2	11 免疫	☒ 採取後ただちに血清分離して保存してください。全血での保存は避けてください。	
207	マイコプラズマ抗体	0.8	0.2	B-1	PA	40倍未満	2~3	32 免疫	2	
1460	百日咳抗体	0.8	0.2	B-1	EIA	PT-IgG 10倍未満 FHA-IgG 10倍未満 EU/ml	2~4	257 免疫	1	
1304	トキソプラズマ抗体	IgG	0.8	0.3	B-1	ELISA	6未満 判定基準 下記参照	2~4	93 免疫	1
1305		IgM	0.8	0.3	B-1		0.8未満 判定基準 下記参照	2~4	95 免疫	IgM抗体は長期間陽性が持続する場合がありますので、下記判定基準をご参照ください。
1309	オーム病クラミドフィラ(クラミジアシッタシ)	0.8	0.3	B-1	CF	血清：4倍未満	3~5	79 免疫	1	
1314	クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ	IgG	0.6	0.2	B-1	FA	血清：10倍未満	3~9		1
1315		IgM	0.6	0.2				3~9		1
1310	クラミジアトラコマティス	IgG	0.6	0.2	B-1	EIA	判定基準 Cut off index 判定 0.90未満 (-) 0.90~1.09 (±)* 1.10以上 (+) *10日以降に採血した血清による再検査をお勧めします。	2~4	200 免疫	1
1311		IgA	0.6	0.2				B-1		2~4

トキソプラズマIgG抗体(判定基準)

IU/mL	判定	解釈
6未満	陰性	トキソプラズマの感染は認められません。
6~8	判定保留	低濃度の抗体が認められ、トキソプラズマ感染の疑いがあります。
9以上	陽性	トキソプラズマ感染が考えられます。

トキソプラズマIgM抗体(判定基準)

Cut off index	判定	解釈
0.8未満	陰性	最近のトキソプラズマ感染のことが考えられます。
0.8~0.9	判定保留	10~20日後に再検査およびトキソプラズマIgG抗体検査による確認をお勧めします。
1.0以上	陽性	

免疫血清学的検査

項目No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

肝炎ウイルス検査

311	HBs抗原	0.8	0.3	B-1	イムノクロマト グラフィー法	(-) 陰性	当日~1	29 免疫	
313	HBs抗原 (CLIA)	1.2	0.5	B-1	CLIA	(-) 陰性 定量値0.05未満 IU/mL	当日~1	88 免疫	
314	HBs抗体 (CLIA)	1.5	0.6	B-1	CLIA	(-) 10.0未満 mIU/mL	1~3	88 免疫	2
315	HBe抗原	1.2	0.5	B-1	CLIA	(-) S/CO 1.0未満	1~3	98 免疫	2
316	HBe抗体	1.5	0.6	B-1	CLIA	(-) 阻害率50.0未満 %	1~3	98 免疫	2
317	HBc抗体	1.2	0.5	B-1	CLIA	(-) S/CO 1.00未満	1~3	130 免疫	2
318	HBc-IgM抗体	1.2	0.5	B-1	CLIA	(-) S/CO 1.0未満	1~3	146 免疫	2
1832	HBV核酸定量 (IU) (HBV-DNA定量/リアルタイムPCR法)	5.0	2.0	B-21	リアルタイム PCR法	検出せず L.IU/mL (Log.IU/mL)	3~5	256 微生物	2
322	HA-IgG抗体 (レセプト名:HA抗体)	1.5	0.6	B-1	CLIA	(-) S/CO 1.00未満	2~3	146 免疫	2
323	HA-IgM抗体	1.5	0.6	B-1	CLIA	(-) S/CO 0.80未満	2~3		2
333	HCV抗体-II	1.2	0.5	B-1	CLIA	(-) 陰性 S/CO 1.0未満	当日~1	102 免疫	
334	HCV抗体-III	1.8	0.7	B-1	CLEIA	(-) カットオフインデックス値1.0未満	2~3		2
1844	HCVコア蛋白-HS	1.5	0.6	B-1	CLIA	3.0未満 fmol/L	2~3	102 免疫	2
1831	HCV核酸定量 (HCV-RNA定量/リアルタイムPCR法)	5.0	2.0	B-21	リアルタイム PCR法	検出せず L.IU/mL (Log.IU/mL)	3~4	412 微生物	2

保険点数解釈

患者から1回に採取した血液を用いて実施料印(肝炎ウイルス検査)の項目を3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査項目数に応じて次の所定点数となります。

3項目	290点
4項目	360点
5項目以上	425点

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

自己免疫血清検査

239	リウマチ因子(RF)定量	1.2	0.5	B-1	ラテックス 免疫比濁法	15以下 IU/mL	当日~1	30 免疫		
238	IgG型リウマチ因子	0.8	0.3	B-1	ELISA	2.0未満	2~4	198 免疫	1	
229	MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	1.0	0.4	B-1	LTIA	M 36.9~121 F 17.3~59.7 ng/mL	2~4	116 免疫	1	
208	直接クームス試験	1.0	-	B-6 ⑤	試験管法	陰性	当日~1	34 免疫	☎ ベビー陽性 🏠 室温保存してください。 血液は採血後、速やかにご提出ください。	
209	間接クームス試験	5.0	2.0	B-13	カラム凝集法	陰性	2~4	47 免疫	🏠 室温保存してください。 抗凝固剤をいれずに採血してください。 血液は採血後、速やかに分離し血清をご提出ください。 年齢、輸血歴、疾患名を明記してください。	
231	不規則抗体 (同種抗体)	3.0 と 10.0	-	B-6 ⑤ と B-13	カラム凝集法 (酵素法) (クームス法)	(-)	3~5	159 免疫	🏠 室温保存してください。 ※下記参照 年齢、輸血歴、疾患名を明記してください。	
211	抗核抗体 (ANA)	0.8	0.3	B-1	FA	陰性 (40倍未満)	2~4	99 免疫	1	
244	抗DNA抗体	0.6	0.2	B-1	RIA (硫酸塩析法)	6.0以下 IU/mL	2~4	159 免疫	1	
	抗ss-DNA	IgG 抗体	0.8	0.3	B-1	ELISA	25以下 AU/mL	2~4		1
		IgM 抗体	0.8	0.3	B-1		17未満 U/mL	2~8		1
269	抗ds-DNA	IgG 抗体	0.8	0.3	B-1	ELISA	12以下 IU/mL	2~4	159 免疫	1
		IgM 抗体	0.8	0.3	B-1		6未満 U/mL	2~8		1

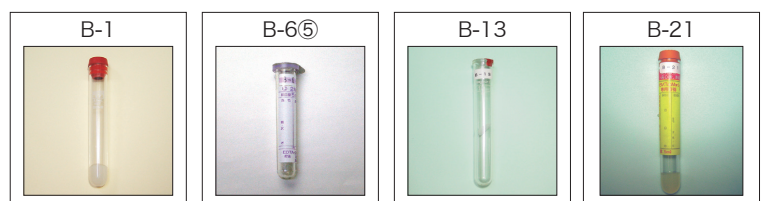
不規則抗体 (同種抗体) の採血について

採 血：容器B-6⑤に血液3mLと容器B-13に血液10mL採血してください。

容器B-6⑤は採血後、よく転倒混和してください。

採血後の保存：2本とも必ず室温で保存してください。

受 付 曜 日：検体保存の関係により受付曜日の指定があります。月曜日～金曜日の1回目集配時にご提出ください。



免疫血清学的検査

項目No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

自己免疫血清検査

255	抗カルジオリピンIgG抗体	0.8	0.3	B-1	ELISA	12.3以下 U/mL	2~4	226 免疫	1
252	抗カルジオリピンIgM抗体	0.8	0.3	B-1	ELISA	20.8以下 U/mL	2~4		1
214	血清補体価 (CH ₅₀)	1.2	0.5	B-1	Mayer法 相対比濁法	25.0~48.0 CH50/mL	2~4	38 免疫	※ 血清 必ず凍結保存。 血清分離後、ただちに-20℃ 以下で保存してください。
276	抗RNP抗体	0.8	0.3	B-1	CLEIA	10.0未満 U/mL	2~4	(144) 免疫	不活化(非働化)検体ではデータに影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
278	抗Sm抗体	0.8	0.3	B-1	CLEIA	10.0未満 U/mL	2~4	(147) 免疫	不活化(非働化)検体ではデータに影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
265	抗SS-A/Ro抗体	0.8	0.3	B-1	CLEIA	10.0未満 U/mL	2~4	(161) 免疫	不活化(非働化)検体ではデータに影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
266	抗SS-B/La抗体	0.8	0.3	B-1	CLEIA	10.0未満 U/mL	2~4	(157) 免疫	不活化(非働化)検体ではデータに影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
247	抗ミトコンドリア抗体	0.8	0.3	B-1	FA	陰性(20倍未満)	2~4	181 免疫	
248	抗ミトコンドリアM2抗体	0.8	0.3	B-1	CLEIA	7.0未満	2~4	189 免疫	不活化(非働化)検体ではデータに影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
260	免疫複合体 (モノクローナルRF)	0.6	0.2	B-1	EIA	4.2未満 μg/mL	2~8	194 免疫	※ 血清 必ず凍結保存。
522	抗血小板抗体	1.0	0.4	B-1	MPHA (混合受身凝集法)	陰性	3~6	261 免疫	採血後室温に静置し完全に血餅凝固後血清分離して下さい。
240	曜日指定 PAIgG (血小板関連IgG)	血液7.5 (ACD- A液加)		専用 容器	ELISA	46以下 ng/10 ⁷ cells	2~4	190 免疫	受託可能日は月~金曜日 です。末梢血の血小板数 が3万/μL以下の場合は 専用容器2本を使用し、 必ず10mL以上採血して ください。
	血液交差適合試験	5.0	—	B-6 ⑤	PEG・ケームス法 プロメリン法	陰性	当日~1	30 + 47	☰ 室温保存してください。

保険点数解釈

患者から1回に採取した血液を用いて実施料()印(自己抗体検査)の2項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査項目数に応じて次の所定点数となります。

2項目 320点
3項目以上 490点

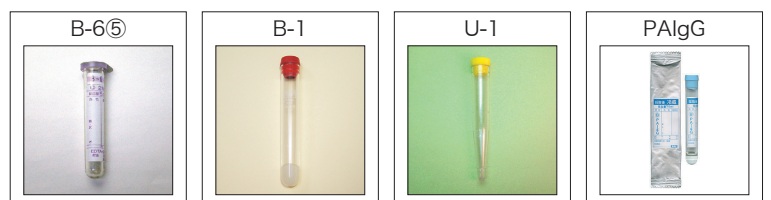
免疫血清学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

血清蛋白成分検査

212	C3	1.0	0.4	B-1	免疫比濁法	86~160 mg/dL	2~4	70 免疫	1	
213	C4	1.0	0.4	B-1	免疫比濁法	17~45 mg/dL	2~4	70 免疫	1	
353	フェリチン	0.8	0.3	B-1	ラテックス 凝集免疫法	M 20~240 F 10~100 ng/mL	当日~1	102 生I		
215	トランスフェリン	1.2	0.5	B-1	免疫比濁法	M 190~300 F 200~340 mg/dL	2~4	60 免疫	1	
168	血清アルブミン	0.6	0.2	B-1	BCP改良法	4.0~5.0 g/dL	当日~1	(11) 生I		
609	尿中アルブミン (クレアチニン換算値)	部分尿1		U-1	免疫比濁法	尿中アルブミン換算値 10.0以下 mg/g-CRE	2~4	99 尿・糞	1	
216	セルロプラスミン	1.0	0.4	B-1	ネフェロメトリー	21~37 mg/dL	2~4	90 免疫	1	
356	血清	1.2	0.5	B-1	ラテックス 凝集法	0.9~2.0 mg/L	2~3	98 免疫	2	
357	β_2 -マイクロ グロブリン (β_2 -MG)	尿	尿1.0	U-1	ラテックス 凝集法	289以下 μ g/L	2~3	98 免疫	2	
237	α_1 -マイクロ グロブリン (α_1 -MG)	血清	1.2	0.5	B-1	ラテックス 凝集免疫法	M 12.5~25.5 F 11.0~19.0 mg/L	2~4	129 免疫	1
274		尿	部分尿0.5	U-1		M 1.0~15.5 F 0.5~9.5 mg/L	2~4	129 免疫	1	
236	α_2 -マクログロブリン	1.0	0.4	B-1	ネフェロメトリー	M 100~200 F 130~250 mg/dL	2~4	(138) 血液	1	
194	ハプトグロビン	1.2	0.5	B-1	ネフェロメトリー	1-1型 83~209 2-1型 66~218 2-2型 25~176 mg/dL	2~4	129 免疫	1	
222	IgG	1.0	0.4	B-1	免疫比濁法	870~1700 mg/dL	2~4	38 免疫	1	
223	IgA	1.0	0.4	B-1	免疫比濁法	110~410 mg/dL	2~4	38 免疫	1	
224	IgM	1.0	0.4	B-1	免疫比濁法	M 33~190 F 46~260 mg/dL	2~4	38 免疫	1	
273	尿中免疫電気泳動 (尿中ヘンズジョーンズ蛋白の同定)	部分尿10		U-1	免疫固定法	写真貼付	4~6	201 免疫	1	

免疫血清



免疫血清学的検査

項目No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

アレルギー関連検査

1001	非特異的IgE定量	1.2	0.3	B-1	FEIA	170以下年齢別参考基準値は31ページをご参照ください。IU/mL	2~3	100 免疫		2	
1021	特異的IgE (CAPシングルアレルゲン)	1項目 0.6	1項目 0.3	B-1	FEIA	0.34以下アレルゲンの項目一覧表は31ページをご参照ください。U _A /mL	2~3	110 免疫	アレルゲン一覧表は31ページをご参照ください。	2	
1011	特異的IgE (CAPマルチアレルゲン)	各 1.2	各 0.3	B-1	FEIA	0.34以下 31ページをご参照ください。 U _A /mL	2~3	各 110 免疫	アレルゲン構成は下記をご参照ください。	2	
1012											GX-5 イネ科
1013											WX-5 雑草
1014											EX-2 動物上皮
1015											MX-2 カビ
1016	FX-5 食物										
1017	Viewアレルギー39	2.5	0.9	B-1	FEIA	インデックス値： 0.27未満	2~3	1430 免疫		2	
1019	MAST36	1.5	0.5	B-1	CLEIA	MASTクラス0 1.39以下 LC	3~5	1430 免疫		2	
1002	アトピー鑑別試験 (ファディアトープ)	1.2	0.5	B-1	FEIA	陰性 (-)	2~3	194 免疫	12種類の吸入系アレルゲンを混合した抗原を用いる検査です。検出されたIgEは下記 [12種吸入性アレルゲン構成表] に反応したものと考えられますが、本検査では反応アレルゲンまで特定することはできません。アトピー反応のスクリーニング検査としてお使いください。	2	

特異的IgE (CAPマルチアレルゲン)

マルチアレルゲン名	イネ科-混合 GX-5	雑草-混合 WX-5	動物上皮-混合 EX-2	カビ-混合 MX-2	食物-混合 FX-5	穀物-混合 FX-6
含まれるアレルゲン	ハルガヤ ギョウギシバ カモガヤ オオアワガエリ アシ	ブタクサ ヨモギ フランスギク タンポポ(属) アキノキリンソウ	ネコ皮膚 イヌ皮膚 モルモット上皮 ラット マウス	ペニシリウム クラドスポリウム アスペルギルス カンジダ アルテルナリア ヘルミントスポリウム	卵白 ミルク 小麦 ピーナッツ 大豆	小麦 トウモロコシ ゴマ 米 ソバ

Viewアレルギー39

●【構成アレルゲン】

吸入系抗原		食餌系抗原		判定	クラス	インデックス値
室内塵	ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト1	カモガヤ オオアワガエリ	卵 卵白 オボムコイド	陰性	0	0.27未満
動物	ネコ皮膚 イヌ皮膚	ブタクサ ヨモギ	牛乳 ミルク	疑陽性	1	0.27以上 0.50未満
昆虫	ゴキブリ ガ	アルテルナリア アスペルギルス	小麦 小麦 大豆 ソバ	陽性	2	0.50以上 1.80未満
樹木	スギ	カンジダ	ピーナッツ		3	1.80以上 7.05未満
	ヒノキ	マラセチア(属)	米		4	7.05以上 17.35未満
	ハンノキ(属) シラカンバ(属)	ラテックス	魚・肉類 豚肉 マグロ サケ サバ		5	17.35以上 29.31未満
		甲殻類 エビ		6	29.31以上	

●View39 (判定基準)

MAST36

イネ科植物花粉	オオアワガエリ、カモガヤ
雑草花粉	ブタクサ混合物1、ヨモギ
樹木花粉	スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ
室内塵、ダニ	コナヒョウヒダニ、ハウスダスト1
真菌類(カビ)	カンジダ、アルテルナリア、アスペルギルス
動物上皮	ネコ皮膚、イヌ皮膚
食餌系	小麦、大豆、米、マグロ、サケ、エビ、カニ、ミルク、牛肉、豚肉、鶏肉、卵白、オボムコイド、ソバ、ピーナッツ、ゴマ、キウイ、バナナ、モモ、トマト
その他	ラテックス

アトピー鑑別試験

12種吸入性アレルゲン構成

ヤケヒョウヒダニ	ブタクサ
コナヒョウヒダニ	ヨモギ
ネコ皮膚	シラカンバ(属)
イヌ皮膚	スギ
ギョウギシバ	カンジダ
カモガヤ	アルテルナリア

保険点数解釈

特異的IgE (シングルアレルゲン) について、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1430点を限度として算定します。
尚、マルチアレルゲンは、混合アレルゲンですので、1項目(110点)の扱いとなります。

特異的IgE (CAP-アレルゲン) のAllergen種類

●イネ科植物花粉

g3	かまがや
g1	はるがや
g6	おおあわがえり
g2	ぎょうぎしば
g8	ながはぐさ
g16	おおすずめのてっぽう
g4	ひろはうしのけぐさ
g5	ほそむぎ
g7	あし
g9	こぬかぐさ (属)
g10	せいばんもろこし
g15	小麦 (属) [花粉]
g17	すずめのひえ (属)

●雑草花粉

w1	ぶたくさ
w6	よもぎ
w22	カナムグラ
w12	あぎのきりんそう
w8	たんぼぼ (属)
w2	ぶたくさもどき
w3	おおぶたくさ
w5	にがよもぎ
w7	ふらんすぎく
w9	へらおおぼこ
w10	しるぎ
w18	ひめすいば
w20	いらくさ (属)

●樹木花粉

t17	すぎ
t24	ヒノキ
t2	はんのき (属)
t3	しらかんば (属)
t6	びやくしん (属)
t16	まつ (属)
t1	かえで (属)
t5	ぶな (属)
t7	こなら (属)
t8	にれ (属)
t9	オリーブ
t10	くるみ (属) [花粉]
t12	やなぎ (属)
t19	アカシア (属)
t70	くわ (属)

●ダニ

d1	ヤケヒョウヒダニ
d2	コナヒョウヒダニ
d70	アシトコナダニ
d71	サヤアシニクダニ
d72	ケナガコナダニ

●室内塵

h1	ハウスダスト1
h2	ハウスダスト2

●真菌 (カビ) / 細菌

m5	カンジダ
m227	マラセチア (属)
f45	ビール酵母
m1	ペニシリウム

m2	クラドスポリウム
m3	アスペルギルス
m218	Asp f 1 (アスペルギルス由来)
m4	ムコール
m6	アルテルナリア
m8	ヘルミントスポリウム
m205	トリコフィトン [白癬菌]
m80	黄色ブドウ球菌A
m81	黄色ブドウ球菌B

●昆虫

i8	ガ
i6	ゴキブリ
i7	ユスリカ (成虫)
i71	ヤブカ (属)
i1	ミツバチ
i3	スズメバチ
i4	アシナガバチ

●動物上皮

e1	ネコ皮膚
e5	イヌ皮膚
e84	ハムスター上皮
e6	モルモット上皮
e82	家兎上皮
e87	ラット
e88	マウス
e78	セキセイインコ羽毛
e77	セキセイインコのふん
e85	ニワトリ羽毛
e70	ガチョウ羽毛
e86	アヒル羽毛
e3	ウマ皮膚
e4	ウシ皮膚
e80	ヤギ上皮
e81	羊上皮
e83	豚上皮

●寄生虫

p4	アニサキス
p1	カイチュウ

●職業性

k80	ホルマリン
k82	ラテックス
k220	Hev b 6.02 (ラテックス由来)
k72	オオバコ種子
k75	イソシアネートTDI
k76	イソシアネートMDI
k77	イソシアネートHDI
k78	エチレンオキササイド
k79	無水フタル酸

●薬物

c73	ヒトインシュリン
c74	ゼラチン

●その他

o1	綿
----	---

●卵

f1	卵白
f75	卵黄
f233	オボムコイド [卵白由来]

●牛乳

f2	ミルク
f81	チーズ
f78	カゼイン (牛乳由来)
f76	α-ラクトアルブミン (牛乳由来)
f77	β-ラクトグロブリン (牛乳由来)
f82	モールドチーズ

●魚 / 魚卵

f50	サバ
f60	アジ
f61	イワシ
f40	まぐろ
f41	さけ
f3	たら
f254	カレイ
f349	イクラ
f350	たらこ

●甲殻類 / 軟体動物

f23	カニ
f24	エビ
f80	ロブスター
f58	イカ
f59	タコ
f207	アサリ
f290	カキ (貝)
f338	ホタテ
f37	ムラサキガイ [ムール貝]

●穀類 (小麦)

f4	小麦 [食物]
f416	w-5グリアジン (小麦由来)
f79	グルテン

●穀類

f9	米
f11	そば
f5	ライ麦
f6	大麦
f7	オート麦
f8	とうもろこし
f55	キビ
f56	アワ
f90	麦芽

●肉

f26	豚肉
f27	牛肉
f83	鶏肉
f88	羊肉

●豆類 / ナッツ

f14	大豆
f353	Gly m 4 (大豆由来)
f13	ピーナッツ
f423	Ara h 2 (ピーナッツ由来)
f256	クルミ [食物]
f441	Jug r 1 (クルミ由来)

f202	カシューナッツ
f443	Ana o 3 (カシューナッツ由来)
f17	はしばみ [ハーゼルナッツ]
f93	カカオ
f12	えんどう
f15	いんげん
f18	ブラジルナッツ
f20	アーモンド
f36	ココナッツ

●果物

f49	リンゴ
f92	バナナ
f33	オレンジ
f95	モモ
f84	キウイ
f329	スイカ
f44	いちご
f87	メロン
f96	アボカド
f209	グレープフルーツ
f91	マンゴ
f94	洋なし

●野菜

f97	ヤマイモ
f25	トマト
f31	にんじん
f35	じゃがいも
f214	ホウレンソウ
f48	たまねぎ
f47	にんにく
f51	タケノコ
f225	カボチャ
f54	サツマイモ
f85	セロリ
f86	パセリ

●その他

f10	ごま
f89	マスタード
c74	ゼラチン
f45	ビール酵母

●アレルゲンコンポーネント

f443	Ana o 3 (カシューナッツ由来)
f423	Ara h 2 (ピーナッツ由来)
f353	Gly m 4 (大豆由来)
f441	Jug r 1 (クルミ由来)
f76	α-ラクトアルブミン (牛乳由来)
f77	β-ラクトグロブリン (牛乳由来)
f78	カゼイン (牛乳由来)
f416	w-5グリアジン (小麦由来)
f233	オボムコイド [卵白由来]
k220	Hev b 6.02 (ラテックス由来)
m218	Asp f 1 (アスペルギルス由来)

特異的IgE CAPマルチアレルゲン (判定基準)

特異的IgE CAPシングルアレルゲン (判定基準)

判定	クラス	U _A /mL
陰性	0	0.34以下
疑陽性	1	0.35~0.69
陽性	2	0.70~3.49
	3	3.50~17.49
	4	17.50~49.99
	5	50.00~99.99
	6	100以上

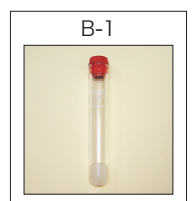
MAST36 (判定基準)

クラス	LC (ルミカウント)	判定
0	0~1.39	陰性
1	1.40~2.77	疑陽性
2	2.78~13.4	
3	13.5~58.0	
4	58.1~119	
5	120~159	
6	160以上	

非特異的IgE (年齢別参考基準値)

(単位: IU/mL)

年齢 (歳)	(平均値 ± 1SD)
1歳未満	1.36~19.32
1~3	5.24~29.99
4~6	5.19~111.94
7~9	13.12~141.91
10~12	11.09~171.79
13~18	24.72~126.77
19以上	27.54~138.34



ウイルス学的検査

項目No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

ウイルス血清反応(抗体価)

(肝炎ウイルスは26ページをご覧ください。)

1335	アデノウイルス	0.8	0.3		CF	4未満 倍	4~6	79 免疫		1	
1356	風疹ウイルス				HI	8未満 倍	3~5	79 免疫		1	
1393	風疹ウイルス				EIA	IgG 2.0未満 陰性 IgM 0.80未満 陰性 判定基準:35ページ 参照	2~4	200 免疫		1	
1394										IgM	1
1898	風疹ウイルスIgG (EIA) クーポン				EIA	6.0未満 EIA価	3~7		本項目は、厚生労働省による「風しんの追加的対策」のクーポン専用項目です。定期接種の対象となる風疹抗体価「6.0未満(EIA価)」を基準値欄に記載しています。測定キットはウイルス抗体EIA「生研」ルペラIgG(デンカ生研株式会社)です。	1	
1401	麻疹ウイルス				EIA	IgG 2.0未満 陰性 IgM 0.80未満 陰性 判定基準:35ページ 参照	2~4	200 免疫	【麻疹ウイルスIgMの結果における注意事項】伝染性紅斑(パルボウイルスB19感染)、デング熱、突発性発疹(HHV6感染)などでも麻疹ウイルスIgMが陽性となる症例があることが報告されています。診断においては臨床症状および他の検査方法を加味し、総合的に判断してください。	1	
1402										IgM	1
1435	エコーウイルス	各	各	B-1	NT	4未満 倍	7~13	79 免疫		1	
1438										3型	1
1486										7型	1
1487										11型	1
1353	ムンプスウイルス				HI	8未満 倍	3~5	79 免疫		1	
1391	ムンプスウイルス				EIA	IgG 2.0未満 陰性 IgM 0.80未満 陰性 判定基準:35ページ 参照	2~4	200 免疫		1	
1392										IgM	1
1357	パラ				HI	10未満 倍	3~5	79 免疫	WHO方式 血清希釈倍数表示	1	
1358	インフルエンザ							79 免疫		1	
1359	ウイルス							79 免疫		1	
1351	インフルエンザ ウイルス				HI	10未満 倍	3~5	79 免疫	WHO方式 血清希釈倍数表示	1	
1352								B型		79 免疫	1

ウイルス学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

ウイルス血清反応(抗体価)

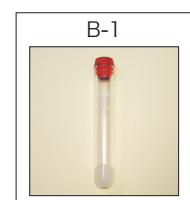
1355	日本脳炎ウイルス (JaGAr株)	1.2	0.5	B-1	HI	10未満 倍	4~7	79 免疫	1
1336	単純ヘルペスウイルス	0.8	0.3		CF	4未満 倍	4~6	79 免疫	1
1395	単純ヘルペス ウイルス	IgG	0.6	0.2	EIA	IgG 2.0未満 陰性 IgM 0.80未満 陰性 判定基準:35ページ 参照	2~4	200 免疫	1
1396									IgM
1337	水痘・帯状疱疹ウイルス	0.7	0.3	CF	4未満 倍	4~6	79 免疫	1	
1397	水痘・帯状 疱疹ウイルス	IgG	0.6	0.2	EIA	IgG 2.0未満 陰性 IgM 0.80未満 陰性 判定基準:35ページ 参照	2~4	200 免疫	1
1398									IgM
1341	コクサッキー ウイルス	A群9型	各	各	CF	4未満 倍	4~6	79 免疫	1
1342		B群1型							1
1343		B群2型							1
1344		B群3型							1
1345		B群4型							1
1346		B群5型							1
1347		B群6型							1
1334	RSウイルス			CF	4未満 倍	4~6	79 免疫	1	
1338	サイトメガロウイルス			CF	4未満 倍	4~6	79 免疫	1	
1399	サイトメガロ ウイルス	IgG	1.2	0.5	CLIA	IgG 6.0未満 陰性 IgM 0.85未満 陰性 判定基準:35ページ 参照	2~4	200 免疫	1
1400									IgM

ウイルス

新型コロナウイルス関連

1765	SARS-CoV-2抗体 (新型コロナ ウイルス)	IgGS	1.2	0.5	B-1	CLEIA	1.0未満 陰性(-) AU/mL	2~4		1
1768		IgGN	1.2	0.5	B-1	CLEIA	1.0未満 陰性(-) AU/mL	2~4		1

※抗体検査に使用可能な抗体の種類とその特徴は65ページをご参照ください。



ウイルス学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

ウイルス血清反応(抗体価)

1367	EBウイルス	抗EAIgG	各 0.6	各 0.2	B-1	EIA	0.5未満 陰性		2~4	200 免疫	1			
1368		抗VCAIgM					判定	抗体指数						
1369		抗VCAIgG					-	0.5未満						
1370		抗EBNAIgG					±	0.5~0.9						
1376		抗EBNA					+	1.0以上						
1373		抗VCAIgA					10未満					3~5	79 免疫	1
1375		抗EA-DRiIgA					倍							

HTLV-I 検査

1322	HTLV-I (ATLV抗体)	1.2	0.5	B-1	CLEIA	陰性	2~4	159 免疫	検査結果が「陽性」であった場合、ラインプロット法による確認検査をお勧めいたします。測定対象は、抗HTLV-1抗体および抗HTLV-II抗体です。型別の報告ではありません。	1
	HTLV-1抗体	0.6	0.2	B-1	ライン プロット法	陰性 判定基準：下記参照	3~5	425 免疫	測定対象は、抗HTLV-1抗体および抗HTLV-2抗体です。型別の報告ではありません。	1

HTLV-1抗体(ラインプロット法)(判定基準)

ラインが認められない		陰性
ラインが1本認められる(≥±)	gag p19かgag p24かenv gp46のいずれかが認められる env gp21が認められる	保留
ラインが2本認められる(≥±)	env gp21が認められない env gp21が認められる	
ラインが3本以上認められる(≥±)		陽性

H I V 検査

1329	HIV抗原・抗体	2.0	0.6	B-12	CLEIA	陰性	3~5	109 免疫	他項目との重複依頼は避けてください。不活化(非働化)した検体は、判定に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。	1
1298	HIV-1/2特異抗体	1.2	0.5		イムノクロマト 法			660 免疫		
	HIV-1RNA定量	血漿 1.8	専用 容器		RT-PCR	検出せず (コピー/mL)			他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので検体採取にあたっては、取り扱いに充分ご注意ください。	1

※HIV検査手順・補足情報は65ページをご参照ください。

保険点数解釈

- ①同一検体で、同一ウイルスに対して複数の測定方法を行った場合でも所定点数(1項目)のみの算定となります。単純ヘルペスウイルス及び水痘・帯状ヘルペスウイルス抗体価を測定した場合は、それぞれの算定となります。
- ②同一検体で、ウイルス抗体価を測定した場合8項目を限度として算定します。
- ③同一ウイルスについてIgG型及びIgM型ウイルス抗体価を測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定します。
- ④同一検体で、グロプリンクラス別ウイルス抗体価を測定した場合2項目を限度として算定します。

ウイルス学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

抗原・分離同定検査

1492	単純ヘルペスウイルス特異抗原	塗抹標本 2枚	O-3	FA	1型 陰性 2型 陰性	2~4	180 免疫	❄️ 標本 凍結保存。	1
1491	水痘・帯状疱疹ウイルス抗原	塗抹標本 2枚	O-3	FA	陰性	2~4	227 免疫	❄️ 標本 凍結保存。	1
1496	ロタウイルス抗原定性	糞便 1.0g	F-4	免疫クロマト 法	陰性	2~8	65 免疫	❄️ 凍結保存。	2
1500	ノロウイルス抗原	糞便1.0g	F-4	EIA	(-)	2~5		❄️ 必ず凍結保存。	2
1489	ノロウイルスRNA マルチ	糞便	F-5	リアルタイム RT-PCR法	(-)	3~6		❄️ 必ず凍結保存。 ●ノロウイルスRNAマルチ 検査対象項目 ノロウイルス G I、G II ロタウイルス A群、C群 アデノウイルス 40/41型 アストロウイルス ノロウイルスRNA検査と サポウイルスRNA検査の み共用依頼が可能です。	2

ウイルス

上記以外のウイルス抗原、ウイルス分離同定、ウイルスDNA、ウイルスRNAのご依頼の際は、センターにその旨ご連絡ください。採取要綱、専用容器をお届け致します。

ウイルス (EIA) 判定基準

単純ヘルペスウイルス

判定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA価)	
		血清	髄液
-	0.80未満	2.0未満	0.20未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9	0.20~0.39
+	1.21以上	4.0以上	0.40以上

水痘・帯状ヘルペスウイルス・風疹ウイルス・麻疹ウイルス
ムンプスウイルス

判定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA価)
-	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上

サイトメガロウイルス

判定	IgG (AU/mL)	IgM (index)
陰性	6.0未満	0.85未満
判定保留		0.85~1.00未満 ※2
陽性	6.0以上 ※1	1.00以上

※1：6.0~15.0AU/mLの結果値の際には、適切な期間（例：2週間）内に再採取し再検査をお勧めします。
※2：判定保留の際には、適切な期間（例：2週間）内に再採取し再検査をお勧めします。

抗体価の解釈とペア血清検査の意義

ウイルス血清抗体価に正常値という概念はありません。ウイルス感染後に産生される抗体の検出は、過去にそのウイルスに感染したことを回顧的に示すだけで、現在の状態を必ずしも反映してはいません。

ウイルス抗体は感染の直後に高く、以後下降するパターンを示しますが、単一の血清の抗体価の高低だけで近い過去に感染があったかどうかの判定は出来ない場合が多いといえます。ウイルス感染後の抗体応答パターン、各検査法の特徴、検査意義を理解し、目的に応じた検査法を選択する必要があります。

急性期（発病後早期）と回復期（発病後14~21日）のペア血清の抗体価が4倍以上上昇した場合有意と判断しそのウイルスの感染を推定します。ただし、治療にγグロブリンを投与した場合の抗体価の上昇は、必ずしも有意とは考えられません。



薬物分析検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値(治療有効濃度)	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

薬物分析検査

抗 て ん か ん 剤	571	フェニトイン	1.2	0.5	B-16	ラテックス凝集比濁法	トラフ値 100~200 (成人・小児) 80~150 (新生児) $\mu\text{g/mL}$	1~2	特		2
	573	フェノバルビタール	1.2	0.5	B-16	ラテックス凝集比濁法	トラフ値 10.0~40.0 $\mu\text{g/mL}$	1~2	特		2
	574	プリミドン	1.2	0.5	B-16	EIA	5~12 $\mu\text{g/mL}$	1~2	特		2
	562	カルバマゼピン	1.2	0.5	B-16	ラテックス凝集比濁法	トラフ値 40~120 $\mu\text{g/mL}$ ※他の抗てんかん薬 供用時は4.0~8.0	1~2	特		2
	569	バルプロ酸	1.2	0.5	B-16	ラテックス凝集比濁法	50~100 $\mu\text{g/mL}$	1~2	特		2
	564	クロナゼパム	1.2	0.3	B-16	LC-MS/MS	20.0~70.0 ng/mL	3~4	特	※血清 必ず凍結。	2
	561	エトスクシミド	1.2	0.5	B-16	EIA	40~100 $\mu\text{g/mL}$	2~8	特		2
	565	ジアゼパム	1.2	0.2	B-16	LC-MS/MS	600~1000 中毒濃度1000以上 ng/mL	3~6	特	※血清 必ず凍結。	2
	568	ニトラゼパム	1.2	0.3	B-16	LC-MS/MS	20.0~100.0 ng/mL	3~4	特	※血清 必ず凍結。	2
精 神 神 経 用 剤	566	ゾニサミド	1.2	0.5	B-16	ラテックス凝集法	10.0~30.0 $\mu\text{g/mL}$	1~2	特		2
	577	リチウム(Li)	1.2	0.5	B-16	原子吸光分光光度法	治療有効濃度0.60~1.20 中毒濃度2.00以上 mEq/L	2~3	特		2
	576	ハロペリドール	1.2	0.5	B-16	金コロイド凝集法	3.0~17.0 ng/mL	1~2	特		2
強 心 剤	586	プロムペリドール	1.2	0.5	B-16	金コロイド凝集法	15.0以下 ng/mL	1~2	特		2
	551	ジゴキシン	1.2	0.5	B-16	ラテックス凝集比濁法	0.8~2.0 中毒濃度2.5以上 ng/mL	1~2	特		2
不 整 脈 用 剤	554	アプリンジン	0.6	0.2	B-16	LC-MS/MS	0.25~1.25 中毒濃度2.00以上 $\mu\text{g/mL}$	3~5	特		2
	556	ジソピラミド	1.2	0.5	B-16	EIA	2~5 $\mu\text{g/mL}$	1~2	特		2

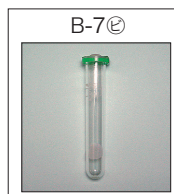
特：特定薬剤治療管理料
(38ページ参照)

分類	項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値(治療有効濃度)	所要日数	実施料区分	採血時刻※、備考
			全血	血清						

薬物分析検査

不整脈用剤	581	シベンゾリン	血漿 0.3		B-7 [㊟]	LC-MS/MS	70.0~250.0 ng/mL	3~5	特	❄️ 血漿 必ず凍結。朝投与直前に採血してください。Peak濃度として800ng/mLを超える場合、副作用が発現しやすい。	2
	582	ピルシカイニド	血漿 0.3		B-7 [㊟]	LC-MS/MS	0.20~0.90 μg/mL	3~5	特	❄️ 血漿 必ず凍結。	2
	584	フレカイニド	0.8	0.3	B-16	LC-MS/MS	200~1000 ng/mL	3~5	特	❄️ 血清 必ず凍結。	2
	558	リドカイン	1.2	0.5	B-16	EIA	1.5~5 中毒濃度 9以上 μg/mL	2~8	特		2
	555	キニジン	1.2	0.5	B-16	KIMS	1.0~5.0 μg/mL	2~4	特		2
	557	プロカインアミド	1.2	0.5	B-16	EIA	4.0~8.0 中毒濃度 12.0以上 μg/mL	2~4	特		2
	559	N-アセチルプロカインアミド	1.2	0.5	B-16	EIA	μg/mL	2~4	特		2
抗生物質製剤	591	ゲンタマイシン	1.2	0.5	B-16	EIA	ピーク値: 15.0~20.0 トラフ値: 1.0未満	2~4	特		2
	592	トブラマイシン	1.2	0.5	B-16	EIA	治療有効濃度 ピーク値: 15.0~20.0 トラフ値: 1.0未満 μg/mL	2~4	特		2
	593	アミカシン	1.2	0.5	B-16	KIMS	治療有効濃度 ピーク値: 50.0~60.0 トラフ値: 4.0未満 μg/mL	2~4	特		2
	596	アルベカシン	1.2	0.5	B-16	ラテックス凝集比濁法	ピーク値: 15.0~20.0 トラフ値: 1.0~2.0未満 μg/mL	2~3	特		2
	595	バンコマイシン	1.2	0.5	B-16	EIA	治療有効濃度 トラフ値: 10.0~15.0 μg/mL	1~2	特		2
その他	553	テオフィリン	1.2	0.5	B-16	ラテックス凝集比濁法	成人 5.0~15.0 乳児 5.0~10.0 中毒濃度 25.0以上 μg/mL	1~2	特		2
	579	メトトレキサート	1.2	0.5	B-16	EIA	中毒域(大量投薬時) 24時間後 10.00以上 48時間後 1.00以上 72時間後 0.10以上 μmol/L	2~3	特		2
	578	サリチル酸	1.2	0.5	B-16	酵素法	有効治療濃度 150~300 (抗炎症用時) 中毒濃度 300以上 μg/mL	2~4	特		2
	544	薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)	1薬剤 血液12.0 (ヘパリン加)		B-7 [㊟]	³ H-サイミジン取り込み能 (³ H-TdR up take)	陰性	8~10	345 2薬剤 425 3薬剤 以上 515	受託可能日は月~金曜日です。 1薬剤増ごとに血液5.0mL必要となります。 血液と同時に依頼薬剤もご提出ください。 (原則として皮内反応注射薬は検査できません。) ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合は全ての採血管に(PNK)の容器を使用してください。 ご依頼の際は専用依頼書への記載が必要となります。ご不明な場合はセンターまでお問い合わせください。	1

特: 特定薬剤治療管理料 (38ページ参照)



薬物分析検査

●特定薬剤治療管理料1 (なお、特定薬剤治療管理料2については、サリドマイド製剤の服薬管理のみで、血中濃度測定は含みません。)

対象薬剤	入院外来	所定点数	初月加算	4か月以降	対象疾病
①ジギタリス製剤 ジギタリス製剤の急速飽和	入外 入外	470 740	280 —	235 —	心疾患患者 重症うっ血性心不全
②テオフィリン製剤	入外	470	280	235	気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫、未熟児無呼吸発作
③不整脈用剤 (プロカインアミド、N-アセチルプロカインアミド、ジソピラミド、キニジン、アプリンジン、リドカイン、ビルジカイニド塩酸塩、プロパフェノン、メキシレチン、フレカイニド、シベンゾリンコハク酸塩、ビルメノール、アミノダロン、ソタロール塩酸塩、ペプリジル塩酸塩)	入外	470	280	235	不整脈の患者
④ハロペリドール製剤、プロムペリドール製剤	入外	470	280	235	統合失調症患者
⑤リチウム製剤	入外	470	280	235	躁うつ病患者
⑥バルプロ酸ナトリウム、カルバマゼピン	入外	470	280	470	躁うつ病、躁病
⑦抗てんかん剤 てんかん重積状態の患者に対して抗てんかん剤の注射などを行った場合	入外 入外	470 740	280 —	470 —	てんかん患者 全身性けいれん発作重積状態
⑧バルプロ酸ナトリウム	入外	470	280	235	片頭痛
⑨サリチル酸系製剤(アスピリン他)	入外	470	280	235	若年性関節リウマチ、リウマチ熱、関節リウマチ
⑩メトトレキサート	入外	470	280	235	悪性腫瘍の患者
⑪エベロリムス(抗悪性腫瘍剤)	入外	470	280	235	結節性硬化症の患者
⑫イマチニブ	入外	470	280	235	当該薬剤の適応疾患(慢性骨髄性白血病など)
⑬シクロスポリン	入外	470	280	470	1. ベーチェット病で活動性、難治性眼症状を有するもの 2. その他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分で、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎) 3. 再生不良性貧血、赤芽球癆、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型重症筋無力症、アトピー性皮膚炎(既存治療で十分な効果が得られない患者) 4. ネフローゼ症候群、川崎病の急性期
⑭タクロリムス水和物	入外	470	280	470	全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎又は間質性肺炎(多発性筋炎又は皮膚筋炎の合併のみ)の患者
⑮免疫抑制剤 (シクロスポリン、タクロリムス水和物、エベロリムス*1、ミコフェノール酸モフェチル*2)	入外	470	臓器移植後 3月まで 2740	470	臓器移植後の免疫抑制
⑯アミノ配糖体抗生物質 (アマカシン、トブラマイシン、ゲンタマイシン、アルベカシン)	入	470	280	235	表記の薬剤を数日間投与している入院中の患者(外来は不可)
グリコペプチド系抗生物質 テイコブラニン バンコマイシン	入	470	530	235	
⑰トリアゾール系抗真菌剤(ボリコナゾール)	入	470	280	235	重症又は難治性真菌感染症(外来は不可)、造血幹細胞移植(深在性真菌症予防目的)
⑱シロリムス製剤	入外	470	280	235	リンパ脈管筋腫症の患者
⑲スニチニブ	入外	470	280	235	腎細胞癌の患者
⑳治療抵抗性統合失調症治療薬(クロザピン)	入外	470	280	235	統合失調症患者
㉑ブスルファン	入外	470	280	235	同種造血幹細胞移植前患者、ユーイング肉腫ファミリー腫瘍、神経芽細胞腫、悪性リンパ腫の自家造血幹細胞移植前患者

- ・薬剤の血中濃度、治療計画の要点を診療録に記載の事。
- ・ジギタリス製剤の急速飽和とは、治療効果が得られる濃度にまで到達させる事をいい、急速飽和完了日に740点を算定する。
- ・てんかん重積状態の患者に対して、抗てんかん剤の注射などを行い重積状態が消失した日に740点を算定する。
- ・4月目以降とは、初回の算定から暦月で数えて4月目以降のことである。
- ・対象薬剤群が異なる場合は、別々に所定点数を月1回算定できる。ただし、①又は⑦の740点を算定した月は、①又は⑦に係る他の点数は別に算定できない。
- ・抗てんかん剤を同一月に2種類以上投与しそれぞれについて個々に測定・管理を行った場合は、2回に限り所定点数を算定できる。
- ・血中濃度を測定している薬剤及び初回の算定をレセプトの摘要欄に記載する。
- ・1月のうちに2回以上血中濃度を測定した場合であってもそれに係る費用は算定できない。ただし、別の疾患に対して別の薬剤を投与した場合はそれぞれ算定できる。
- *1 エベロリムスを投与している臓器移植後の患者で2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、同一月に複数の免疫抑制の血中濃度を測定、管理した場合はエベロリムスの初回投与を行った月を含め3月に限り月1回、4月目以降は4月に1回250点を所定点数に加算する。
- *2 ミコフェノール酸モフェチルを投与している臓器移植後の患者で2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、同一月に複数の免疫抑制剤の血中濃度を測定、管理した場合は6月に1回に限り250点を所定点数に加算する。

腫瘍マーカー検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

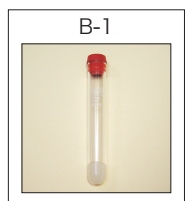
腫瘍マーカー検査

351	CEA (癌胎児性抗原)	0.8	0.3	B-1	CLIA	5.0以下 ng/mL	1~2	99 生II	
352	α-フェトプロテイン (AFP)	0.8	0.2	B-1	CLIA	10.0以下 ng/mL	1~2	98 生II	
363	AFPレクチン分画/ LBA	1.2	0.5	B-1	LBA-EATA法	L3分画: 10.0未満 % 総AFP量: 10.0以下 ng/mL	3~6	185 生II	2
382	PIVKA-II 定量	1.5	0.6	B-1	CLIA	40未満 mAU/mL	2~3	131 生II	2
364	DUPAN-2	0.8	0.3	B-1	EIA	150以下 U/mL	3~5	115 生II	2
354	エラスターゼ1	1.2	0.5	B-1	ラテックス 凝集法	300以下 ng/dL	2~3	120 生II	2
377	CA19-9	1.2	0.5	B-1	CLIA	37.0以下 U/mL	1~2	121 生II	
371	SPan-1	1.0	0.4	B-1	IRMA (RIA・固相法)	30.0以下 U/mL	2~3	144 生II	2
375	NCC-ST-439	1.5	0.6	B-1	EIA	男性及び50歳以上の女性 45未満 女性 49歳以下 7.0未満 U/mL	2~3	112 生II	2
379	CA15-3	1.2	0.5	B-1	CLIA	31.3以下 U/mL	2~3	112 生II	2
361	SLX (シアリルLe ^x -i抗原)	1.0	0.4	B-1	IRMA (RIA・固相法)	38.0以下 U/mL	3~5	140 生II	☞ 溶血はデータの変動 要因となります。
367	PSA (前立腺特異抗原)	1.2	0.5	B-1	CLIA	64歳以下 2.9以下 65~69歳 3.4以下 70歳以上 3.9以下 ng/mL	1~2	121 生II	
396	フリーPSA/トータルPSA比 (PSA F/T比)	1.5	0.7	B-1	CLIA	下記参照	1~3	150 生II	フリーPSA/トータルPSA比、 トータルPSA値、フリーPSA 値を報告いたします。

マ腫
カ
1
瘍

フリーPSA/トータルPSA比 (PSA F/T比)

前立腺癌と 非癌の鑑別	トータルPSA4.1から10.0ng/mLのグ レーゾーンにおいて、F/T比26.0%以下 の場合、前立腺癌の高度疑い。
基準値	トータルPSA: 4.00ng/mL以下 フリーPSA: 未設定 フリー/トータル比: 26.1%以上



腫瘍マーカー検査

項目No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

腫瘍マーカー検査

378	CA125	1.2	0.5	B-1	CLIA	35.0以下 U/mL	2~3	136 生II	2
390	CA546 (CA54/61)	1.5	0.6	B-1	EIA	12.0以下 U/mL	2~4	184 生II	2
381	CA72-4	1.2	0.5	B-1	ECLIA	6.9以下 U/mL	2~3	146 生II	2 ビオチンを投与している患者(1日の投与量5mg以上)からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください。
385	シアリルTn抗原 (STN)	1.0	0.4	B-1	RIA・固相法	45.0以下 U/mL	2~3	146 生II	2
360	SCC抗原	1.2	0.5	B-1	CLIA	1.5以下 ng/mL	1~3	101 生II	2 唾液、フケ、皮膚等の混入により高値傾向を示す場合があります。
388	シフラ (サイトケラチン19フラグメント)	1.2	0.5	B-1	ECLIA	3.5以下 ng/mL	2~3	154 生II	2
368	NSE (神経特異エノラーゼ)	1.0	0.4	B-1	ECLIA	16.3以下 ng/mL	2~3	142 生II	2 ☒ 溶血の場合は高値となりますのでご注意ください。ビオチンを投与している患者(1日の投与量5mg以上)からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください。採血後1時間以内に血清のみを分離し、ご提出ください。
370	塩基性フェトプロテイン (BFP)	1.5	0.6	B-16	EIA	75未満 ng/mL	2~5	150 生II	2 ☒ 採血後2時間以内に血清分離してください。分離剤入りの容器での採血不可。また溶血は避けてください。
437	可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	1.2	0.5	B-1	CLEIA	157~474 U/mL	2~4	438 生II	1
387	pro GRP (ガストリン放出ペプチド前駆体)	血漿0.6		B-6 ⑤	CLIA	81.0未満 pg/ml	2~3	175 生II	2

保険点数解釈

患者から1回に採取した血液を用いて実施料 印(腫瘍マーカー)の項目を2項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査項目数に応じて次の所定点数となります。

2項目	230点
3項目	290点
4項目以上	385点

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

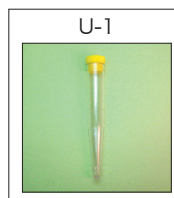
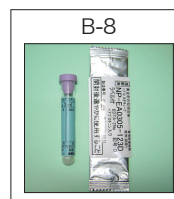
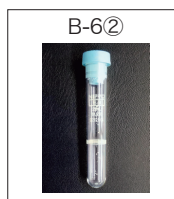
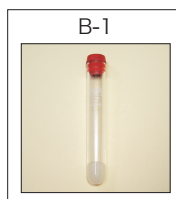
その他の検査

431	レニン活性 (PRA)	血漿0.7		B-6 ⑤	EIA	臥位 0.2~2.3 座位 0.2~3.9 立位 0.2~4.1 ng/mL/hr	3~5	100 生II	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
446	レニン濃度 (ARC)	血漿0.5		B-6 ⑤	CLEIA	2.21~39.5 pg/mL	2~4	102 生II	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
434	ヒト心房性ナトリウム 利尿ペプチド (HANP)	血漿0.5		B-8	CLEIA	43.0以下 pg/mL	2~4	(221) 生II	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
430	ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド (BNP)	0.5		B-6 ②	CLIA	18.4以下 pg/mL	1~2	(130) 生II	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
435	エリスロポエチン	2.5	0.8	B-1	CLEIA	4.2~23.7 mIU/mL	2~4	(209) 生II		1
187	ミオグロビン	1.2	0.5	B-1	CLIA	M 154.9以下 F 106.0以下 ng/mL	2~4	131 生I		1
630	尿中ミオグロビン [CLEIA]	部分尿6		専用 容器	CLEIA	2.0未満 ng/mL	2~4	131 生I	凍結不可 採尿後、速やかに専用容器 に入れ、冷蔵してください。	1
372	心室筋ミオシン軽鎖 I	1.2	0.5	B-1	EIA	2.5以下 ng/mL	2~6	184 生I		1
436	IV型コラーゲン・7S	1.2	0.5	B-1	CLEIA	4.4以下 ng/mL	2~4	148 生I		1
1472	ヒアルロン酸	1.0	0.4	B-1	ラテックス 凝集免疫比濁法	50以下 ng/mL	2~4	179 生I		1
438	KL-6	1.2	0.5	B-1	CLEIA	500未満 U/mL	2~4	108 生I		1
288	NTx	部分尿3		U-1	CLEIA	下記参照	2~4	(156) 生II	午前中の第二尿をご提出 ください。	1
393	心筋トロポニンT	1.2	0.5	B-1	ECLIA	0.014以下 急性心筋梗塞診断のカッ トオフ値 0.100 ng/mL	2~4	109 生I		1
1020	TARC (Th2ケモカイン)	0.7	0.3	B-1	CLEIA	小児(6~12ヵ月) : 1367未満 小児(1~2歳) : 998未満 小児(2歳以上) : 743未満 成人 : 450未満 pg/mL	2~4	179 免疫	トロンビン入り採血管は測定 値に影響を与える恐れがある ため使用を避けてください。	1

NTx (骨粗鬆症) 基準値

単位: nmolBCE/mmol・CRE

基準値 (参考値)	男性	13.0~66.2
	閉経前女性	9.3~54.3
	閉経後女性	14.3~89.0
判定基準	骨吸収亢進の指標	55以上
	副甲状腺摘出術の適応	200以上
	悪性腫瘍(乳癌、肺癌、前 立腺癌)の骨転移の指標	100以上



血液学的検査

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

血液一般・形態学検査

501	末梢血液一般検査	白血球数	血液 2.0 (EDTA-2K加)	B-3	半導体レーザーを用いたフローサイトメトリー法	3500~8500 / μ L	21 血液	☎ 白血球:1000以下 25000以上 血色素:5.0以下 血小板:3.0以下 100.0以上 凝固検体や凝固塊のある検体は検査不能です。 採取後 転倒混和を充分に行ってください。	
		赤血球数			シーソフローDC検出法	M 420~560 F 380~500 $\times 10^4/\mu$ L			
		血色素量			SLS-ヘモグロビン法	M 13.0~17.0 F 11.5~15.0 g/dL			
		ヘマトクリット値			赤血球パルス波高値検出法	M 39.5~51.0 F 35.5~46.0 %			
		血小板数			シーソフローDC検出法	15.5~34.0 $\times 10^4/\mu$ L			
503	血液像	自動機械法	血液 2.0 (EDTA-2K加)	B-3	半導体レーザーを用いたフローサイトメトリー法	血液像	%	15 血液	☎ 芽球出現時 下記の 血液像鏡検法について をご参照ください。
		鏡検法	固まるメイギムザ染色による検査が可能です。			Neutro 38.0~71.0 Lympho 21.0~53.0 Mono 3.0~8.0 Eosino 0.0~8.0 Baso 0.0~2.0	25 血液		
504	網赤血球数	血液 2.0 (EDTA-2K加)			半導体レーザーを用いたフローサイトメトリー法	5~20 %		12 血液	
508	鼻汁中好酸球数	鼻汁塗抹 標本 1~2枚		O-2	メイギムザ染色による鏡検法			15 血液	

血液像鏡検法について

以下の場合には実施料25点となります。

- ①鏡検法をご依頼された場合。
- ②精査鏡検（センターよりご連絡させていただきます）の場合。

血液型検査

506	ABO式血液型	血液 2.0	B-3 又は B-13	試験管法 (表試験、裏試験)		当日~1	24 免疫	血液一般検査と同じ採血 又は抗凝固剤を入れずに 採血してください。
507	Rh (D因子) 式血液型			試験管法			24 免疫	
	Rh (その他の因子) 血液型	血液 2.0	B-6 ⑤	カラム凝集法		2~4	148 免疫	年齢・輸血歴・疾患名を 明記してください。

ABO、Rh (D因子) 式血液型について

ABO式血液型

ABO式血液型は、表試験と裏試験を実施し、ご報告しておりますが、生後1歳未満の乳幼児の場合は抗A、抗B抗体の産生が不十分な為、表試験のみのご報告となる場合があります。成長後の再検査をお勧めいたします。

Rh (D因子) 式血液型

陰性の場合、D陰性確認試験を試験管法で実施した後判定し、ご報告しております。

(血液型検査の追加について)

血液型検査追加は採血日より3日以内とさせていただきます。

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

凝固系検査

511	プロトロンビン時間 (PT)	血漿0.3	B-4	凝固時間 測定法 (光散乱検出 方式)	9.5~13.0 秒 INR:0.85~1.15	当日~1	18 血液	☎ INR4.00以上	
512	活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)	血漿0.3			24.0~34.0 秒		29 血液	下記のように採血してく ださい。 凝固検体や凝固塊のある 検体は検査不能です。 採取後、転倒混和を充分 に行ってください。	
515	フィブリノゲン	血漿0.3			200.0~400.0 mg/dL		23 血液		
516	FDP定量 (血中)	血漿0.3	B-4	ラテックス 免疫比濁法	4以下 μg/mL	2~4	80 血液	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
517	FDP定量 (尿中)	尿2	U-4	LPIA	100以下 ng/mL	2~6	72 尿・糞	❄ 尿 必ず凍結保存。	1
518	アンチトロンビンIII (ATIII)	血漿0.5	B-4	発色性合成 基質法	79~121 %	2~4	70 血液	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
519	Dダイマー	血漿0.5	B-4	ラテックス 免疫比濁法	1.0以下 μg/mL	2~4	127 血液	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
537	α ₂ プラスミンインヒビター・ プラスミン複合体 (PICテスト)	血漿0.2	B-4	LPIA	0.8以下 μg/mL	2~4	150 血液	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
535	トロンビン・アンチトロンビンIII 複合体 (TAT)	血漿0.5	B-4	CLEIA	3.0以下 ng/mL	2~4	171 血液	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
533	プラスミノゲン	血漿0.5	B-4	発色性合成 基質法	75~125 %	2~4	100 血液	❄ 血漿 必ず凍結保存。	1
520	β-トロンボグロブリン (β-TG)	乏血小板 血漿0.3	B-10	EIA	50以下 ng/mL	2~6	171 血液	❄ 血漿 必ず凍結保存。 検体採取方法の指示がござい ます。不明な場合、センター までご連絡ください。	1

プロトロンビン時間 (PT)、活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)、フィブリノゲンの採血について

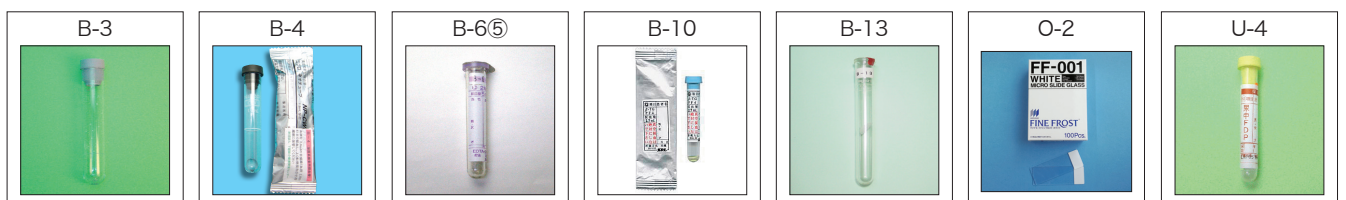
採血：速やかに血液を採取し、容器B-4 (3.2%クエン酸ナトリウム液0.2mL入り) の2.0mL目盛り (白線) まで血液を注入し、すぐに転倒混和を5~6回繰り返して下さい。

採血後の保存：採血後6時間以内に検査しなければなりませんので、採血時間のご協力をお願いします。尚、6時間以内に検査が不可能な場合は、3,000r.p.m 15分間遠心し、血漿を専用容器 (O-1 ポリチューブ) に取り、凍結保存してください。

その他：上記以外の凝固系検査 (容器コードB-4項目) をご依頼の場合は、もう1本採血をお願いします。

保険点数解釈 患者から1回に採取した血液を用いて実施料 印 (出血・凝固検査) の項目を3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査項目数に応じて次の所定点数となります。

3項目又は4項目 530点
5項目以上 722点



一般検査 (尿・糞便)

項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器コード	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
		全血	血清						

尿 検 査

*131	尿一般(定性・半定量) A 蛋白・糖	尿10	U-1	試験紙法 (目視判定)					
*132	尿一般(定性・半定量) B 蛋白・糖 ウロビリノゲン 潜血・PH	尿10	U-1	試験紙法 (目視判定)	蛋白定性:陰性(-) 糖定性:陰性(-) ウロビリノゲン:(±) 潜血反応:陰性(-) pH: 4.5~7.5				
*133	尿一般(定性・半定量) C 蛋白・糖 ウロビリノゲン 潜血・PH ビリルビン アセトン体・比重	尿10	U-1	試験紙法 (目視判定) + 比重計法	ビリルビン:陰性(-) アセトン体:陰性(-) 比重: 1.005~1.030		当日~1		新鮮尿をご提出ください。
*135	自然尿 尿沈渣	尿10	U-1	鏡検法				27 尿・糞	
*136	導尿	尿10	U-1	鏡検法				27 尿・糞	
604	尿蛋白定量	尿10	U-1	ピロガロール レッド法	10未満 mg/dL			7 尿・糞	
605	尿糖定量	尿5	U-1	GOD電極法				9 尿・糞	
624	VMA定性	尿10	U-1	佐藤らの方法	(-)			9 尿・糞	VMA定量はP21をご参照ください。
517	FDP定量(尿中)	尿2	U-4	LPIA法	100以下 ng/mL		2~6	72 尿・糞	必ず冷蔵保存。

糞 便 検 査

664	塗沫法	拇指頭大	F-4	塗沫法	(-)	2~3	20 尿・糞		2
665	集卵法	拇指頭大	F-4	集卵法	(-)	2~3	15 尿・糞		2
654	便中ヒトヘモグロビン	指定必要量	F-3 又は F-1	ラテックス 免疫比濁法	(-)	当日~1	37 尿・糞		

一般検査 (尿・糞便)

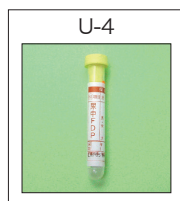
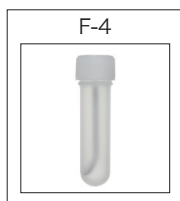
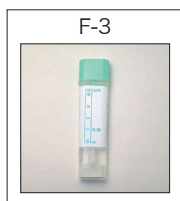
項目 No.	検査項目	検体量(mL)		容器 コード	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 区分	備考
		全血	血清						

髄液検査

819	蛋白定量	0.3	S-6	ピロガロール レッド法	10~40 mg/dL	当日	⑪ 生 I	容器は滅菌済のものをご 使用ください。 採取後はなるべく速やかに ご提出ください。	
820	糖定量	0.3		GOD電極法	50~75 mg/dL				⑪ 生 I
821	ナトリウム (Na) クロール (Cl)	0.5		電極法	Cl 120~125 mEq/L				⑪ 生 I
	比重	0.5		比重計法	1.005~1.007				62 尿・糞
	細胞数	1.0		計算板法	新生児:25以下 乳児:20以下 乳児以降:5以下 /μL				
	細胞種類 (単核、多核分類)	1.0		鏡検法					

穿刺液検査

834	蛋白定量	1.0	B-6 ⑦	Biuret法	滲出液4.0以上 漏出液2.5以下 g/dL	⑪ 生 I	採取後はなるべく速やかに ご提出ください。	
835	糖定量	0.3		GOD電極法				⑪ 生 I
	比重	0.5		比重計法	滲出液1.018以上 漏出液1.015以下			検体 採取含 180
	リバルタ反応	0.5			滲出液:陽性 漏出液:陰性			
	細胞数	1.0		計算板法				



微生物学的検査

項目 No.	検査項目	検体と容器	検査方法	所要日数	実施料区分	備考
--------	------	-------	------	------	-------	----

一般細菌検査

901	塗抹鏡検		グラム染色	2~3	67 微生物	材料が便、大腸又は培地のときは実施しません。	2
904	口腔、気道又は呼吸器からの検体	喀痰：S-1 喉頭ぬぐい液：S-3 鼻腔：S-3	Bergey's Manual他に基づく同定法	4~7	180 微生物	[尿中菌数定量] 自然尿・中間尿・穿刺尿・カテーテル尿で培養のご依頼があれば、全てご報告いたします。細菌数が10 ² /mL以上の時、尿路感染が疑われます。	2
905	消化管からの検体	糞便：S-4 胃液・胆汁：S-8 肛門スワブ：S-3			200 微生物		2
906	泌尿器又は生殖器からの検体	尿：S-6 生殖器分泌物：S-3 バルトリン：S-8			190 微生物		2
907	血液又は穿刺液	血液：S-2 胸水・腹水・関節液・髄液：S-8、S-2、S-3			225 微生物		2
908	その他の部位からの検体	膿：S-3 褥瘡・眼脂：S-3 皮膚・爪：S-1、S-6			180 微生物		2
919	嫌気性菌培養・同定	胆汁、大腸粘膜、小腸粘膜、虫垂、胃液、バルトリン腺、髄液、関節液、胸水、腹水などの通常酸素の存在しない部位からの検体：S-8、S-3	Bergey's Manual他に基づく同定法	5~8	122 微生物	嫌気ポーター、カルチャースワブプラス又は嫌気用ボトルでご提出ください。 (便検体では、クロストリジウム・ディフィシルの有無のみ報告)	2
909	1菌種	薬剤感受性試験	ディスク法 微量液体希釈法	4~7	185 微生物	菌が検出された場合実施します。 (BMLセット) コード8034検出された菌種毎に、抗菌活性のある薬剤を中心に選択し、ご報告いたします。	2
910	2菌種				240 微生物		2
911	3菌種以上				310 微生物		2
931	MRSAスクリーニング(鼻腔) (MRSA検索(鼻腔))	鼻腔：S-3		4~6		MRSAのみの目的菌としています。	2

消化管検体

●便・大腸粘膜	サルモネラ菌(チフス菌を含む) シンゲラ(赤痢菌) ビブリオ(コレラ・腸炎ビブリオ含む。)の有無。	○臨床所見：下痢症、食中毒のとき エルシニア、カンピロバクターが加わります。
(注) ○黄色ブドウ球菌 ○セレウス菌 ○アエロモナス ○プレジオモナスにつきましては検出されればご報告致します。		○臨床所見：腹痛のとき エルシニアが加わります。
●便・大腸粘膜以外	検出された全ての細菌(サルモネラを含む。)	○臨床所見：血便のとき 大腸菌血清型別、エルシニア、カンピロバクターが加わります。
		○補足情報：海外帰国者のとき ・アルカリペプトン水により増菌培養します。 ・エルシニアが加わります。

表に掲載されていない材料

口腔気道						消化管	泌尿器・生殖器	その他																						
鼻	鼻	喉	口腔ぬぐい液	舌	唾	消化器分泌物	穿刺尿	月経血	乳腺穿刺液	耳漏	耳漏	眼脂	眼脂	乳汁	水疱内容物	CAPD排液	PTCD排液	胸腔ドレイン排液	胸腔ドレイン先端	腹腔ドレイン排液	腹腔ドレイン先端	灌流液	ドレーン刺入部	カテーテル刺入部	組織	カニキュール	キュレット	ブラシ	CVカテーテル先端	
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
4	4	4	4	4	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3	3	3	3	3	3	4	2	5	6	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
0	1	4	8	9	0	0	4	4	8	2	3	4	5	6	7	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6

項目 No.	検査項目	検体と容器	検査方法	所要日数	実施料区分	備考
--------	------	-------	------	------	-------	----

抗酸菌検査

921	塗抹鏡検（蛍光法）		蛍光染色（集菌法）	1～2	50+35 （集菌塗抹法加算） 微生物	2
936	分離培養 蛍光センサー法	喀痰：S-1 胸水：S-1 尿：S-6	酸素感受性 蛍光センサー法 （MGIT培地）	3週 6週	300 微生物	☎菌が検出された場合。
922			小川法	2%小川培地	4週 6週 8週	
937	結核菌群抗原検査		免疫クロマト法	2～3	291 免疫	報告日に分離培養の日数は含まれません。培養陽性後検査を実施します。
929	薬剤感受性試験 4薬剤以上		マイクロ タイター法	3～5週	400 微生物	抗菌薬については47ページをご覧ください。
927	結核菌群核酸同定/ （リアルタイムPCR） （MTC/PCR）	呼吸器材料：S-1 （喀痰など）	リアルタイム PCR法	2～4	410 微生物	喀痰は2～3mLをS-1に採取してご提出ください。
928	マイコバクテリウムアビウム・ イントラセルラー核酸同定/ リアルタイムPCR （MAC/PCR）	呼吸器材料：S-1 （喀痰など）	リアルタイム PCR法	2～4	421 微生物	喀痰は2～3mLをS-1に採取してご提出ください。
	MTC・MAC/PCRセット	呼吸器材料：S-1 （喀痰など）	リアルタイム PCR法	7～10	微生物	結核菌群の結果が（-）の場合非結核性抗酸菌を実施。
932	抗酸菌同定 （質量分析法）	呼吸器材料：S-1 （喀痰など）	質量分析法	2～5	410 微生物	喀痰等の検体でご依頼の場合は、必ず抗酸菌分離培養蛍光センサー法、または小川法も同時に ご依頼ください。
1957	結核菌IFN- γ 測定 （T-SPOT.TB）	血液 10.0 （ヘパリン加血）	ELISPOT法	4～5	593 免疫	ご依頼の際はセンターまでご連絡ください。

微生物

結核菌群核酸同定／リアルタイムPCR マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー核酸同定／リアルタイムPCRの材料別必要量

材料	必要量	容器	備考
喀痰、胃液、髄液、 肺洗浄液、膿	2～3mL	S-1（喀痰） S-6（その他）	
尿、胸水、腹水	5～10mL	S-6	
血液（血清不可）	3～5mL	専用容器	ヘパリンは不可 カルチャーボトルは不可
骨髄液	1～2mL	専用容器	ヘパリンは不可
組織（生検体）	5mm ³ 以上 （5～10mg）	専用容器	乾燥防止のため生理食塩水を1mL 加えてご提出ください。 ホルマリン固定組織は不可
糞便	小指頭大	F-4	
培地	1コロニー以上	小川培地 MGIT	
スワブ	1本以上	S-3	検査は実施しますがデータの信頼性が 低いため参考値として御理解ください。

抗酸菌薬剤感受性試験の 検査対象となる抗菌薬

略称	薬剤名
SM	ストレプトマイシン硫酸塩
PAS	パラアミノサリチル酸ナトリウム
INH	イソニアジド
KM	カナマイシン硫酸塩
EVM	エンビオマイシン硫酸塩
EB	エタンプトール塩酸塩
RFP	リファンピシン
TH	エチオナミド
CS	サイクロセリン
LVFX	レボフロキサシン

※「検体と容器」については、49ページの「目的別使用容器」をご覧ください。

微生物学的検査

項目 No.	検査項目	検体と容器	検査方法	基準値	所要日数	実施料区分	備考
--------	------	-------	------	-----	------	-------	----

その他の

944	尿素呼気試験	呼気(服用前・後の2ケ):0-4	C13 尿素呼気試験法 (赤外分光分析)	陰性	2~3	70 微生物	採取方法は63ページ をご覧ください。 ²
-----	--------	------------------	----------------------------	----	-----	-----------	-------------------------------------

※呼気採取方法のポイント

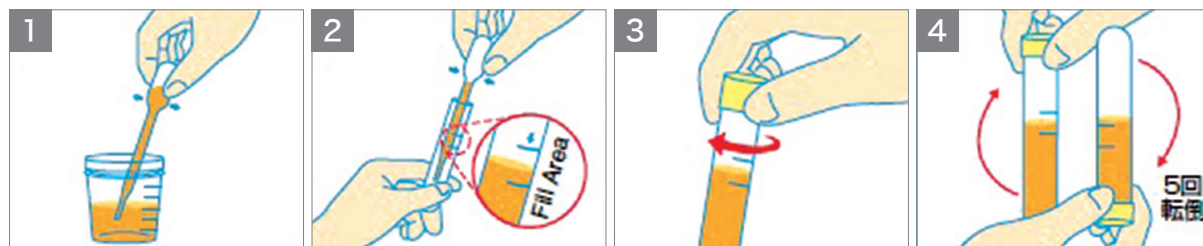
- 1) 呼気採取バッグを口にあて、(鼻から)息を吸って、5~10秒程度息を止めてください。
- 2) その後呼気採取バッグにゆっくりと息を入れてください。
- 3) 息止めが苦しい場合は2~3回に分けて入れても大丈夫です。
- 4) 呼気採取バッグには肺の中の息を入れるようにしてください。

1890	淋菌および クラミジアトラコマ チスDNA同時同定	分泌物	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	2~4	262 微生物	凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物、部分尿： 検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。尿検体は最後の排尿から1時間以上経過後に初尿を採取してください。 うがい液： 検体採取前の食事、うがい、歯磨きなどは避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
		部分尿5					
		うがい液5					

尿検体からの採取

最後の排尿から少なくとも1時間以上経過後の初尿を採取してください。

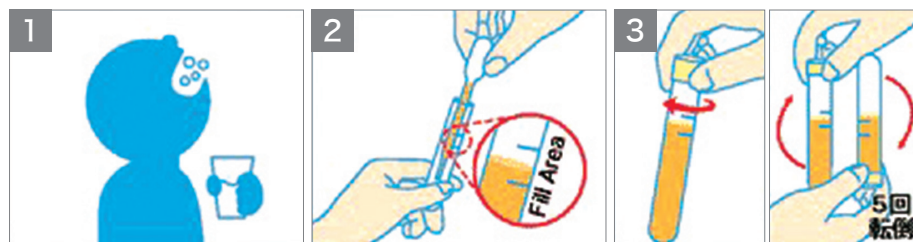
- 1.滅菌済みカップに初尿を採取し、滅菌済みスポイトを用いて初尿を専用容器に移します。
- 2.専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。
- 3.専用容器のキャップをしっかりと閉めてください。
- 4.専用容器を5回転倒混和して室温にて提出してください。



うがい液検体からの採取

検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むこと等は避けてください。

- 1.滅菌生理食塩水をカップに15~20mL入れ口に含み、顔を上に向けて10~20秒間、勢いよくうがいを行います。
- 2.うがい液全量をカップに回収し、スポイトで専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように添加します。
- 3.専用容器のキャップをしっかりと閉め、5回転倒混和して室温保存にて提出してください。



■薬剤感受性試験（BMLセット）

系統	ペニシリン系薬			β-ラクタマーゼ阻害薬			セフェム系薬											*1	カルバペネム系薬	アミノグリコシド系薬		マクロライド系薬			*2	ニューキノロン系薬			*3	*4	その他									
	PCG	AMP	ABPC	PIPC	SBT/C/PZ	CVA/AMP/C	SBT/ABPPC	CCL	CEZ	CTM	CPZ	CMZ	CFDN	CDTRPI	CFNPI	CAZ	CTX	FMOX	CFPM	AZT	IPM/CS	MEPM	G	AMK	ABK	EM	CAM	AZM	MINO	TC	LVFX	TFLX	CPFX	CLDM	VCM	ST	FOM			
ブドウ球菌	●		●				●	●	●		●									●																●	●	●		
腸球菌			●	●																	●																●			
肺炎球菌	●	●				●				●				●	●											●	●	●	●	●								●		
連鎖球菌 (溶連菌を含む)	●		●			●															●																	●		
上記以外のグラム陽性球菌	●		●					●			●										●					●												●		
緑膿菌				●	●						●								●	●	●																		●	
インフルエンザ菌			●			●	●			●			●	●	●											●	●			●	●								●	
インフルエンザ菌以外の ヘモフィルス			●				●														●					●													●	
カンピロバクター			●																		●					●													●	
ビブリオ			●																																				●	
上記以外のグラム陰性桿菌			●	●	●	●			●			●									●					●													●	
グラム陽性桿菌			●							●											●					●													●	
モラクセラ (カタル球菌)						●				●																●														●
上記以外のグラム陰性球菌 (淋菌・髄膜炎菌を含む)	●					●						●																											●	
嫌気性菌	●					●						●									●																		●	

*1 モノバクタム系薬 *2 テトラサイクリン系薬 *3 リンコマイシン系薬 *4 グリコペプチド系薬

■目的別使用容器

容器コード		(参照ページ)	S-1 62ページ	S-2 62ページ	S-3 62ページ	S-4 62ページ	S-6 63ページ	S-8 63ページ
容器形態			喀痰容器 	血液培養 ボトル 	輸送用培地 (嫌気性、 好気性共通) 	培地入 採便管 	滅菌 スピッツ管 	嫌気 ポーター 
材 料	喀痰	5~10mL	◎					
	血液（動脈血・静脈血）	10mL		◎ 注5				
	咽頭粘液・気道分泌物等	適量			◎			
	鼻腔内粘液	適量			◎			
	膿（開放性・非開放性）	適量	○ 注1		◎			○ 注2
	耳膿	適量			◎			
	褥瘡・眼脂	適量	○ 注1		◎			
	糞便	適量	○ 注3				◎	
	尿	5~10mL					◎	
	泌尿・生殖器分泌物	適量			◎			○ 注4
胸水・腹水・髄液・関節液	2~5mL		◎				◎	
胃液・胆汁	5~10mL						◎	
ドレーン排液	5~10mL					◎	○ 注2	
皮膚・爪	適量		◎			◎		
検体保存輸送条件			冷蔵	常温	冷蔵	冷蔵	冷蔵	冷蔵
注意事項・その他			注1 ガーゼ等の検査材料の場合。 注2 嫌気性菌を疑う場合。 注3 赤痢アメーバを疑う場合、S-1とS-4に採便してください。 注4 パルトリン腺、前立腺液の場合。 注5 オレンジと青の2本のボトルに採血してください。					

●検体保存上のご注意

- 1) 淋菌、髄膜炎菌を目的とする場合には常温で保存してください。
- 2) 血液ボトルは常温で保存してください。
- 3) 尿は滅菌スピッツに採取後、冷蔵保存してください。
- 4) 血液以外で、嫌気性菌を目的とする検体は必ずS-3、S-8でご提出ください。

微生物学的検査

■感受性試験実施薬剤と商品名

系統	日本化学療法学会制定略号	抗菌薬名	主な商品名(投与剤形)
ペニシリン系	PCG	ベンジルペニシリン(ペニシリンG)	ペニシリンGカリウム(注射用)、バイシリンG(顆粒)
	MPIPC	オキサシリン	
	ABPC	アンピシリン	ビクシリン(カプセル・ドライシロップ)(注射用)
	AMPC	アモキシシリン	パセトシ(錠・カプセル・細粒)、サワシリン(錠・カプセル・細粒)、アモリン(カプセル・細粒)、ワイドシリン(細粒)
	PIPC	ピペラシリン	ペントシリン(注射用・静注用)
	SBTPC	スルタミシリン	ユナシン(錠・細粒(小児用))
β-ラクタマーゼ阻害薬	SBT/ABPC	スルバクタム/アンピシリン	ユナシン-S(静注用)、スクバクシン(静注用)、スルバシリン(静注用)
	SBT/CPZ	スルバクタム/セフォペラゾン	スルペラゾン(静注用)、セフロニック(静注用)
	CVA/AMPC	クラブラン酸/アモキシシリン	オーグメンチン(配合錠)、クラバモックス(小児用配合ドライシロップ)
	TAZ/PIPC	タゾバクタム/ピペラシリン	ゾシン(静注用)、タゾピペ(配合静注用)
	TAZ/CTLZ	タゾバクタム/セフトロザン	ザバクサ(点滴静注用)
セフェム系	CMZ	セフメタゾール	セフメタゾン(静注用・筋注用・点滴静注用)
	CEZ	セファゾリン	セファメジンα(注射用・筋注用・点滴用)
	CCL	セファクロル	ケフラル(カプセル・細粒(小児用))、L-ケフラル(顆粒(徐放))
	CTM	セフォチアム	パンスポリン(静注用・筋注用)、ハロスポア(静注用)
	CTX	セフォタキシム	クラフォラン(注射用)、セフォタックス(注射用)
	CPZ	セフォペラゾン	セフォビッド(注射用)、セフォペラジン(注射用)
	CZX	セフチゾキシム	エポセリン(坐薬)
	CMX	セフメノキシム	ベストコール(筋注用・静注用)、ベストロン(点眼・耳鼻科用(局所外用液剤))
	CAZ	セフトジジム	モダシン(静注用)、モベンゾシン(静注用)
	CTRX	セフトリアキソン	ロセフィン(静注用・点滴静注用)、セフキソン(静注用)
	CEX	セファレキシム	ケフレックス(カプセル・シロップ用細粒)、L-ケフレックス(顆粒・小児用顆粒)
	CFIX	セフィキシム	セフスパン(カプセル・細粒)、セフィーナ(細粒)
	CMNX	セフミノクス	メイセリン(静注用)
	LMOX	ラタモキセフ	シオマリリン(静注用)
	FMOX	フロモキセフ	フルマリリン(静注用)
	CFDN	セフジニル	セフゾン(カプセル・細粒(小児用))
	CPR	セフピロム	セフピロム硫酸塩(静注用)
	CDTR-PI	セフジトレン ピボキシル	メイアクトMS(錠・小児用細粒)
	CZOP	セフォゾプラン	ファーストシン(静注用)
	CFPN-PI	セフカペン ピボキシル	フロモックス(錠・小児用細粒)
	CFPM	セフェピム	マキシピーム(注射用)
	CPDX-PR	セフボドキシム プロキセチル	バナナ(錠・ドライシロップ)
	CFTM-PI	セフテラム ピボキシル	トミロン(錠・細粒(小児用))
*1	FRPM	ファロペネム	ファロム(錠・ドライシロップ小児用)
*2	AZT	アズトレオナム	アザクタム(注射用)
カルバペネム系	IPM/CS	イミペネム/シラスタチン	チエナム(点滴静注用・筋注用)、イミスタン(点滴静注用)、インダスト(点滴静注用)
	MEPM	メロペネム	メロベン(点滴用)
	BIPM	ピアペネム	オメガシン(点滴用)
	DRPM	ドリペネム	フィニバックス(点滴静注用)
	TBPM-PI	テビペネム ピボキシル	オラベネム(小児用細粒)

*1ベネム系 *2モノバクタム系 *3テトラサイクリン系 *4クロラムフェニコール系 *5リンコマイシン系

系統	日本化学療法学会制定略号	抗菌薬名	主な商品名(投与剤形)
アミノグリコシド系	KM	カナマイシン	カナマイシン(カプセル・シロップ)、硫酸カナマイシン(注射液)
	GM	ゲンタマイシン	ゲンタシン(注射用)(軟膏・クリーム)、ゲンタロール(点眼)
	DKB	ジベカシン	パニマイシン(注射用・注射液)(点眼)
	TOB	トブラマイシン	トブラシン(注)(点眼)、トービイ(吸入液)
	AMK	アミカシン	アミカシン硫酸塩(注射液)
	ISP	イセパマイシン	イセパシン(注射液)、エクサシン(注射液)
	ABK	アルベカシン	ハベカシン(注射液)
マクロリド系	EM	エリスロマイシン	エリスロシン(錠・ドライシロップ)(点滴静注用)、エリスロシンW(顆粒・ドライシロップ)、エリスロマイシン(錠)
	JM	ジョサマイシン	ジョサマイ(シロップ・ドライシロップ)、ジョサマイシン(錠)
	AZM	アジスロマイシン	ジスロマック(錠・カプセル小児用・細粒小児用)(点滴静注用)、ジスロマックSR(成人用ドライシロップ)
	CAM	クラリスロマイシン	クラリス(錠・ドライシロップ小児用)、クラリシッド(錠・ドライシロップ小児用)
*3	TC	テトラサイクリン	アクロマイシン(末・トローチ)(軟膏)、アクロマイシンV(カプセル)
	MINO	ミノサイクリン	ミノマイシン(錠・カプセル・顆粒)(点滴静注用)
*4	CP	クロラムフェニコール	クロマイセチン(錠)(軟膏・局所用液)、クロラムフェニコール(点眼)、クロマイセチンサクシネート(静注用)、クロマイ(錠)
キノロン系	LVFX	レボフロキサシン	クラビット(錠・細粒)(点滴静注用)(点眼)
	NFLX	ノルフロキサシン	バクシダール(錠)(点眼)
	OFLX	オフロキサシン	タリビッド(錠)(点眼・眼軟膏・耳科用液)
	CPF	シプロフロキサシン	シプロキサ(錠)(注)
	NA	ナリジクス酸	ウイントマイロン(錠・シロップ)
	GFLX	ガチフロキサシン	ガチフロ(点眼)
	PZFX	パズフロキサシン	パシル(点滴静注液)、パズクロス(点滴静注液)
	TFLX	トスフロキサシン	オゼックス(錠・細粒小児用)(点眼)、トスキサシン(錠)
	LFLX	ロメフロキサシン	バレオン(カプセル・錠)、ロメフロ(点眼・耳科用液)
	MFLX	モキシフロキサシン	アベロックス(錠)、ペガモックス(点眼)
	GRNX	ガレノキサシン	ジェニナック(錠)
	STFX	シタフロキサシン	グレースビット(錠・細粒)
*5	LCM	リンコマイシン	リンコシン(カプセル)(注射液)、リズピオン(注)
	CLDM	クリンダマイシン	ダラシン(カプセル)、ダラシンS(注射液)、ダラシンT(ゲル・ローション)
ペプチド系	CL	コリスチン	コリマイシン(散)、メタコリマイシン(カプセル・顆粒)、オールドレブ(点滴静注用)
	VCM	バンコマイシン	塩酸バンコマイシン(散)(点滴静注用)、バンコマイシン(散)(点滴静注用)(眼軟膏)
	TEIC	テイコプラニン	タゴシッド(注射用)、テイコプラニン(点滴静注用)
その他	ST	スルファメトキサゾールトリメトプリム	バクタ(配合錠・配合顆粒)、バクトラミン(配合錠・配合顆粒)(注)、ダイフェン(配合錠・配合顆粒)
	FOM	ホスホマイシン	ホスミシン(錠・ドライシロップ)、ホスミシンS(静注用・点滴静注用)(耳科用)
	MUP	ムピロシン	バクトロバン(鼻腔用軟膏)
	RFP	リファンピシン	リファジン(カプセル)、アプテシン(カプセル)
	LZD	リネゾリド	ザイボックス(錠)(注射液)
	DAP	ダプトマイシン	キューピン(静注用)

*1ベネム系 *2モノバクタム系 *3テトラサイクリン系 *4クロラムフェニコール系 *5リンコマイシン系

病理学的検査

項目No.	検査項目	提出材料	容器コード	所要日数	実施料区分	備考
	婦人科細胞診 (液状検体処理法)	頸部	保存液中採取物	保存液C-4	2~7	150 + Cervex-ブラシ (C-8) Endcervex-ブラシ (C-9) は有料器材です。
		体部	保存液中採取物	保存液C-4	2~7	※45 病理 エンドサーチ (C-7) は有料器材です。
	細胞診 (一般)	喀痰	3日間の喀痰 (蓄痰法)	C-1	2~7	190 病理
		尿	1回排尿全量	C-3	2~7	
		穿刺物		C-2	2~7	
	病理組織	ホルマリン固定組織	H-1~H-6	6~8	860 病理	4
8002	HPV-DNA同定 (中~高リスク型検出、型別判定はできません)	保存液中採取物	保存液C-4	4~7	347 微生物	【注1】 【注2】 3
8026	HPV-DNA簡易判定 (16型・18型の検出)	保存液中採取物	保存液C-4	4~7	347 微生物	【注1】 【注2】 3
8027	HPV簡易判定 (9種判別)	保存液中採取物	保存液C-4	4~7	347 微生物	【注1】 【注2】
8025	HPVジェノタイプ判定 (中~高リスク13種類の型別判定)	保存液中採取物	保存液C-4	4~8	2000 微生物	【注1】 【注2】 3

※液状化検体保存液 (C-4) による標本作製及び判定を行った場合は、婦人科材料等液状化検体細胞診加算として、45点を所定点数に加算する。

【注1】 HPV検査は細胞採取日より25日以内にご依頼ください。

【注2】 コンタミネーションに注意してご提出ください。

喀痰細胞診の判定

判定区分	細胞所見	指導区分【注3】
A	喀痰中に組織球を認めない。	材料不適、再検査
B	正常上皮細胞のみ 基底細胞増生 軽度異型扁平上皮細胞 繊毛円柱上皮細胞	現在異常を認めない。 次回定期検査
C	中等度異型扁平上皮細胞 核の増大や濃染を伴う円柱上皮細胞	程度に応じて6ヶ月以内の追加検査と追跡
D	高度 (境界) 異型扁平上皮細胞又は悪性腫瘍の疑いある細胞を認める。	ただちに精密検査
E	悪性腫瘍細胞を認める。	

【注3】 1) 個々の細胞でなく、喀痰1検体の全標本に関する総合判定である。

2) 全標本上の細胞異型の最も高度な部分によって判定するが、異型細胞少数例では再検査を考慮する。

3) 再検査とは検体は喀痰ではない場合に再検査を行うことを意味する。

4) 追加検査とはC判定の場合に喀痰検査を追加して行うことを意味する。

保険点数解釈

- ・エストロゲンレセプター検査720点、プロゲステロンレセプター (PgR) 検査690点、HER2タンパク690点を行った場合は、病理組織顕微鏡検査を別に実施した場合も所定点数を算定できます。但し、エストロゲンレセプター検査720点及びプロゲステロンレセプター (PgR) 検査690点の病理組織標本作製を同一月に実施した場合は、一方の所定点数に180点加算の算定となります。
- ・その他の免疫抗体法400点について、確定診断のために4種類以上の抗体を用いた免疫染色が必要な患者様に対して、標本作製を実施した場合には、所定点数に1200点を加算します。

有機溶剤健診関連検査

対象物質	測定検査項目 (尿中代謝物)	検体量 (mL)	容器コード	採取条件	検査方法	所要 日数
トルエン	尿中馬尿酸	各尿 1.0	U-1 採取後は 冷蔵庫に 保存して ください。	※作業終了時	HPLC法	4~10
キシレン	尿中メチル馬尿酸			※作業終了時	HPLC法	
1・1・1-トリクロロエタン	尿中総三塩化物			※※週末日の 作業終了時	GC法 Gas- chromatograph法	4~10
	尿中トリクロロ酢酸					
N・N-ジメチルホルムアミド	尿中N-メチルホルムアミド	各尿 3.0		※作業終了時	GC法 Gas- chromatograph法 (GC-MSD)	4~10
ノルマルヘキサン	尿中2,5-ヘキサンジオン			※作業終了時	GC-MS法 Gas- chromatograph法 (GC-MSD)	
スチレン	尿中スチレン代謝物	各尿 1.0		※作業終了時	HPLC法	4~14
トリクロロエチレン	尿中総三塩化物			※※週末日の 作業終了時	GC法 Gas- chromatograph法	4~10
	尿中トリクロロ酢酸					
テトラクロロエチレン	尿中総三塩化物					
	尿中トリクロロ酢酸					

スチレン代謝物：測定値は、マンデル酸 (MA)、フェニルグリオキシル酸 (PGA) および合算値 (MA+PGA) です。

生物学的許容値：0.43 (g/L) 以下です。(生物学的許容値とは、ほとんどすべての労働者に健康上の悪い影響がみられないと判断される濃度です。)

※連続した作業日の初日を除いた作業終了に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。

※※連続した作業日の週末の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。



産業医学関連検査

鉛 健 診 関 連 検 査

対 象 物 質	測 定 検 査 項 目	検体量 (mL)	容器コード	採取条件	検 査 方 法	所要 日数
鉛	血中鉛	血液0.5 (ヘパリン加血)	B-7㊟		原子吸光分光光度法	3~7
	δ-アミノレブリン酸	尿1.0	U-2㊟		HPLC法	3~5
	赤血球遊離 プロトポルフィリン	血液1.4 (ヘパリン加血)	専用容器	遮光保存してください。	蛍光法	3~16

鉛、有機溶剤関連検査結果分布表

鉛健康診断結果報告書（鉛中毒予防規則、様式第3号）
有機溶剤等健康診断結果報告書（有機溶剤中毒予防規則、様式第3号の2）より

対 象 物 質	測 定 項 目	単 位	分 布		
			1	2	3
トルエン	※※尿中馬尿酸	g/L	1以下	1超2.5以下	2.5超
キシレン	※※尿中メチル馬尿酸	g/L	0.5以下	0.5超1.5以下	1.5超
1・1・1-トリクロロエタン	※※※尿中総三塩化物	mg/L	10以下	10超40以下	40超
	※※※尿中トリクロロ酢酸	mg/L	3以下	3超10以下	10超
N・N-ジメチルホルムアミド	※※尿中N-メチルホルムアミド	mg/L	10以下	10超40以下	40超
ノルマルヘキサン	※※尿中2,5-ヘキサジオン	mg/L	2以下	2超5以下	5超
鉛	血中鉛	μg/dL	20以下	20超40以下	40超
	※尿中σ-アミノレブリン酸	mg/L	5以下	5超10以下	10超
	※赤血球遊離プロトポルフィリン	μg/dLRBC	100以下	100超250以下	250超
スチレン	※※スチレン代謝物	g/L	—	—	—
トリクロロエチレン	※※※尿中総三塩化物	mg/L	100以下	100超300以下	300超
	※※※尿中トリクロロ酢酸	mg/L	30以下	30超100以下	100超
テトラクロロエチレン	※※※尿中総三塩化物	mg/L	3以下	3超10以下	10超
	※※※尿中トリクロロ酢酸	mg/L	3以下	3超10以下	10超

2014年11月より、スチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンは、有機溶剤中毒予防規則から特定化学物質障害予防規則の対象に位置づけられました。

スチレン代謝物：測定値は、マンデル酸 (MA)、フェニルグリオキシル酸 (PGA) および合算値 (MA+PGA) です。

生物学的許容値：0.43 (g/L) 以下です。(生物学的許容値とは、ほとんどすべての労働者に健康上の悪い影響がみられないと判断される濃度です。)

検体取り扱い方法

※遮光保存してください。

※※連続した作業日の初日を除いた作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。

※※※連続した作業日の週末の作業終了時に採尿してください。ただし、採尿2時間前に一度排尿してください。

産業医学関連検査は、鉛作業・有機溶剤作業を対象として、体内に鉛や有機溶剤がどの程度取り込まれているかを定期的にチェックすることを主な目的としているため、結果の評価については、正常・異常の鑑別を目的としたものではなく、作業環境をふくめた総合的な判断が必要とされています。

又、労働安全衛生法に基づく各中毒予防規則では、各健康診断結果報告書を所轄の労働基準監督署長に提出する事が定められています。



X 線 検 査

1. 一般撮影（胸部）

2. 消化管撮影（食道・胃部・十二指腸）

検査当日は、朝起きたら飲食しないで来てください。（タバコも吸わないでください）
尚、症状及び既往歴がありましたら明示してください。
検査日、時間については、ご相談ください。

3. CT（16列マルチスライスCT）

胸部CT検査については、胸部X線画像等を持参させてください。
腹部CT検査については、空腹で当センターに来てください。
骨、頭部、副鼻腔CTについては、ご相談ください。
検査日、時間については、ご相談ください。

4. 骨密度測定検査（DXA方式・前腕部）

検査日、時間については、ご相談ください。

5. 乳房撮影（マンモグラフィ、マンモグラフィ+乳腺超音波検査）

検査日は月曜日～金曜日の午前11時30分～12時00分までです。土曜日については、ご相談ください。乳腺超音波を追加される場合は、月曜日～金曜日の午後4時00分です。

6. X線室漏洩線量測定

医療法施行規則第30条の22によって、X線管理区域における漏洩線量を測定し、その結果を記録保存する事が義務付けられています。
測定には、センターより技師がお伺いします。

各種装置の準備の為、下記の検査については、予約連絡（☎0254-28-1883（直）放射線課まで）をお願いします。

- ◆一般撮影
- ◆消化管撮影
- ◆CT
- ◆骨密度測定検査
- ◆乳房撮影（マンモグラフィ、マンモグラフィ+乳腺超音波検査）
- ◆X線室漏洩線量測定

専用容器及び器具の取り扱いと採取方法

容器コードNo.	容器形態	容器内容	検査項目(用途)	採取量(mL)	提出量(mL)	取り扱い及び採取方法
A-1		10mL 注射針付	血液の採取			血液の採取にご使用ください。
A-2		5mL 注射針付				
A-3		2.5mL 注射針付 (採血用ディスプレイ)				
A-4	 (採血針ホルダー付) 滅菌済	単回使用採血針	血液の採取			B-1(真空採血管)の専用採血針です。
B-1	 (分離剤入採血管)	凝固促進処理剤 血清分離剤	生化学的検査 血清学的検査 他			血液注入後は凝固促進処理剤が入っている為、転倒混和してください。血清分離をする時は、30分程静置後、3,000r.p.mで5分遠心してください。
B-2	 (血糖用採血管) 灰色キャップ	NaF + EDTA-2Na	グルコース	血液 2.0	血液 2.0	左図の容器に採血し、よく転倒混和してください。 凝固のあるものはHbA1cが検査不能になります。
			HbA1c	血液 2.0	血液 2.0	
B-3	 (血液一般用採血管) 紫色キャップ	EDTA-2K	血液一般検査	血液 2.0	血液 2.0	左図の容器に採血し、よく転倒混和し管底の抗凝固剤を混和してください。凝固のあるものは検査不能となります。2.0mL以上注入しますと凝固する恐れがあります。目盛り(白線)までの血液量(2.0mL)が最適です。

◎HBs抗原陽性の方の採血には、黄色テープ付の容器を準備しております。感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。

◎A-1、A-2、A-3、A-4、B-1、B-2、B-3は有料器材です。

専用容器及び器具の取り扱いと採取方法

容器器具 コードNo.	容器形態	容器内容	検査項目(用途)	採取量(mL)	提出量(mL)	取り扱い及び採取方法
B-4	 (凝固系検査用採血管)	3.2% クエン酸 ナトリウム液 0.2mL	プロトロンビン時間 活性化部分トロンボ プラスチン時間 フィブリノゲン アンチトロンビンⅢ Dダイマー α2プラスミンインヒビター・ プラスミン複合体 トロンビン・ アンチトロンビンⅢ複合体 プラスミノゲン FDP定量(血中)	血液 1.8		採血法P43をご参照ください。
B-6⑤	 (紫色キャップ) 採血管5mL用)	EDTA-2Na (5mL)	不規則抗体 血液交差適合試験	血液 5.0	血液 5.0	左図の容器に採血し、よく転倒混和してください。
			レニン活性		血漿 0.7	原則として、早朝空腹安静状態時に、左図の容器に採血し、必ずよく転倒混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。血漿はチューブ(容器コードO-1)に取り凍結保存してください。
			副腎皮質刺激 ホルモン (ACTH)		血漿 0.5	原則として、午前7時～10時に、左図の容器に採血し、よく転倒混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。血漿はチューブ(容器コードO-1)に取り凍結保存してください。
			血中カテコールアミン 3分画		血漿 1.5	左図の容器に採血し、よく転倒混和させ、低温(4℃)で血漿分離してください。血漿はチューブ(容器コードO-1)に取り凍結保存して下さい。
			proGRP		血漿 0.6	採血後ゆっくり転倒混和。
			アルドステロン		血漿 0.5	
B-6②	 (水色キャップ) 採血管2mL用)	EDTA-2Na (2mL)	ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド (BNP)	血液 2.0	血漿 0.5	採血後、よく転倒混和させ、冷蔵保存してください。
B-6⑦	 (紫色キャップ) 採血管7mL用)	EDTA-2Na (7mL)	穿刺液検査	穿刺液 7.0	2~8	穿刺液は左図の容器に注入し、よく転倒混和してください。

◎HBs抗原陽性の方の採血には、黄色テープ付の容器を準備しております。感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。

◎低温(4℃)での血漿分離が不可能な場合は、センターで、採血・血漿分離を行いますので、ご依頼の際はご連絡ください。

専用容器及び器具の取り扱いと採取方法

容器コードNo.	容器形態	容器内容	検査項目 (用途)	採取量 (mL)	提出量 (mL)	取り扱い及び採取方法
B-7㉟	 (緑色キャップ採血管)	ヘパリン (5mL用)	鉛	血液 5.0	血液 3.0	左図の容器に採血し、よく転倒混和してください。
B-7㊸	 (緑色キャップ採血管)	ヘパリン (5mL用)	シベンゾリン	血液 5.0	血漿 1.5	左図の容器に採血し、よく転倒混和してください。
			ピルシカイニド		血漿 0.5	
B-8	 (紫色キャップ採血管)	EDTA-2Na + アプロチニン (3mL用)	ヒト心房性ナトリウム 利尿ペプチド (HANP)	血液 3.0	血漿 0.5	左図の容器に採血し、よく転倒混和させ、低温 (4℃) で血漿分離してください。 血漿はチューブ (容器コードO-1) に取り凍結保存してください。
B-10	 (β-TG専用容器) (真空採血禁止)	抗血小板剤入り (4~6℃保存)	β-トロンボグロブリン	血液 2.5	血漿 0.3	採血方法はセンターにお問い合わせください。
B-12	 (採血管青色テープ付)	凝固促進処理剤 血清分離剤	HIV抗原・抗体 HIV-1/2特異抗体	血液 2.0	血清 0.5	他項目と重複しないでください。

◎HBs抗原陽性の方の採血には、黄色テープ付の容器を準備しております。感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。

◎低温 (4℃) での血漿分離が不可能な場合は、センターで、採血・血漿分離を行いますので、ご依頼の際はご連絡ください。

専用容器及び器具の取り扱いと採取方法

容器コードNo.	容器形態	容器内容	検査項目（用途）	採取量 (mL)	提出量 (mL)	取り扱い及び採取方法
B-13	 (プレイン管分離剤なし)		間接クームス試験	血液 5.0	血清 2.0	左図の容器に採血してください。
			不規則抗体	血液 10.0	血清 5.0	
B-14	 (アルミニウム採血管)	凝固促進剤	アルミニウム	血液 2.5~3.0	血清 0.6	コンタミネーション防止のため、シャントから滴下または真空採血してください。 採血後は、ただちに充分に転倒混和してください。
B-16		分離剤なし	薬物分析検査			左図の容器に採血してください。
B-21		血清分離剤	HCV核酸定量 (HCV-RNA定量/ リアルタイムPCR法) HBV-DNA定量/ リアルタイムPCR法	血液 5.0	血清 2.0	必ず単独検体として採血し、ご提出ください。 真空採血用ホルダー・注射針をご使用ください。 採血後は軽く混和してください。
C-1	 (蓄痰法容器)	固定液 (主成分エタノール)	喀痰細胞診検査			採痰方法については容器添付のビニール袋に詳しく書いてありますので、ご参照ください。

◎HBs抗原陽性の方の採血には、黄色テープ付の容器を準備しております。感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。

専用容器及び器具の取り扱いと採取方法

容器 コードNo.	容器形態	容器内容	検査項目（用途）	採取量（mL）	提出量（mL）	取り扱い及び採取方法
C-2	 (細胞診用容器)	細胞保存液 (室温保存)	各種穿刺吸引物 気管支ブラッシング の細胞診			保存液とよく混和してください。
C-3	 (細胞診尿容器)	細胞保存液 (室温暗所保存)	尿の細胞診			排尿された全量を入れ、保存液とよく混和してください。
C-4	 (婦人科細胞診容器)	細胞保存液 (冷暗所保存)	子宮頸部及び体部 擦過物の細胞診			子宮頸部はブラシ等の先端部分 をはずし入れて保存液とよく混 和後、提出してください。 子宮体部は保存液とよく混和後、 提出してください。検体採取後は 室温（30℃以下）で保存してく ださい。
C-7	 (エンドサーチ)		子宮体内膜細胞 採取			機材準備の為、お届けに日数を 要する場合があります。早め のご依頼をお願いいたします。
C-8	 (Cervex-ブラシ)		子宮頸部細胞採取			機材準備の為、お届けに日数を 要する場合があります。早め のご依頼をお願いいたします。
C-9	 (Endcervex-ブラシ)		子宮頸部細胞採取			機材準備の為、お届けに日数を 要する場合があります。早め のご依頼をお願いいたします。

◎HBs抗原陽性の方の採血には、黄色テープ付の容器を準備しております。感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。

◎C-7（エンドサーチ）、C-8（Cervex-ブラシ）、C-9（Endcervex-ブラシ）は有料器材です。

専用容器及び器具の取り扱いと採取方法

容器 コードNo.	容器形態	容器内容	検査項目（用途）	採取量（mL）	提出量（mL）	取り扱い及び採取方法
U-1	 (尿用管)	滅菌なし	尿一般検査 尿沈渣 尿中馬尿酸 など			細菌培養にはS-6（滅菌処理済み）をご使用ください。
U-2- ⑧	 (褐色尿用容器)	100mL用	C-ペプチド 尿中カテコールアミン δ-アミノレブリン酸 など			蓄尿はよく混和後、必要量を容器に入れてください。
U-2- ⑨	 (褐色尿用容器)	10mL用				
U-4	 (黄色キャップスピッツ管)	抗プラスミン剤 (室温保存)	尿中FDP	尿2	尿2	線まで尿を入れ、よく転倒混和してください。

©HBs抗原陽性の方の採血には、黄色テープ付の容器を準備しております。感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。

専用容器及び器具の取り扱いと採取方法

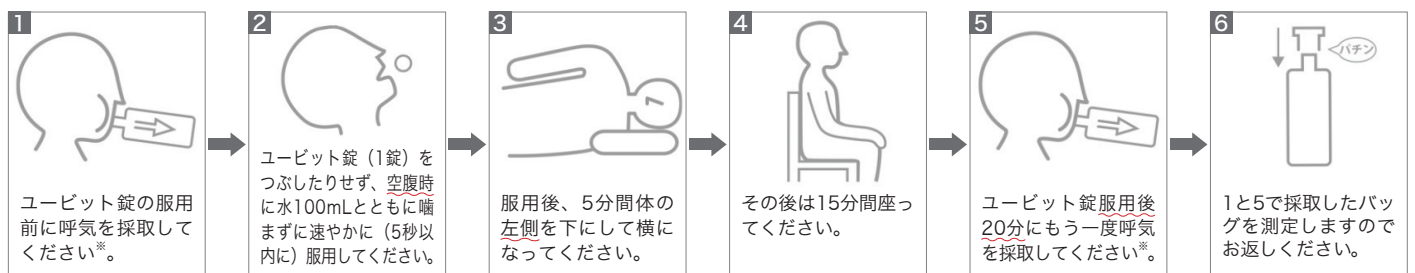
容器コードNo.	容器形態	容器内容	検査項目(用途)	採取量(mL)	提出量(mL)	取り扱い及び採取方法
F-1	 (採便ポリ容器)	木べら付	寄生虫卵検査 便中ヒトヘモグロビン		糞便 指頭大	付属のへらで糞便を左図の容器に採取してください。 採取後の容器は蓋をよく閉め、添付のビニール袋に入れてください。
F-3	 (便中ヒトヘモグロビン専用容器)		便中ヒトヘモグロビン			容器に同封されている「正しい大便のとり方」をご参照ください。なるべく新しい便を提出してください。
F-4	 (採便容器)		ロタウイルス抗原 ノロウイルス抗原		糞便 拇指頭大	左図の容器に糞便を採取してください。 採取後の容器はビニール袋に入れ単独検体としてご提出ください。
F-5			ノロウイルス RNAマルチ			採便棒を採便容器から引き抜いて溝のある面(2面)で便を押しつぶすようになぞり、溝の間に便を詰めて採便容器にもどしてください。採取後の容器はビニール袋に入れ単独検体としてご提出ください。
S-1	 (喀痰容器)	滅菌処理済	喀痰の 一般細菌検査 抗酸菌検査 細菌PCR検査			喀痰採取の前に口腔内をウガイで、清潔にしてから、左図の容器に採取してください。採取後の容器は濡れないよう蓋をよく閉め、添付のビニール袋に入れて、必ず袋の口をよく閉めてください。
S-2	 (血液培養レズンボトル)	ブイヨン	血液の細菌培養検査			採取部位を消毒した後採血してください。容器のオレンジと青のキャップを取りゴム栓に直接注射針を穿刺し、3~10mL接種後軽く転倒混和してください。2本セットで検査となります。
S-3	 (輸送用培地 嫌気性・好気性共通)	キャリーブリア培地	咽頭粘液、 膿、分泌物の 細菌培養検査			滅菌シールをはがし、綿棒で検体を採取してください。プラスチック筒のキャップを外し、綿棒を止まる所まで差し込んでください。嫌気性を疑う場合にもご使用ください。
S-4	 (培地入採便管)	キャリーブリア培地	糞便の細菌培養検査 (サルモネラ菌、赤痢菌 などの食中毒・下痢な どの原因菌検出)			容器の先端部を便に直接刺して採取してください。 下痢便では2mLくらいを採取してください。

◎F-3、S-2(血液培養ボトル)は有料器材です。

専用容器及び器具の取り扱いと採取方法

容器コードNo.	容器形態	容器内容	検査項目(用途)	採取量(mL)	提出量(mL)	取り扱い及び採取方法
S-6	 (滅菌スピッツ管)	滅菌処理済み	尿の 細菌培養検査 髄液検査			滅菌処理がされていますので、細菌培養検査(尿、開放性の膿など)にご使用ください。
S-8	 (嫌気ポーター)	寒天培地 ブドウ糖 CO ₂ ガス充填	関節液、 胸水、 腹水髄液の 細菌培養検査			消毒用アルコール綿で、容器のゴム栓(穿刺部)を消毒してください。アルコールが完全に乾燥したら、注射針で直接ゴム栓を穿刺し、検体を注入してください。その場合、空気を入れないようにご注意ください。
O-1	 (ポリチューブ)		生化学的検査 血清学的検査 その他			血清又は血漿、尿を凍結保存する場合にご使用ください。 上部(細い部分)を火焰で溶かして、よく封をしてください。
O-2	 (スライドグラス)	脱脂処理済み	血液像 鼻汁中好酸球数			脱脂処理がしてありますので、ガラス面を指でふれないでください。白色の部分に採取月日・氏名をエンピツでご記入ください。塗抹標本は室温に保存してください。
O-3	 (抗原検査採取セット)	アセトン スライドグラス 綿棒 オブジェクトケース	単純ヘルペスウイルス 特異抗原 水痘・帯状疱疹 ウイルス抗原			採取方法については、セット添付の説明書に詳しく書いてありますので、ご参照ください。
O-4	 (呼気採取セット)		尿素呼気試験 (「前」・「後」2回)			尿素呼気試験用薬剤服用「前」・「後」の呼気を採取してキャップをしっかりと閉めてください。 「前」・「後」を必ず明記してください。 注射針等の鋭利なものに弱いので取り扱いにはご注意ください。

尿素呼気試験の呼気採取法 (使用診断薬：ユービット)



※呼気採取方法のポイント

- (1) 呼気採取バッグを口にあて、(鼻から)息を吸って、5~10秒程度息を止めてください。
- (2) その後呼気採取バッグにゆっくりと息を入れてください。
- (3) 息止めが苦しい場合は2~3回に分けて入れても大丈夫です。
- (4) 呼気採取バッグには肺の中の息を入れるようにしてください。
- (5) 呼気採取バッグを十分に膨らませてから直ちにキャップを“パチン”と音がするまでしっかり押し込んでください。

専用容器及び器具の取り扱いと採取方法

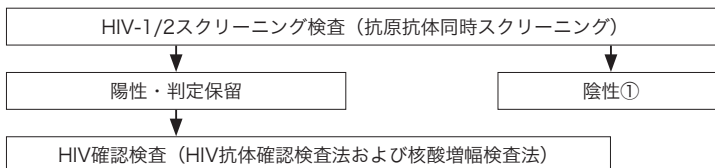
容器 コードNo.	容器形態	検査項目（用途）	注意事項
			
H-1	 <p>(病理容器－小)</p>	病理組織診 (20mL)	
H-2	 <p>(病理容器－中)</p>	病理組織診 (90mL)	
H-3	 <p>(病理容器－大)</p>	病理組織診 (150mL)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検体の大きさに応じてご使用ください。 ・ ホルマリン液は採取検体に対して十分な量をお入れください。
H-5	 <p>(生検容器)</p>	病理組織診 (消化器生研材料用) (5mL)	
H-6	 <p>(生検ケース)</p>		

4

抗体検査に使用可能な抗体の種類とその特徴

抗体の種類	特徴
SARS-CoV-2のスパイク(S)たんぱく質を標的とするIgG抗体	SARS-CoV-2に対する適応免疫反応を示す個人を識別するために補助的に使用でき、最近または過去の感染の有無を評価可能です。現在国内で承認されているSARS-CoV-2ワクチンによって誘発される抗体反応の検出にも使用することができます。
SARS-CoV-2のヌクレオカプシド(N)たんぱく質を標的とする抗体	SARS-CoV-2に対する適応免疫反応を示す個人を識別するために補助的に使用でき、最近または過去の感染の有無を評価可能です。自然感染とワクチン接種によって誘発された抗体を区別するために使用することができますが、現在国内で承認されている入手可能なSARS-CoV-2ワクチンによって誘発される抗体は検出することができません。
SARS-CoV-2のスパイクたんぱく質を標的とするIgM抗体	SARS-CoV-2に対する適応免疫反応を示す個人を識別するために補助的に使用でき、IgG抗体検査と組み合わせて使用します。SARS-CoV-2感染後、IgM抗体はIgG抗体とほぼ同時に産生されます。

HIV検査手順・補足情報



抗体確認検査法			総合判定	
HIV-1	HIV-2	判定	HIV-1核酸増幅検査法	
			陽性あるいは検出感度未満	検出せず
陽性	陽性 ②	HIV-1,2感染	HIV-1およびHIV-2重複感染	HIV-1 (治療中) ③・HIV-2感染
	判定保留	HIV-1感染	HIV-1感染	HIV-1感染 (治療中) ③
	陰性	HIV-1感染	HIV-1感染	HIV-1感染 (治療中) ③
判定保留	陽性 ②	HIV-2感染	急性HIVおよびHIV-2重複感染	HIV-2感染
	判定保留	HIV-1,2判定保留	急性HIV-1感染	HIV-1,2判定保留 (2週間後再検査)
	陰性	HIV-1判定保留	急性HIV-1感染	HIV-1判定保留 (2週間後再検査)
陰性	陽性 ②	HIV-2感染	急性HIVおよびHIV-2重複感染	HIV-2感染
	判定保留	HIV-2判定保留	急性HIV-1感染	HIV-2判定保留 (2週間後再検査)
	陰性	HIV陰性	急性HIV-1感染	HIV非感染 ④

- ① 感染リスクがない場合は非感染と判定されますが、感染リスクがある場合または不明の場合は数週間後に再度スクリーニング検査を実施してください。
 ② HIV-2核酸増幅検査法は保険収載されていないため、専門機関に相談してください。
 ③ HIV-1治療中または低ウイルス量感染が考えられます。
 ④ 感染リスクがある場合または不明の場合は、数週間後に再検査を実施してください。

抗体確認検査法の解釈

● HIV-1/2 抗体確認検査法 (IC法)

HIV-1/2感染の確認検査に用います。抗原抗体同時スクリーニング検査法が陽性で、本法が陰性または判定保留であり、HIV-1 RNA定量 (リアルタイムPCR法) が検出される場合は、急性HIV-1感染期と考えられる。このようなHIV-1 NAT法の単独陽性で確定診断した場合は、後日、適切な時期 (2週間後以降) に本法により陽性を確認する必要があります。

<測定結果>

【HIV-1陽性】	p31・gp160・p24・gp41のいずれかが反応し、gp160またはgp41のいずれかを含む2項目以上の反応が認められる。
【HIV-1陰性】	p31・gp160・p24・gp41のいずれも反応も認められない。
【HIV-1判定保留】	陽性および陰性でない場合。
【HIV-2陽性】	gp36・gp140のいずれも反応が認められる。
【HIV-2陰性】	gp36・gp140のいずれも反応が認められない。
【HIV-2判定保留】	陽性および陰性でない場合。

HIV-1核酸増幅検査の解釈

● HIV-1 RNA定量 (リアルタイムPCR法)

HIV-1感染の確認検査、病態の進展、治療開始時期の決定および治療の経過観察等に用います。

<測定結果>

【検出せず】	HIV-1RNAを検出ませんでした。 ただし、HIVの存在を否定するものではありません。 臨床症状や他の検査結果などと併せて総合的に判断してください。
【測定範囲】	2.0×10^1 未満、 $2.0 \times 10^1 \sim 1.0 \times 10^7$ コピー/mL

検査法参考文献

AST (GOT)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版576-2015年6月

ALT (GPT)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版576-2015年6月

アルカリホスファターゼ (ALP)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版557-2015年6月

LAP

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版585-2015年6月

LD (LDH)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版580-2015年6月

γ -GTP

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版587-2015年6月

コリンエステラーゼ

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版567-2015年6月

血清アミラーゼ

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版562-2015年6月

尿アミラーゼ

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版562-2015年6月

リパーゼ

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版584-2015年6月

CK (CPK)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版570-2015年6月

アデノシンデアミナーゼ (ADA)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版588-2015年6月

アンギオテンシン I 転換酵素 (ACE)

北端 宏規；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 550-2009年12月

LDアイソザイム

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版580-2015年6月

ALPアイソザイム

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版557-2015年6月

アミラーゼアイソザイム

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版562-2015年6月

CK (CPK) アイソザイム

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版570-2015年6月

総ビリルビン

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版530-2015年6月

直接ビリルビン

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版530-2015年6月

総蛋白 (TP)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版452-2015年6月

アルブミン

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版453-2015年6月

蛋白分画

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版454-2015年6月

総コレステロール

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版511-2015年6月

HDL-コレステロール

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版518-2015年6月

中性脂肪 (TG、トリグリセライド)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版513-2015年6月

LDL-コレステロール

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版521-2015年6月

リポ蛋白分画

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版523-2015年6月

アポリポ蛋白 (A-I・A-II)

鹿住 敏；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 41-2009年12月

アポリポ蛋白 (B)

山村 卓；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 94-2009年12月

アポリポ蛋白 (C-II・C-III)

山村 卓；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 94-2009年12月

β -リポ蛋白

穴野 宏治；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 54-2009年12月

リポ蛋白 (a)・LP (a)

清島 満；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 50-2009年12月

尿素窒素 (BUN)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版470-2015年6月

尿中尿素窒素 (BUN)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版470-2015年6月

クレアチニン (CRE)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版473-2015年6月

尿中クレアチニン (CRE)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版473-2015年6月

尿酸 (UA)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版476-2015年6月

尿中尿酸 (UA)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版476-2015年6月

アンモニア

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版480-2015年6月

Na (ナトリウム)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版662-2015年6月

Cl (クロール)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版666-2015年6月

K (カリウム)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版664-2015年6月

カルシウム (Ca)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版535-2015年6月

P (無機リン)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版544-2015年6月

Mg (マグネシウム)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版541-2015年6月

血清鉄 (Fe)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版547-2015年6月

不飽和鉄結合能 (UIBC)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版546-2015年6月

総鉄結合能 (TIBC)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版546-2015年6月

銅 (Cu)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版549-2015年6月

亜鉛 (Zn)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版550-2015年6月

鉛 (Pb)

太田 久吉；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 345-2009年12月

アルミニウム (Al)

川崎 健治；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 341-2009年12月

グルコース

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版486-2015年6月

グルコース負荷試験 (ブドウ糖負荷試験・OGTT)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版739-2015年6月

ヘモグロビンA1c (HbA1c)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版492-2015年6月

1,5-アンヒドロ-D-グルシトール (1,5-AG)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版496-2015年6月

グリコアルブミン

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版495-2015年6月

乳酸

白田 亨；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 742-2009年12月

ビタミンB₁

金井正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版613-2015年6月

ビタミンB₂

安田 和人；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 148-150,2004年12月

ビタミンB₁₂

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版615-2015年6月

葉酸

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版614-2015年6月

ビタミンC (アスコルビン酸)

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版615-2015年6月

尿中NAG

金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版164-2015年6月

尿中アルブミン

熊坂 一成；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 97-2009年12月

浸透圧

検査法参考文献

- 森 健文；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 105-2009年12月
- 甲状腺刺激ホルモン (TSH)
吉原 愛、磯崎 収；臨床検査法提要 改訂第34版 700-2015年6月
- 成長ホルモン (GH)
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版690-2015年6月
- 尿中成長ホルモン (尿中GH)
福田いずみ；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 189-2009年12月
- 黄体形成ホルモン (LH)
加治 秀介；臨床検査データブック 2015-2016版 250-2015年2月
- 卵巣刺激ホルモン (FSH)
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版722-2015年6月
- 副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)
奈須下 亮；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 223-2009年12月
- プロラクチン (PRL)
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版696-2015年6月
- 抗利尿ホルモン (ADH) (アルギニンバソプレッシン)
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版698-2015年6月
- サイロキシン (T4)
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版702-2015年6月
- 遊離サイロキシン (FreeT4)
吉原 愛、磯崎 収；臨床検査法提要 改訂第34版 700-2015年6月
- トリヨードサイロニン (T3)
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版702-2015年6月
- 遊離トリヨードサイロニン (FreeT3)
吉原 愛、磯崎 収；臨床検査法提要 改訂第34版 700-2015年6月
- TSHレセプター抗体 (定量)
網野 信行；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 305-2009年12月
- サイログロブリン
西川 光重；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 295-2009年12月
- 抗甲状腺サイログロブリン抗体 (サイロイドテスト)
森村 匡志；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 309-2009年12月
- 抗甲状腺マイクロゾーム抗体 (マイクロゾームテスト)
森村 匡志；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 313-2009年12月
- 抗サイログロブリン抗体
森村 匡志；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 295-2009年12月
- TBG定量
高松 順太；臨床検査データブック 2015-2016版 265-2015年2月
- 副甲状腺ホルモン (高感度PTH)
高松 順太；臨床検査データブック 2015-2016版 278-2015年2月
- 副甲状腺ホルモンC末端 (PTH-C)
高松 順太；臨床検査データブック 2015-2016版 278-2015年2月
- 副甲状腺ホルモンインタクト (PTH-インタクト)
高松 順太；臨床検査データブック 2015-2016版 277-2015年2月
- カルシトニン
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版711-2015年6月
- インスリン (IRI)
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版737-2015年6月
- C-ペプチド (CPR)
高橋 累；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 516-2009年12月
- 抗GAD抗体
山内 俊一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 594-2009年12月
- インスリン抗体
内潟 安子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 571-2009年12月
- PSTI
片倉 芳樹、四柳 宏；臨床検査データブック 2015-2016版 172-2015年2月
- エラスターゼ1
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1420-2015年6月
- ガストリン
佐藤 秀樹；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 537-2009年12月
- ペプシノゲン
三木 一正；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 778-2009年12月
- 尿中カテコールアミン総
飯高 誠、片山 茂裕；臨床検査データブック 2015-2016版 283-2015年2月
- 血中カテコールアミン3分画
関 健博；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 404-2009年12月
- 尿中カテコールアミン3分画
関 健博；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 404-2009年12月
- 尿中VMA定量 (パニリルマンデル酸)
堀田 宏；臨床検査法提要 改訂第34版 151-2015年6月
- 尿中メタネフリン総
飯高 誠、片山 茂裕；臨床検査データブック 2015-2016版 286-2015年2月
- コルチゾール
明比 祐子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 331-2009年12月
- アルドステロン
猿田 享男；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 354-2009年12月
- エストロゲン総 (非妊婦)
清水 幸子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 448-2009年12月
- エストロゲン3分画
清水 幸子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 448-2009年12月
- エストロン (E1)
清水 幸子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 448-2009年12月
- エストラジオール (E2)
清水 幸子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 448-2009年12月
- エストリオール (E3)
清水 幸子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 448-2009年12月
- プロゲステロン
沖 隆；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 462-2009年12月
- テストステロン
鈴木 啓悦；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 471-2009年12月
- 絨毛性ゴナドトロピン (血中HCG)
森田 宏紀；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 488-2009年12月
- ヒト胎盤性ラクトゲン (HPL)
飯高 誠、片山 茂裕；臨床検査データブック 2015-2016版 303-2015年2月
- 免疫学的妊娠反応 (尿中HCG定性)
森田 宏紀；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 488-2009年12月
- C反応性蛋白 (CRP) 定量
石井 彰；臨床検査データブック 2015-2016版 625-2015年2月
- ASO (ASLO)
山本 健二、山里 駿一；臨床検査データブック 2015-2016版 527-2015年2月
- 寒冷凝集反応
矢富 裕；臨床検査法提要 改訂第34版 247-2015年6月
- マイコプラズマ抗体
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版920-2015年6月
- 百日咳抗体
齋藤 良一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 189-2009年12月
- トキソプラズマ抗体
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版922-2015年6月
- トキソプラズマ抗体IgG
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版922-2015年6月

検査法参考文献

- トキソプラズマ抗体IgM
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版922-2015年6月
- オーム病クラミジア抗体（クラミジアシタシ）
岸本 寿男；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第6版）（3）247-249,2005年3月
- クラミジアトラコマティス抗体IgG
岸本 寿男；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第6版）（3）220-226,2005年3月
- クラミジアトラコマティス抗体IgM
岸本 寿男；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第6版）（3）220-226,2005年3月
- クラミジアシタシ抗体IgG
岸本 寿男；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第6版）（3）247-249,2005年3月
- クラミジアシタシ抗体IgM
岸本 寿男；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第6版）（3）247-249,2005年3月
- ツツガムシギリアムIgG
天野 憲一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）237-2009年12月
- ツツガムシギリアムIgM
天野 憲一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）237-2009年12月
- ツツガムシカトーIgG
天野 憲一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）237-2009年12月
- ツツガムシカトーIgM
天野 憲一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）237-2009年12月
- ツツガムシカープIgG
天野 憲一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）237-2009年12月
- ツツガムシカープIgM
天野 憲一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）237-2009年12月
- ヘリコバクターピロリIgG抗体
加藤 元嗣；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）183-2009年12月
- RPR（定性）
本田まりこ；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）142-2009年12月
- TPHA（定性）
吉原 愛、磯崎 収；臨床検査法提要 改訂第34版 700-2015年6月
- FTA-ABS（定量）
本田まりこ；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）142-2009年12月
- TPHA（定量）
亀子 光明；臨床検査法提要 改訂第34版 914-2015年6月
- HBs抗原
角谷 眞澄；臨床検査法提要 改訂第34版 1448-2015年6月
- HBs抗体
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1452-2015年6月
- HBs抗原（CLIA）
角谷 眞澄；臨床検査法提要 改訂第34版 1448-2015年6月
- HBs抗体（CLIA）
荒瀬 康司；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）439-2009年12月
- HBe抗原（CLIA）
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1454-2015年6月
- HBe抗体（CLIA）
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1454-2015年6月
- HBe抗体（CLIA）
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1453-2015年6月
- IgM-HBe抗体（CLIA）
荒瀬 康司；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）439-2009年12月
- HA抗体（EIA）
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1448-2015年6月
- HA抗体-IgM
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1448-2015年6月
- HCV抗体-II（CLIA）
角谷 眞澄；臨床検査法提要 改訂第34版 1448-2015年6月
- HCV抗体-III（CLEIA）
角谷 眞澄；臨床検査法提要 改訂第34版 1448-2015年6月
- HCV核酸定量
角谷 眞澄；臨床検査法提要 改訂第34版 1448-2015年6月
- RA-テスト
窪田 哲朗；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）485-2009年12月
- リウマチ因子（RAPA）
窪田 哲朗；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）485-2009年12月
- リウマチ因子（RF）定量
窪田 哲朗；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）485-2009年12月
- IgG型リウマチ因子
窪田 哲朗；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）485-2009年12月
- 直接クーモス試験
日本臨床衛生検査技師会；新輸血検査の実際 108-1997年9月
- 間接クーモス試験
梶原 道子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）792-2009年12月
- 不規則抗体（同種抗体）
永尾 暢夫；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）728-2009年12月
- 抗核抗体（LEテスト）
熊谷 俊一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）502-2009年12月
- 抗核抗体（ANA）
熊谷 俊一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）502-2009年12月
- 抗DNA抗体（RIA）
佐々木 毅；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）517-2009年12月
- 抗ss-DNAIgG抗体
佐々木 毅；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）517-2009年12月
- 抗ds-DNAIgG抗体
佐々木 毅；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）517-2009年12月
- 抗カルジオリピン抗体（IgG）
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版893-2015年6月
- 抗カルジオリピン抗体（IgM）
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版893-2015年6月
- 血清補体価
野島 美久；臨床検査データブック 2015-2016版 412-2015年2月
- 抗RNP抗体
三村 俊英；臨床検査データブック 2015-2016版 429-2015年2月
- 抗Sm抗体
鍋木 淳一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）530-2009年12月
- 抗SS-A / Ro抗体
三村 俊英；臨床検査データブック 2015-2016版 431-2015年2月
- 抗SS-B / La抗体
三村 俊英；臨床検査データブック 2015-2016版 432-2015年2月
- 抗ミトコンドリア抗体
菊池健太郎；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）582-2009年12月
- 抗ミトコンドリアM2抗体
菊池健太郎；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）582-2009年12月
- 免疫複合体（C1q）
玉井 誠一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）105-2009年12月
- 免疫複合体（モノクローナルRF）
玉井 誠一；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）105-2009年12月
- 抗血小板抗体
渡邊 直英；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-（第7版）（3）691-2009年12月
- 血液交差適合試験

検査法参考文献

- 奥田 誠；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 782-2009年12月
- C3
北村 肇；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 64-2009年12月
- C4
北村 肇；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 86-2009年12月
- フェリチン
奥田 博介、今井 浩三；臨床検査データブック 2015-2016版 637-2015年2月
- トランスフェリン
橋本 佳明；臨床検査データブック 2015-2016版 123-2015年2月
- セルロプラスミン
児玉 浩子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 274-2009年12月
- 血中 β_2 -ミクログロブリン (血中 β_2 -MG)
伊藤 喜久；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 286-2009年12月
- 尿中 β_2 -ミクログロブリン (尿中 β_2 -MG)
木村健二郎；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 143-2009年12月
- 血中 α_1 -ミクログロブリン (血中 α_1 -m)
伊藤 喜久；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 278-2009年12月
- 尿中 α_1 -ミクログロブリン (尿中 α_1 -m)
 β 谷 直人；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 278-2009年12月
- α_2 -マクログロブリン
 β 谷 直人；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 282-2009年12月
- ハプトグロビン
内山 幸信；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 257-2009年12月
- IgG
久保 信彦；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 5-2009年12月
- IgA
久保 信彦；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 9-2009年12月
- IgM
久保 信彦；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 13-2009年12月
- IgD
久保 信彦；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 16-2009年12月
- 免疫電気泳動 (抗ヒト血清による同定)
橋本 佳明；臨床検査データブック 2015-2016版 99-2015年2月
- 尿中免疫電気泳動 (尿中ペンスジョーンズ蛋白の同定)
真船 直樹；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (1) 128-2009年12月
- IgE定量 (非特異的IgE)
野島 美久；臨床検査データブック 2015-2016版 419-2015年2月
- 特異的IgE (シングルアレルゲン)
矢内 充；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 30-2009年12月
- 特異的IgE (マルチアレルゲンGX-5イネ科)
矢内 充；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 30-2009年12月
- 特異的IgE (マルチアレルゲンWX-5雑草)
矢内 充；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 30-2009年12月
- 特異的IgE (マルチアレルゲンEX-2動物上皮)
矢内 充；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 30-2009年12月
- 特異的IgE (マルチアレルゲンMX-2カビ)
矢内 充；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 30-2009年12月
- 特異的IgE (マルチアレルゲンFX-5食物)
矢内 充；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 30-2009年12月
- 特異的IgE (マルチアレルゲンFX-6穀物)
矢内 充；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 30-2009年12月
- アレルゲン特異的IgE (MAST 33)
矢内 充；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 30-2009年12月
- アトピー鑑別試験 (CAPファディアトープ)
矢内 充；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 30-2009年12月
- 日本脳炎ウイルス抗体 [HI]
高崎 智彦；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 363-2009年12月
- 風疹ウイルス抗体 [HI-EIA]
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1127-2015年6月
- 麻疹ウイルス抗体 [HI-EIA]
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1129-2015年6月
- エコーウイルス抗体 [HI]
加地 正英；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 414-2009年12月
- ムンプスウイルス抗体 [HI-EIA]
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1131-2015年6月
- パラインフルエンザウイルス抗体 [HI]
松崎 葉子；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 376-2009年12月
- インフルエンザウイルス抗体 [HI]
中村 良子；臨床検査データブック 2015-2016版 603-2015年2月
- アデノウイルス抗体 [CF]
鈴木 宏；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 328-2009年12月
- 単純ヘルペスウイルス抗体 [CF-EIA]
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1134-2015年6月
- 水痘・帯状ヘルペスウイルス抗体 [CF-EIA]
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1135-2015年6月
- ポリオウイルス抗体 [CF]
清水 博之；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 422-2009年12月
- コクサッキーウイルス抗体 [CF]
加地 正英；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 418-2009年12月
- RSウイルス抗体 [CF]
堤 裕幸；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 402-2009年12月
- サイトメガロウイルス抗体 [CF-EIA]
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1136-2015年6月
- EBウイルス抗体 [EIA]
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1138-2015年6月
- 抗EBV-VCA抗体 [EIA]
中山 哲夫；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 319-2009年12月
- 抗EBV-EA-DR抗体 [FA]
中山 哲夫；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 319-2009年12月
- 抗EBNA抗体 [FA]
中山 哲夫；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 319-2009年12月
- ATLV抗体 (HTLV-I) [WB]
貞升 健志；臨床検査データブック 2015-2016版 589-2015年2月
- HIV抗原・抗体 [WB]
貞升 健志；臨床検査データブック 2015-2016版 590-2015年2月
- HIV-1抗体 [WB]
貞升 健志；臨床検査データブック 2015-2016版 590-2015年2月
- HIV-2抗体 [WB]
貞升 健志；臨床検査データブック 2015-2016版 590-2015年2月
- 単純ヘルペスウイルス特異抗原
吉田 正巳；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 306-2009年12月
- 水痘・帯状ヘルペスウイルス抗原
山下 利春；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (3) 310-2009年12月
- ロタウイルス抗原
金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版1132-2015年6月

検査法参考文献

- フェニトイン
川崎 博己; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 393-2009年12月
- フェノバルビタール
川崎 博己; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 393-2009年12月
- プリミドン (マイソリン、プリムロン)
川崎 博己; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 393-2009年12月
- カルバマゼピン
川崎 博己; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 393-2009年12月
- バルプロ酸
川崎 博己; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 393-2009年12月
- クロナゼパム
川崎 博己; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 393-2009年12月
- エトスクシמיד
川崎 博己; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 393-2009年12月
- リチウム (Li)
西原カズヨ; 臨床検査データブック 2015-2016版 758-2015年2月
- ジアゼパム
西原カズヨ; 臨床検査データブック 2015-2016版 757-2015年2月
- ニトラゼパム
西原カズヨ; 臨床検査データブック 2015-2016版 757-2015年2月
- ハロペリドール
小瀧 一、伊賀 立二; 臨床検査データブック 2015-2016版 758-2015年2月
- プロムベリドール (イソプロメド)
西原カズヨ; 臨床検査データブック 2015-2016版 760-2015年2月
- テオフィリン
小瀧 一、伊賀 立二; 臨床検査データブック 2015-2016版 760-2015年2月
- ジゴキシン
関崎 直人、山本康次郎; 臨床検査データブック 2015-2016版 760-2015年2月
- ジギトキシン
関崎 直人、山本康次郎; 臨床検査データブック 2015-2016版 760-2015年2月
- アプリンジン
川上 純一、伊賀 立二; 臨床検査データブック 2015-2016版 764-2015年2月
- ジソピラミド
大谷 壽一、伊賀 立二; 臨床検査データブック 2015-2016版 761-2015年2月
- シベンゾリン
西原カズヨ; 臨床検査データブック 2015-2016版 761-2015年2月
- ビルシカイニド
西原カズヨ; 臨床検査データブック 2015-2016版 763-2015年2月
- フレカイニド
西原カズヨ; 臨床検査データブック 2015-2016版 764-2015年2月
- リドカイン
小瀧 一、伊賀 立二; 臨床検査データブック 2015-2016版 761-2015年2月
- キニジン
大谷 壽一、伊賀 立二; 臨床検査データブック 2015-2016版 761-2015年2月
- プロカインアミド
大谷 壽一、伊賀 立二; 臨床検査データブック 2015-2016版 762-2015年2月
- N-アセチルプロカインアミド
内藤 隆文、川上 純一; 臨床検査データブック 2015-2016版 758-2015年2月
- ゲンタマイシン
関崎 直人、山本康次郎; 臨床検査データブック 2015-2016版 765-2015年2月
- トブラマイシン
西原カズヨ; 臨床検査データブック 2015-2016版 766-2015年2月
- アミカシン
川上 純一、伊賀 立二; 臨床検査データブック 2015-2016版 767-2015年2月
- アルベカシン
西原カズヨ; 臨床検査データブック 2015-2016版 767-2015年2月
- バンコマイシン
小瀧 一、伊賀 立二; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (2) 465-2009年12月
- メトトレキサート
荒木 拓也、山本康次郎; 臨床検査データブック 2015-2016版 768-2015年2月
- サリチル酸
坂下 真大、飯塚 誠; 臨床検査データブック 2015-2016版 768-2015年2月
- CEA (癌胎児性抗原)
金井 正光ほか; 臨床検査法提要改訂第34版595-2015年6月
- α -フェトプロテイン (AFP)
金井 正光ほか; 臨床検査法提要改訂第34版593-2015年6月
- CA19-9
金井 正光ほか; 臨床検査法提要改訂第34版595-2015年6月
- CA125
金井 正光ほか; 臨床検査法提要改訂第34版599-2015年6月
- TPA (組織ポリペプチド抗原)
杉山 保幸; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 750-2009年12月
- CA15-3
金井 正光ほか; 臨床検査法提要改訂第34版598-2015年6月
- SCC抗原
金井 正光ほか; 臨床検査法提要改訂第34版597-2015年6月
- SLX (シアリルLe^x-i抗原)
日野田裕治、今井 浩三; 臨床検査データブック 2015-2016版 650-2015年2月
- SPan-1
元雄 良治; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 732-2009年12月
- CA72-4
金井 正光ほか; 臨床検査法提要改訂第34版599-2015年6月
- DUPAN-2
金井 正光ほか; 臨床検査法提要改訂第34版596-2015年6月
- PSA (前立腺特異抗原)
宮原 茂; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 743-2009年12月
- PIVKA-II
土屋 達行; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 670-2009年12月
- シアリルTn抗原 (STN)
神奈木玲児; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 698-2009年12月
- NSE (ニューロン特異エノラーゼ)
小田桐惠美; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 759-2009年12月
- 塩基性フェトプロテイン (BFP)
石井 勝; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第6版) (4) 629-631,2005年8月
- NCC-ST-439
金井 正光ほか; 臨床検査法提要改訂第34版598-2015年6月
- シフラ21-1 (サイトケラチン19フラグメント)
渡邊 秀平、今井 浩三; 臨床検査データブック 2015-2016版 648-2015年2月
- CA546 (CA54/61)
山下 博; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 688-2009年12月
- AFPレクチン分画
前川 真人; 臨床検査データブック 2015-2016版 646-2015年2月
- レニン活性 (PRA)
片山 茂裕、飯高 誠; 臨床検査データブック 2015-2016版 144-2015年2月
- レニン定量 (活性型)
片山 茂裕、飯高 誠; 臨床検査データブック 2015-2016版 144-2015年2月
- アンギオテンシン I
中村 千種、有田 幹雄; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 608-2009年12月
- アンギオテンシン II
中村 千種、有田 幹雄; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第7版) (4) 608-2009年12月
- ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (HANP)
辻野 元祥; 日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読むか-(第6版) (4) 564-568,2005年8月
- エリスロポエチン (EPO)
神田 善伸; 臨床検査データブック 2015-2016版 365-2015年2月
- ミオグロビン
片倉 芳樹、四柳 宏; 臨床検査データブック 2015-2016版 163-2015年2月
- 心室筋ミオシン軽鎖 I
片倉 芳樹、四柳 宏; 臨床検査データブック 2015-2016版 169-2015年2月
- IV型コラーゲン・7S
片倉 芳樹、四柳 宏; 臨床検査データブック 2015-2016版 158-2015年2月
- ヒアルロン酸 (HA)
片倉 芳樹、四柳 宏; 臨床検査データブック 2015-2016版 156-2015年2月
- 白血球数 (WBC)

検査法参考文献

- 古沢 新平、磯部 淳一；新臨床検査技師講座10血液学 21-1985年4月
赤血球数 (RBC)
- 古沢 新平、磯部 淳一；新臨床検査技師講座10血液学 11-1985年4月
血色素量 (ヘモグロビン濃度・Hb)
- 古沢 新平、磯部 淳一；新臨床検査技師講座10血液学 16-1985年4月
ヘマトクリット値 (Ht)
- 古沢 新平、磯部 淳一；新臨床検査技師講座10血液学 124-1985年4月
血小版数 (PI)
- 古沢 新平、磯部 淳一；新臨床検査技師講座10血液学 35-1985年4月
血液像
- 検査と技術 増刊号vol.28 no.7 2000年 血液検査実践マニュアル 727-2000年6月
網赤血球数
- 古沢 新平、磯部 淳一；新臨床検査技師講座10血液学 159-1985年4月
染色体検査
- 伊豆津宏二；臨床検査データブック 2015-2016版 350-2015年2月
プロトロンビン時間 (PT)
- 北島 勲；臨床検査データブック 2015-2016版 368-2015年2月
活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)
- 北島 勲；臨床検査データブック 2015-2016版 371-2015年2月
トロンボテスト (TT)
- 北島 勲；臨床検査データブック 2015-2016版 369-2015年2月
ヘパラスチンテスト (HPT)
- 三橋 裕行 649吉田 信彦；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-
その数値をどう読むか- (第7版) (2) 649-2009年12月
フィブリノゲン
- 角谷 眞澄；臨床検査法提要 改訂第34版 402-2015年6月
FDP定量 (血中)
- 森 美貴；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読
むか- (第7版) (2) 657-2009年12月
FDP定量 (尿中)
- 福武 勝幸；検査項辞苑 第2版 60-1999年6月
アンチトロンビンIII (ATIII)
- 北島 勲；臨床検査データブック 2015-2016版 393-2015年2月
Dダイマー
- 雨宮 憲彦；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読
むか- (第7版) (2) 667-2009年12月
 α_2 プラスミンインヒビター・プラスミン複合体 (PICテスト)
- 北島 勲；臨床検査データブック 2015-2016版 402-2015年2月
トロンビン・アンチトロンビンIII複合体 (TAT)
- 阪田 敏幸；日本臨床 広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査-その数値をどう読
むか- (第7版) (2) 688-2009年12月
プラスミノゲン
- 北島 勲；臨床検査データブック 2015-2016版 400-2015年2月
 β -トロンボグロブリン (β -TG)
- 尾崎由基男；臨床検査データブック 2015-2016版 406-2015年2月
ABO式血液型
- 蒲池 正次ほか；新輸血検査の実際6-2009年8月
Rh (D因子) 式血液型
- 蒲池 正次ほか；新輸血検査の実際11-2009年8月
Rh (その他の因子) 血液型
- 三崎 義整；臨床検査データブック 2015-2016版 471-2015年2月
尿蛋白 [定性・定量]
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版133-2015年6月
尿糖 [定性・定量]
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版139-2015年6月
ウロビリノゲン
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版146-2015年6月
尿潜血
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版156-2015年6月
尿PH
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版128-2015年6月
尿中ビリルビン
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版144-2015年6月
尿中アセトン体
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版142-2015年6月
尿比重
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版128-2015年6月
尿沈渣
- 伊藤 機一ほか；尿沈渣検査法2010
- 結石分析
- 磯谷 周治、堀江 重郎；臨床検査データブック 2015-2016版 746-2015年2月
VMA定性
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版151-2015年6月
尿中FDP
- 角谷 眞澄；臨床検査法提要 改訂第34版 432-2015年6月
虫卵検出 (飽和食塩浮遊法)
- 角谷 眞澄；臨床検査法提要 改訂第34版 1166-2015年6月
虫卵検出 (MGL法)
- 角谷 眞澄；臨床検査法提要 改訂第34版 1166-2015年6月
便中ヒトヘモグロビン
- 堀田 宏；臨床検査法提要 改訂第34版 189-2015年6月
髄液蛋白定量
- 大田 喜孝ほか；髄液検査法2002
- 髄液糖定量
- 大田 喜孝ほか；髄液検査法2002
- 髄液クロール定量
- 大田 喜孝ほか；髄液検査法2002
- 髄液細胞数
- 大田 喜孝ほか；髄液検査法2002
- 髄液細胞種類 (単核、多核分類)
- 大田 喜孝ほか；髄液検査法2002
- 穿刺液蛋白定量
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版203-2015年6月
穿刺液比重
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版202-2015年6月
リバルタ反応
- 金井 正光ほか；臨床検査法提要改訂第34版202-2015年6月
塗抹検査
- 山本 芳尚；検査と技術vol.18増刊号
培養同定検査
- 三澤 慶樹、森屋 恭爾；感染症診断に必要な微生物検査
薬剤感受性検査
- 富岡 治明；臨床検査データブック 2015-2016版 505-2015年2月
MRSA (鼻腔)
- 桑平 一郎；臨床検査データブック 2015-2016版 896-2015年2月
塗抹検査 (蛍光法)
- 山本 芳尚；臨床検査データブック 2015-2016版 501-2015年2月
抗酸菌培養検査
- 山本 芳尚；臨床検査データブック 2015-2016版 501-2015年2月
結核菌群抗原検査
- 桑原 正子；臨床検査データブック 2015-2016版 503-2015年2月
抗酸菌薬剤感受性試験
- 富岡 治明；臨床検査データブック 2015-2016版 505-2015年2月
結核菌群核酸同定検査 (PCR)
- 桑原 正子；臨床検査データブック 2015-2016版 503-2015年2月
抗酸菌群核酸同定検査
- 桑原 正子；臨床検査データブック 2015-2016版 503-2015年2月
マイコバクテリウムアビウム・イントラセラー核酸同定検査 (PCR)
- 山本 芳尚；臨床検査データブック 2015-2016版 503-2015年2月
クラミジアトラコマティス抗原
- 藤本 文恵、佐藤 智明、森屋 恭爾；臨床検査データブック 2015-2016版
550-2015年2月
尿中馬尿酸
- 大谷 壽一、伊賀 立二；臨床検査データブック 2015-2016版 776-2015年2月
尿中メチル馬尿酸
- 大谷 壽一、伊賀 立二；臨床検査データブック 2015-2016版 773-2015年2月
尿中マンデル酸
- 坂井 公；検査項辞苑 第2版 369-1999年6月
尿中総三塩化物
- 大谷 壽一、伊賀 立二；臨床検査データブック 2015-2016版 775-2015年2月
尿中トリクロル酢酸
- 大谷 壽一、伊賀 立二；臨床検査データブック 2015-2016版 774-2015年2月
尿中N-メチルホルムアミド
- 坂井 公；検査項辞苑 第2版 370-1999年6月
尿中2,5-ヘキサジオン
- 坂井 公；検査項辞苑 第2版 371-1999年6月
血中鉛
- 花田 昌也、安田 隆；臨床検査データブック 2015-2016版 758-2015
年2月 149-150,1999年2月
 δ -アミノレブリン酸
- 木村健二郎；臨床検査データブック 2015-2016版 713-2015年2月 461-
462,1999年2月

検査法参考文献

赤血球遊離プロトポルフィリン

猪狩 淳；検査項辞苑 第2版 357-1999年6月

細胞診（婦人科）

平井 康夫 監訳；ベセスダシステム2001アトラス、2007年11月

細胞診（喀痰）

日本臨床細胞学会 細胞検査士会編；細胞診標本作成マニュアル（呼吸器）第1版、2003年12月

細胞診（その他）

矢谷 隆一 監修；細胞診を学ぶ人のために 第3版、1998年10月

病理組織

日本病理学会編；病理技術とマニュアル病理組織標本作成技術 医歯薬出版㈱

I N S P E C T I O N G U I D E

 一般財団法人
下越総合健康開発センター

一般社団法人 **新発田北蒲原医師会**

〒957-8577 新潟県新発田市本町 4-16-83
TEL (0254)24-1145(代)

2024年6月1日改訂